

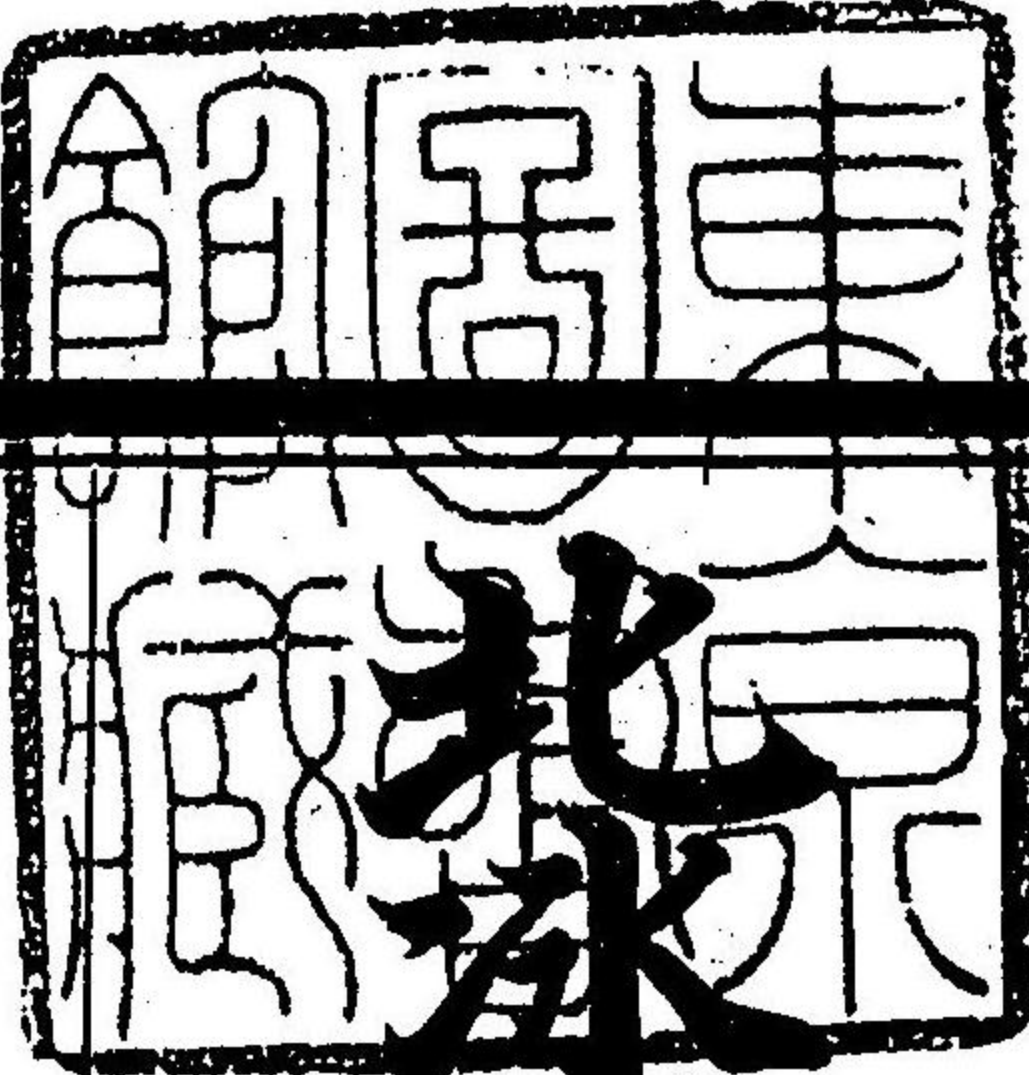
45
148

阿部敬久著

北冰洋洲及アラスカ沿海見聞録

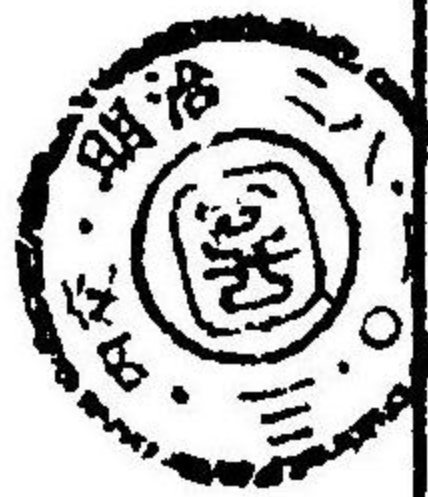
版權所有 東京地學協會藏版

45-148



阿部敬介著

北極洋洲及アラスカ沿海見聞録



版權所有 東京地學協會藏版

一帆直駕如洋風
不趁波濤爭寸
切披國表情熱
於火披方冰海

雪山中

送阿部敬女君再
航於亞刺斯加乙來

二月 稔





像竹氏 | レ | ヘルエチミ長艦號キ | へ艦羅巡國衆合



著者肖像

序

我邦四面海ヲ環ラシ船艦ヲ以テ八方ニ通ズベシ而シテ水ヲ用非テ陸地ト交通ヲ爲スノミナラズ直ニ水ニ依リテ利ヲ収ムルモノ廣大無邊ナリトス是ニ於テカ海事思想ヲ發達セシメ烈風怒濤ヲ凌ギテ平常ニハ交通漁獲ノ利ヲ収メ戰時ニハ護國安民ノ義務ニ當ルノ人物ヲ養成スルハ今日ノ急務ナリトス阿部敬介君ハ陸前ノ人ナリ夙ニ遠洋漁業ニ着目シ其亞米利加ニ渡航スルヤ合衆國巡邏艦ニ搭シテ數々ベールینگ海北氷洋ニ入り或ハバーロー岬ノ避難所ニ嚴冬ヲ送り其サニ艱苦ヲ嘗メ地勢氣候等ヲ觀察シ親シク土人ニ接シテ人種宗教風俗習慣等ヲ探リ並ニ臘虎胆朮等ノ蓄養獵獲ノ方法ヲ習得シ去年冬一旦郷里ニ歸省シ滯留數旬其間書ヲ著ハシテ

實地觀察セシ一切ノ事項ヲ記述シ之ヲ北氷洋洲及アラスカ
沿海見聞録ト名ヅケ我東京地學協會ニ提供セリ本會受テ之
ヲ調査スルニ此著ノ純正學術的ノ書トシ水産業者ノ指針ト
シ又タ間接ニ海事思想ヲ奮起セシムルノ資料トシテ最モ世
ニ裨益アルモノト信シタルヲ以テ直ニ印刷シテ會員並ニ世
上同好ノ士ニ頒ツコトヲ決シタリ今ヤ其書成テ告グ依テ一
言ヲ卷首ニ題シテ其事由ヲ明ニスト云フ

明治二十八年六月

東京地學協會幹事 渡邊洪基

北氷洋洲及アラスカ沿海見聞録

此記録ハ余カ米國稅關巡邏艦ベイヤ號ニ於テ數年間アラスカ沿海及北氷洋巡航
中實地目撃セル諸般ノ有様ヲ見聞ノ儘筆記セル日誌中ヨリ其最モ新奇有益ナル
者ノミヲ拔萃シタル者ナリ素ト世上同好ノ士ニ頒タントスルニ過キサレトモ亦
タ聊カ世ニ益スル所アラハ余ノ幸ヒ之ニ過ギズ
現今アラスカ地方土族ノ使用シツ、アル器具中歐米人ノ手ニ成リ或ハ其傳習ニ
依リ土族ノ模擬製造スル者アリ此等ハ余之ヲ本書ニ詳載セズ何トナレバ住民本
來ノ技藝純粹ノ風俗ニ就テ知ラントスルハ余ノ目的ニシテ余ハ巡航中ニ於テモ
余ノ言辭ノ及ブ所公務ノ許ルス限リハ土人ニ就キ或ハ其地在留ノ歐米人等ニ依
リ親シク探索ヲ遂ケ尙ホ其盡サハル所ハ歐米先輩探檢者ノ記録ニ藉リ勉メテ此
事實ヲ慥メンコトヲ要シタリ

ベイヤ艦長ミチユル、ヘーレー氏ハ十餘年間北氷洋巡邏艦々長トシテ最モアラスカ
及ビ氷洋全體ノ事情ニ明通セル人ナリ余ハ四年間氏ノ艦房司管トシテ氏ノ信

愛ヲ受ケ探檢上大ニ便宜ヲ得タルハ氏ノ厚意トシテ謝スル所ナリ
 神學博士セルドン、ヂヤクソン氏ハアラスカ全州ノ教育總督トシテ其土族ノ教育
 上ニ力ヲ盡ス。玆ニ二十有餘年嘗テペーヤ號ニ乗ジテ余ト與ニ北洋ニ巡航スル
 一三回ナリキ故ニ余カ土族ノ宗教的記述ハ多ク氏ノ助言ニ依リテ成レリ
 北氷洋洲、エスキモー族ニ就テハ余カ氷洋ポイントパーロー合衆國避難所ニ於テ
 三ヶ年間に勤中自ラ土語ヲ習ヒ部落ノ間ニ混立シテ事々物々緻密ナル觀察ヲ遂
 ケタル者ナリ
 書中掲グル所ノ插圖ハペーヤ艦長所藏ノ寫眞ヨリ復寫セル者ニシテ盡ク最近ノ
 探影ニ係ル者ナリ唯、トリンケット族ノ器具ニ至テハ其實體寫眞ヲ得ルノ機ヲ失
 スルヨリ概テ自畫或ハ先輩ノ筆ニ成レル者多シトス
 本書ハ專ラ事實ヲ記述スルニ在ルヲ以テ敢テ文字ヲ修飾セス讀者請フ之ヲ諒セ
 ヲ

明治二十八年二月

著者誌

目 録

一 アラスカ全州ノ地勢 一
 アラスカノ火山 一
 一人種 二〇
 一 トリンケット族 二一
 外貌 二二
 土族ノ階級 二四
 美術 ○ 宗教 二四
 土族ノ神仙談 三〇
 奴隸 ○ 奇癖 三〇
 家屋 三四
 食物 三五
 漁獵事業 三七
 漁具 ○ 鮭ノ鑑詰處其勞働及賃銀 ○ 鮭及其漁業 三七

結婚	四五
出產	四八
婦女虐待○幼兒ノ命名	
埋葬	五一
一アルーチャン群島誌	五三
土人ノ來歴	五五
米國諸博士ノ諸論○人口ノ減縮○舊習ノ漸化○現在ノ住居○宗教ニ對スル感情○育兒法○巫女○最モ適當ナル漁獵者○臘虎獵法	六九
臘納獸及其繁殖法	
アルーチャン島ノ海獸○臘納獸ノ性質	八一
北海道臘納獸獵ニ關スル卑見	八一
一エスキモー族(北氷洋住民)	八八
其起原	
外貌	九二

住家	九六
衣服	九九
食物	一〇一
土人ノ器具○風習○女子ノ性質	
結婚	一一六
埋葬	一二七
産婦ノ虐待○惡魔拂ヒ○土人ノ昔話	
エスキモー族ノ文字ニ代用スル符合	一二一
エスキモー族ノ言語	一二三
捕鯨業	一二五
捕鯨器械	
鯨	一三三
明治二十七年北氷洋ポイントパロー附近ノ海水ノ運動	一三四
北氷洋四季ノ概況	一三八

無日ノ嚴冬	四
北極光	一四二
夜半ノ大陽	一四六
冬期六ヶ月間ノ測候表	一六三
氷洋ニ於ケル氷山及氷河	一六三

挿圖目錄

第一圖	合衆國巡邏艦ベイヤ號艦長ミチエル、ヘーレー氏肖像	卷首
第二圖	アラスカ附近臘虎及臘膈獸殖產地及其密獵場地圖	一
第三圖	合衆國ノ巡邏艦ベイヤ號氷原ニ繫ガル、圖	一
第四圖	帆前ノ捕鯨船北氷洋ニ於テ流水中ヲ徐行スル圖	一
第五圖	トリンケット族ノ軍劔ノ圖	二二
第六圖	トリンケット婦女烟煤ヲ以テ顔面ヲ塗リタル圖	二三
第七圖	トリンケット族酋長ノ家譜標ノ圖	二五
第八圖	トリンケット族ノ小舟ノ圖	三八
第九圖	トリンケット族ノ墓標	五二
第十圖	アルーチ獵者小舟隊ヲ組ミ臘虎ヲ獵スル圖	六八
第十一圖	アルーチ族捕鯨ノ圖	六八
第十二圖	海馬ノ氷上ニ休息ノ圖	六八
第十三圖	海豹ノ一群	六八
第十三圖	臘膈獸ノ一家	六八

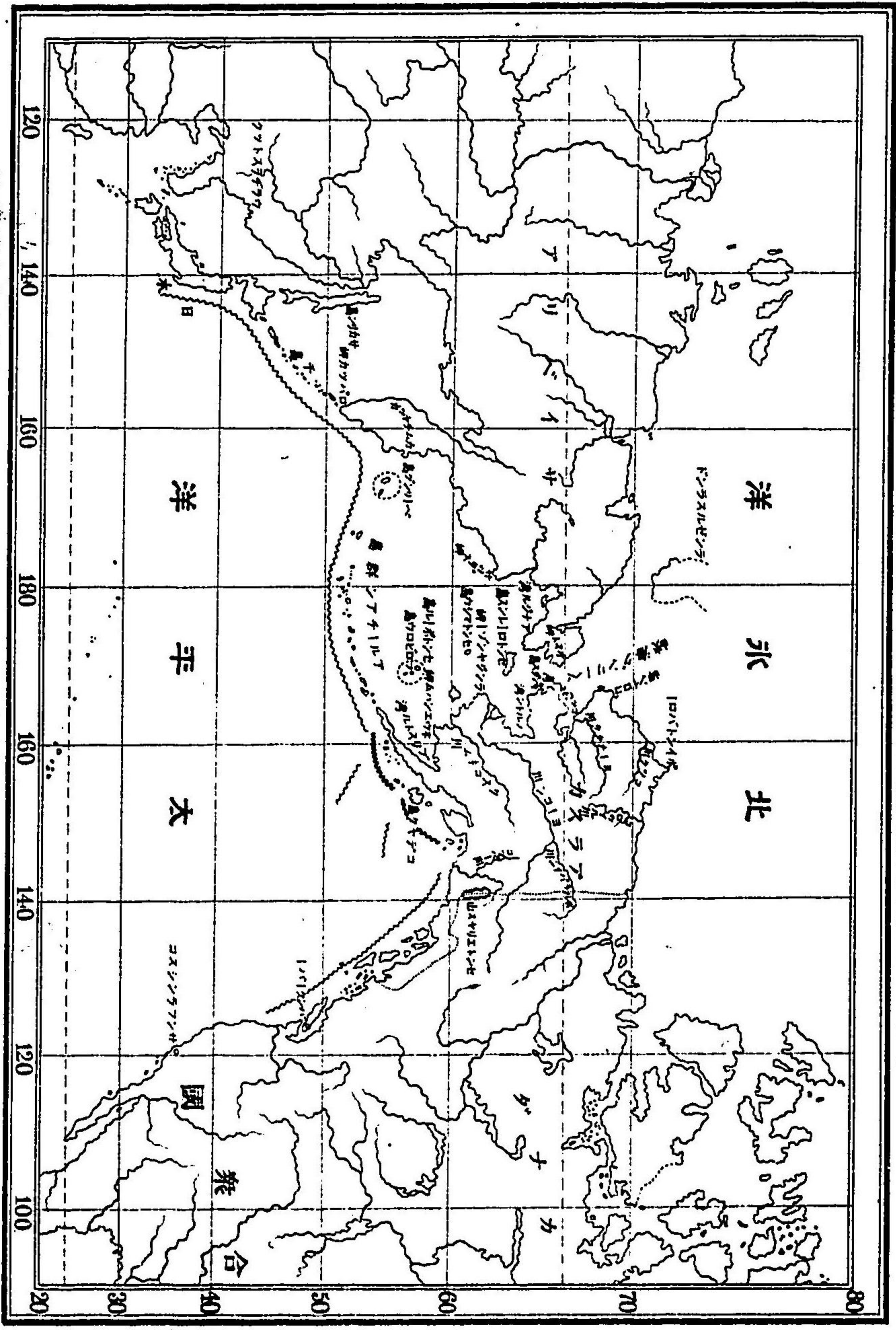
卷首

丁數

第十四圖	ペーリング海中プロビロー島臘胸獸栖息場ノ圖	六八
第十五圖	アルーチ人臘胸獸打殺ノ圖	六八
第十六圖	氷洋洲ポイントバロー年長土人○右手ニ小刀ヲ持チ左手ニハ海豹獵ニ用キル投鎗ヲ支ヘ居ル圖	八八
第十七圖	エスキモーノ青年鯨獵ニ用イル投射銃ヲ持テル圖	八八
第十八圖	氷洋洲ポイントバロー土人ノ捕鯨銃ヲ手ニセル圖	八八
第十九圖	狼ノ長毛ヲ以テ頭巾ノ周圍ヲ飾レル土婦	八八
第二十圖	顯ニ三本ノ入墨ヲ爲セル土婦	八八
第二十一圖	裝唇器ノ圖	九五
第二十二圖	同上	九五
第二十三圖	小刀	一〇五
第二十四圖	柘杓	一〇五
第二十五圖	婦人用庖刀	一〇五
第二十六圖	エスキモー人所用ノ煙管及煙草入	一〇七
第二十七圖	エスキモー人所用ノ什器	一〇九
第二十八圖	同上	一一〇

第二十九圖	エスキモー土人ノ符合狀	一一三
第三十圖	同上	一一三
第三十一圖	ヨリ三十六圖ニ至ル 北氷洋ニ出沒スル各種ノ鯨	一一八
第三十七圖	氷洋ニ於ケル千歲不滅ノ氷山	一三六
第三十八圖	氷洋ニ於テ陸地ヲ距ル五里ノ氷野ニ出張野宿シ居ル土人ノ捕鯨者	一七二
第三十九圖	氷洋州無日ノ長夜ニ月光ノ下ナルポイントバロー部落	一七二
第四十圖	氷洋州夏時ノ部落	一七二
第四十一圖	氷洋州雪中ノ部落	一七二
第四十二圖	北氷洋州ポイントバローニ於ケル合衆國避難所ノ冬景	一七二
第四十三圖	ペーリング海岸ノ馴鹿飼養地ノ圖	一七二
第四十四圖	檣ニ帆ヲ揚ケタル圖	一七二
第四十五圖	アラスカ土人ノ使用セルカヌー船	一七二
第四十六圖	エスキモー土人使用ノオミヤク(乗合船)ノ圖	一七二

圖地場獵密其及地産殖獸野鷹及虎獵延附カスラテ



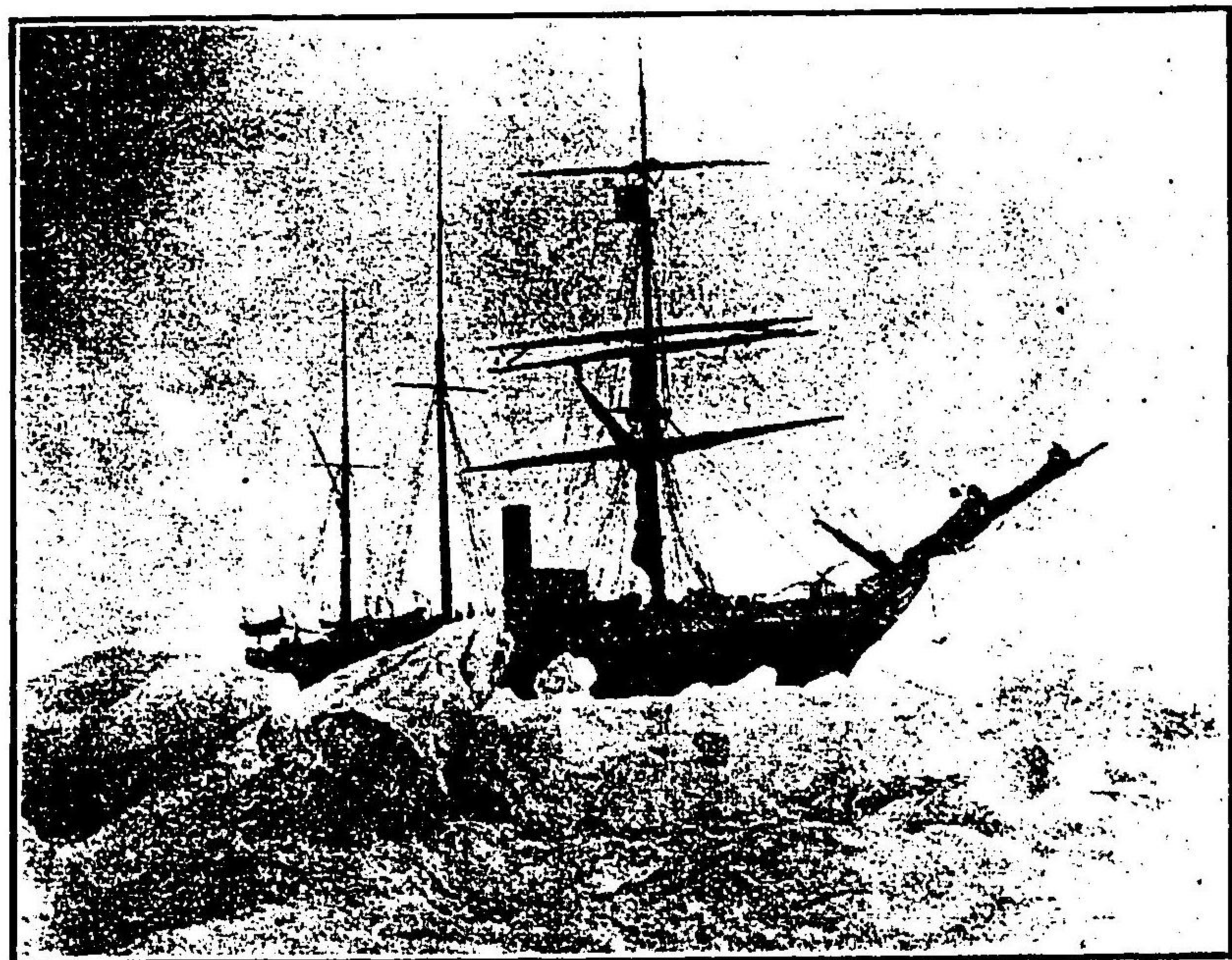
第壹圖

地獵密トセトツオ 地産殖コソヲ 地息捕トセトツオ ○ 例凡

一丁	一五行	シヤウジン	シヤウジンノ誤
三	九	ノールトン湖	ノールトン湖ノ誤
四	九	カルツビエー湖	コツエビエー湖ノ誤
六	二	コロウエル河	コロウエル河ノ誤
六	三	カルツビエー湖	コソエビエー湖ノ誤
六	五	ホルキバイン	ホルキバインノ誤
七	一五	エスキモン河	クスキム河
九	一五	カツバ河	コンバー河ノ誤
一〇	五	草木	草木ノ誤
四	四	懸釣	懸釣ノ誤
八	九	他性	他性ノ誤

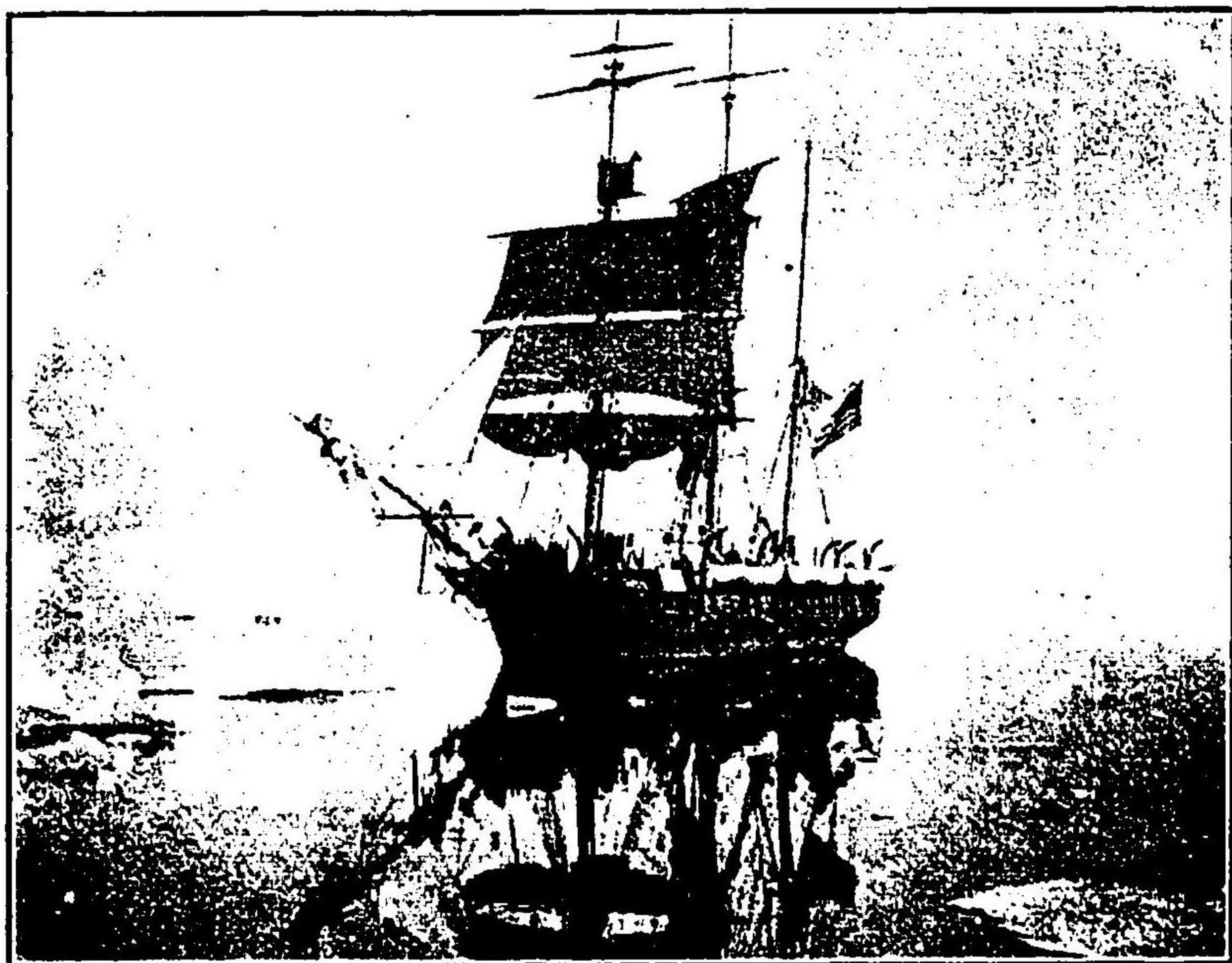
正誤

圖、カ緊ニ原水號ヤ一々艦羅巡ノ國衆合



第二圖

圖ルス行徐ヲ中氷流ヲ於ニ洋氷北船鯨捕ノ前帆

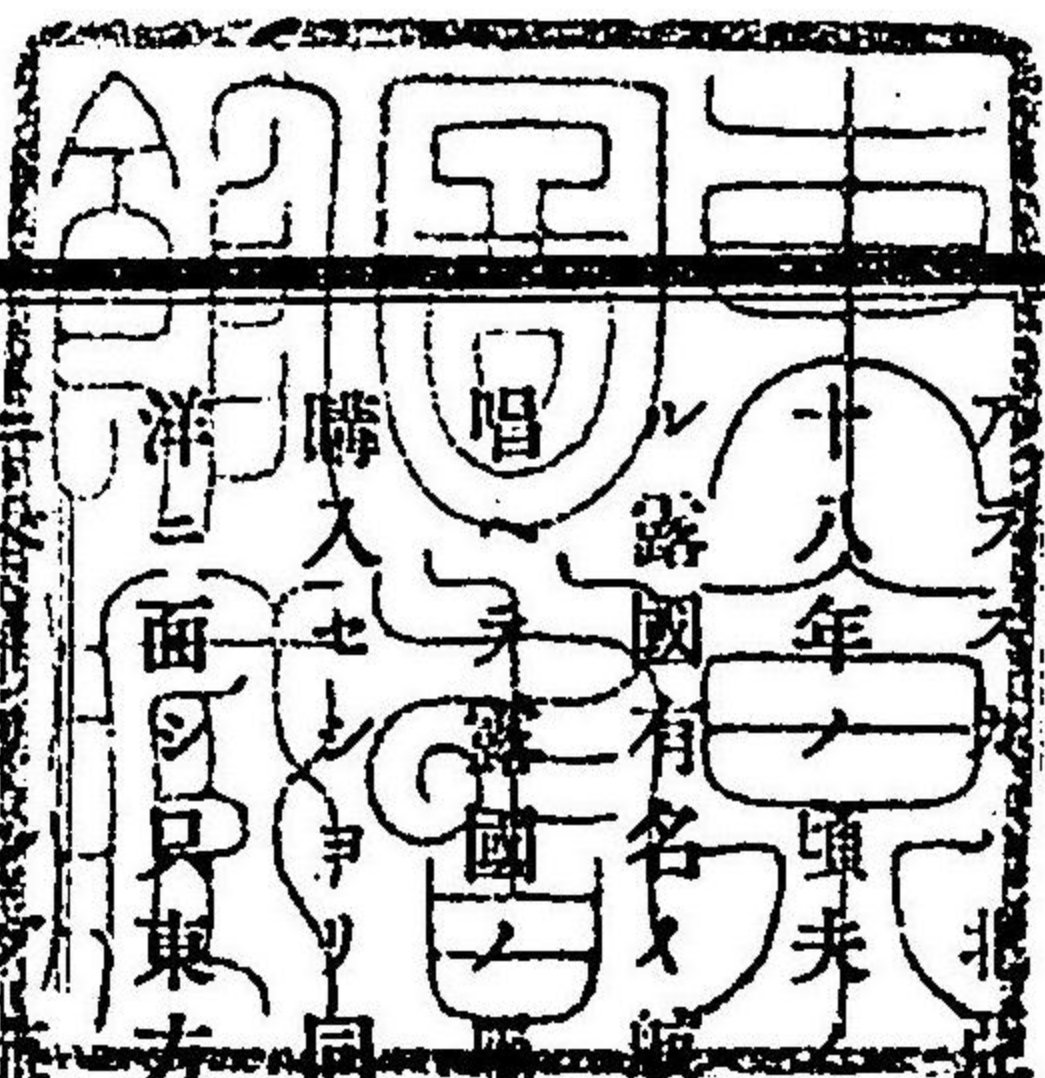


第三圖

北氷洋洲及アラスカ沿海見聞録

阿部敬介著

アラスカ全州ノ地勢



北氷洋洲ノ地勢ニシテ西曆一千七百二十年ノ頃夫ノ地タリシカ一千八百六十七年合衆國ガ七百二十万弗ヲ以テ之ヲ露國有名ノ海者ウタスベールノ發見ニ係リ往時ハ之ヲ露領アメリカタニシテベールノ發見シテ米亞兩大陸ノ分隔ヲ世ニ知ラシメタ

北ノ三面皆海洋ニ臨ムカ故海岸ノ屈曲極リナク大小ノ港灣甚タ多シ又無數ノ島嶼東南ノ沿海ニ散布シテ數多ノ内海ヲ形チ造レリ而シテ其島嶼ノ重モナル者太平洋岸ニ於テハ東南ニアレキサンダ群島アリ西南ニコデヤクシヤジンノ二群島

アリ特ニアスカ半島ノ極端ヨリ分割シテ長ク西方ニ星羅シ其最西ハアルーチヤン群島ニシテ遙カニカムサツカノ東岸ト相對シ以テ北太平洋及ビベールング海ノ分界ヲ爲セリ其他ベールング海中ニハ彼ノ臘納獸^{オットセイ}生産地トシテ著名ナルプロビロー島ノ外セントマシューセントローレンスノ二島アリ尙ホ北進シテベールング海峡ニ入レバキングスダイヤメーズノ數小島散布セリ
キングス島ハベールング海峡ノ南口アラスカ大陸ニ近ク横ハル所ノ一小岩島ニシテ北洋航海者ノ毎ニ氷洋ノジブラタルト稱スル者ナリ今其名ノ起因ヲ尋ルニ彼ノ英國ガジブラタルノ岩頭ナル天然ノ堅塞ヲ擁シテ地中海ノ要路ヲ扼スルカ如ク米國モ亦タ此海峡南口ノ岩頭ニ據リテ北洋ノ咽喉ヲ扼スルト云フ意ニ非スシテ土族カ島上巖々タル山腹ニ其住所トシテ穿テル數十ノ洞窟之ヲ海上ヨリ望メハ恰モジブラタル岩頭無數ノ砲門ト同一ノ觀ヲ呈スルカ故ナリ
島地ノ大陸ヨリ隔絶シテ冬期氷結ノ時ノ外渡航ニ便ナラサルカ故ニ島民ハ重モニ海馬海豹及ビ水禽ニ依リテ生活シ夏季ハ島地ニ留リテ海馬ノ牙、漂木等ヲ以テ弓矢、投釣魚鈎等ノ獵具其他海獸ノ模形皮舟等ノ玩弄物ヲ製造シ婦女ハ水禽或ハ

海豹ノ皮ヲ以テ衣服ヲ製シ以テ巡航ノ鯨船ト貿易ス同島ハダイヤメーズ島及ビシベリヤ沿岸ト與ニ海馬ノ牙ヲ交易スルノ好地トス
ダイヤメーズ島ハベールング海峡ノ中央ニ位シ大小二箇ノ小島ヨリ成ル全島黒色ノ岩累ヨリ成リ卓然海上ヲ拔クコト千三百尺然レモキングス島ノ如ク嶮岨ナラズ大島ハ露國ニ小島ハ米國ニ屬シ其距離僅カニ二哩餘ニシテ共ニ小數ノ住民アリ此住民モ亦タ其島地ノ大陸ト隔絶シ山獵ノ途ナキカ故ニ彼ノ米岸プリンスウニールス岬頭ノ住民ト與ニ米亞兩大陸沿岸土族ノ中間ニ立チ皮類魚油等相互貿易ノ媒介ヲ爲シテ重モニ其利益ニ衣食シ「エスキモー」族中最モ敏捷狡猾ノ聞アリベールング海岸イルトン灣内ニハセントマークルナル小島アリテ昔時露國ノ堡塞ヲ築キ又交易所ヲ設ケテ其ヨールン大河地方ニ於ケル皮類ノ貿易ヲ行ヒシ所ノ本場タリシカ今ハ米國アラスカ貿易會社ノ出張所及ヒグリキー派ノ寺院其他土人ヲ救フル所ノ學校アリ加之食物其他ノ雜貨ヲ賣捌ク所ノ會社附屬ノ倉庫店アリテ近隣ノ土人ハ勿論ヨールン河上ノ金礦ニ從事スル諸外國人皮類買出人内地探檢者等ニ糧食ヲ給スル氷洋中至要ノ地タリ然レモ物價ノ高貴ナル之ヲ桑港

ノ市價ニ比スレバ殆ント十四五倍ノ差アリ

島嶼ノ東南沿海ニ散布シテ彼ノ中央アメリカ西岸ヨリ北上シ來ル所ノ暖潮ニ浴スル者ハシヤマジン群島ヲ除クノ外島地悉ク杜松ヒバ縦ノ深林ヲ以テ覆ハル然レモ西轉シテアラスカ半島ニ至レバ樹木ノ形跡頓ニ消滅シアルーチヤン群島以北又タ假松臥柳ノ外一樹木ヲ見ズ

大陸モ亦タ其東南部ノ沿岸ハ英領コロンビヤヨリ引キ續キ深林鬱蒼トシテ丘陵ヲ覆ヒ北上シテコック津頭ケナイ半島ニ至レハ其内地ハ盡ク樹木茂生シテ遠クヨーコン河畔ニ及ビ丘陵ノ起伏スル所必ズ樹木アルヲ見ルベシ又冬至線以北ニ位シカツカルツビ一灣ニ注グ所ノ數流ハ其上源多クハ深林ヨリ發シ來ルト雖モ其樹木ハ重モニ樅類ニシテ幹ノ長サ之ヲ東南部ニ比スレハ殆ンド二分ノ一ヲ減ゼリ又黃檜ノ類ニシテアレキサング群島中セツカ港近邊ノ溪間ニ成長スル者ハ其高サ百尺ヲ越ヘ其直徑五六尺ニ及ブ者アリ而シテ樹林ハ尙ホ水面ヲ去ル一千五六百尺餘ノ山頂ヲ覆ヘリ然レモ西方ベールینگ海ニ面スル部分ハ内地ノ河畔ヲ除クノ外滿岸一樹ヲ認メズ地勢モ太平洋岸ノ高山峻嶺ヨリ成ルニ反シテ荒漠平坦

ノ凍野ノミナリ夫レヨリ北上シテベールینگ海峽ヲ過キ北氷洋ニ入レバ沿岸ノ地勢愈低ク植物愈稀レニシテ枯草苔蘚臥柳ノ外又見ルヘキ者ナシ

アラスカ州中冬至線以北ニ位スル内地ニシテ海岸ヲ去ル七八十里以内ハ未タ曾テ白人ノ足跡ヲ入レタル一ナキカ故ニ今茲ニ其確實ナル風土ノ記載ヲ爲ス能ハス海岸住居ノ土人ノ如キモ内地五六十里ニ當リ起伏スル所ノ丘陵以内ニハ一種ノ兇惡ナル山族棲息シテ異族ヲ虐殺スルト信ジ恐怖シテ丘岡ヲ超ル者ナシ千八百八十三年米國陸軍士官レニー氏ノポイントバロー測候所在勦中遠ク内地ノ探檢ヲ企テシ時氏ノ犬ヲ逐ヒ楯ヲ扱フ所ノエスキモ一土人カ此丘陵以内ニ進マサルカ故ニ其目的ヲ達セズシテ空シク歸リタルモ此傳説ノ爲メナリシナリ想フニ此廣漠タル内地ハ重モニ凍野水澤ヨリ成リ低丘稀レニ起伏シ處處亦タ緩漫ナル細流ノ起ルアリテ夏季氷雪融解ニ際スレバ時ナラヌ無數ノ池沼ヲ現出シ獨リ鴨雁ノ遊息所トナルノ外他ニ見ルヘキ者ナカルヘシ近來土人ノ馴鹿減少シ且ツ内地ニ退去スル一ヲ報ズルハ恐ラクハ海岸ヨリハエスキモ一族ニ他ノ一方ヨリハヨーコン河地方ノ山族ニ驅逐セラレテ遂ニ此内地無人ノ曠野ニ遁レ去リ

容易ニ海岸地方ニ出テ來ラサル故ナルヘシ
 河流ニシテ此未知ノ曠野ヲ通過シ來リテ海ニ入ル者北ニハコロウル河アリ西ニ
 ハコツク河アリ其他カルクツビ一灣ニ入ル所ノヌトクコーケクセラケク河等ア
 リ共ニ水淺クシテ舟楫ニ便ナラズ州中河流ノ最モ大ナルハヨ一コン河ニシテ其
 源ヲ遠ク英領アメリカノロツキ一山脈及ビ數箇ノ大湖中ニ發シボルキバイレテ
 ナ、其他ノ數流ヲ合セ西奔スルコト恰モ二千餘里ベ一リング海岸ニ至リ河口五條
 ニ別レ海ニ注入セリ米國探檢者陸軍士官シワツカ氏ノ報スル所ニ依レハ同河ノ
 長サ二千餘里中其一千五百里ハ水深クシテ船舶ヲ通ジ得ベシ而シテ河身ノ最モ
 廣キ部分ハ二十里ニ亘リ其狹キモ五六里ニ下ラス河中諸所ニ數十ノ小島散布シ
 テ恰モ内海ノ觀ヲ呈スル云々近年夏季氷解ノ期ヲ待チ一ニノ流船ハ糧食其他ノ
 雜貨ヲ搭載シテセントマークルヲ發シ同河ヲ過リ河畔諸所ノ住民ト相交通セリ
 故ニ遠ク彼ノ内地數百里ノ荒野ニ在ル傳教師及ビ皮類買出人其他金礦ニ從事ス
 ル諸般ノ白人等カ其貨物ノ運搬及ビ自身ノ旅行等ハ唯此一船便ニ依ルノミ其他
 河流ニシテベ一リング海ニ入ル者エスキコン河アリテ其長サ殆ント六百里國內

第二ノ大河トス又東南部太平洋ニ注ク所ノ河流ニハカツバステケインチリカウツ
 河等アリテコデヤク島東端ノカールク河ト共ニ北米アラスカ中有名ノ捕蛙塔タ
 リ

山岳ハ合衆國ニ於ケルロッキ一シーラネバダ及ビ太平洋沿岸ナル諸大山脈ノ北走
 シテヨ一コン河頭ニ會シ更ニ西奔シテ國內ニ入ルカ故ニ峻嶺高岳殆ント國ノ東
 南部ヲ覆ヒ連山ニハアラスカ山脈セントエリヤス山脈ノ二アリテ其他ノ山岳ト
 共ニ悉ク火山ノ性質ヲ帶ビ現時活動ノ者尠ナラズ而シテ其經脈ハアルーチヤン
 群島及ビ露領カムサツカヲ經テ遙カニ我日本諸島ニ連絡セリ是ヲ以テ人ノ船ヲ
 我箱館ニ艤シ其針路ヲ東北又東南ニ向ケ島岸南方ニ沿フテ一大彎曲ヲ爲ス時ハ
 船ノ左舷ニ當リ所々點々山頭數十ノ烟筒ヲ認ムヘシ加之其進ンデアルーチヤン
 群島ノ東端及ビアラスカ半島ニ近クニ從フテ其噴烟ノ益活潑ニ其箇所ノ愈多キ
 ヲ知ラン此レゾ即チ暗ニ亞細亞亞米利加二大陸ヲ連結スル所ノ北太平洋北部ノ
 一大火山帶トス
 時ノ古今ヲ問ハズ火山の動作ノ活劇ヲ説ク者ハ先ツ第一ニイタリヤ國ネーブル

スノヅエスヅア火山及ビシ、リノエトナ火山チャワノロンボコ近時ニ在リ
テハ我岩代ノ磐梯山等ヲ以テ其噴出加害ノ劇烈ナル者ト唱フル如クナレト余ノ
巡視セルアルーチャン群島ニ於ケル昔時ノ火山的作用ニ係ル事歴ノ如キモ亦タ
其甚シキヲ覺ユルナリ夫ノ伊國ノヅエスヅアスト云ヒ我磐梯山ト云ヒ一ハ歐洲
文明ノ中心ナル伊國ニ位シ他ハ東洋文藝ノ淵藪ナル日本ニ在リテ其四隣ハ博學
多能好事ノ人民ニ圍マレ些細ノ變動スラ之レカ探索研究ヲ免ル、ナク理ヲ重
ネ説ヲ添ヘテ小モ大トナリ幽モ現トナリ遂ニハ世上ニ傳播シ以テ世界ノ耳目ヲ
驚カスニ至ルト雖モ此アルーチャン火山ハ其地北米ノ邊隅ニ位シ島内荒茫住民
野蠻ニシテ物理ニ暗ク文藝ニ疎カリシカ故ニ如何ナル非常事變モ唯畏懼狼狽ノ
間ニ過了シ去リテ敢テ其事歴ニ注意スル者ナシ是レ今日世ノ之ヲ知ル者稀レナ
ル所以ナリ
諸テ探検者ノ一度足ヲアラスカ半島以西アルーチャン群島中ニ入ル、キハ先ツ
其山脈起伏變狀島嶼並列ノ異態所々地盤ノ奇体ニ陥落スルノ様並ニ山腹岸壁等
ニ種々ノ地層露出スル等ニ覺ヘズ眼ヲ着ケ足ヲ留ムヘシ是レ悉ク昔時ニ於ケル

火山的働作ノ致ス所ニシテ其他新島ノ現出河流ノ閉塞湖池ノ發生等十八世紀ノ
末代ヨリ露人ノ記録及ビ土族ノ口碑ニ傳フル者スラ枚舉ニ追アラズ況ンヤ其昔
時ニ在テ吾人ノ探索外ノ者ヲヤ
露人ノ記録ニ依レバ千八百五十年ノ頃ニ於テアルーチャン群島中活動ノ火山ニ
十五噴煙消滅ノ者二十三之レニアラスカ半島ニアル四本地カツバ河上流及ビセ
ットカ群島附近ニ在ル八ヲ加ヘ單ニアラスカ一州ニ於テ火山生ノ山岳六十箇ニ
及ベリ固ヨリ此計數ノ果シテ確實ナルヤ否ヤハ余ノ茲ニ證言シ能ハサル所ナレ
モ或米人ノ説ニ依レハ火山ニシテ其熄火時代ノ極メテ古キ者ハ其火孔ニ變化ヲ
來タシ今日ニ於テ之ヲ容易ニ識別スル能ハズ即チ探検者等ノ眼ヲ免レタル者極
メテ多カルヘシ云々ト今ヨリ二十四年前米國カ此地ヲ露國ヨリ購入セシ際政府
派出ノ探検員ノ報告ニモ其活動ノ者十二山ヲ舉ケタリ實ニ余カ北洋巡航ノ途上
屢目撃セル五六ノ火山モ是等ノ中ニシテ余ハ今其一二ノ位置形狀及噴出後ノ來
歴等聞ケルカ儘ニ左ニ略記セン
ボーゴスロフ火山ト云フハアルーチャン群島中ナルオノアラスカ島オノアラ

カ港ヲ距ツル西方一百里ベールング海中ニ孤立スル豆大ノ二小島ヨリ成リ兩島
一ノ細帯ノ如キ砂堤ニ依リテ連結シ大ナル者ハ即チ火山ニシテ其形狀恰モ拳ノ
紙上ニ横ハルカ如ク禿頭海上ニ突起スルヲ六百餘尺白烟蒸氣所々ニ噴出シテ頂
上ニ一箇半腹ニ三箇アリ其頂上ナル者噴烟熾シニシテ他ハ至テ微弱ナリ小島ハ
一箇ノ大岩片ニ過ズシテ其狀恰モ歳古リタル大碑石ノ如ク屹立シ岩面青苔緑ニ
シテ愛スヘキ趣アリ前年余ガ乗込ノベイヤ號ハ火孔ノ絶頂ニ在ル者ヲ検査セン
ト欲シ一伍ノ士官水兵等登山ヲ試ム余モ亦タ之ニ加リ居タリ地質ハ脆キ黑色ノ
岩石ヨリ成リ燒石灰土之ヲ履ヒ手足ノ觸ル、毎ニ容易ニ崩レテ足場ヲ定ムル能
ハス登攀ニ甚タ困難ヲ極メタリ頂上ヲ距ツル五六尺噴烟ノ尤モ盛ナル所ニ近
クニ及ンテ硫黄ノ臭氣鼻ヲ衝キ岩石モ亦タ微ニ熱氣ヲ帶フルヲ發見セリ頂上ニ
至レハ白煙ノ騰昇スル所純粹ノ火山窓穴ノ類ニ非スシテ數條ノ大裂孔ノミ裂孔
ノ周邊ハ岩面ニ多量ノ硫黄附着シテ其質甚タ善良ナリ士官等之ヲ刺カシ艦ニ携
ヘ歸レリ島ノ南岸ハ細長キ砂堤ニシテ無數ノ海獸此所ニ集レリ我艦長ノ告クル
所ニ依レハ此火山島ハ今ヨリ殆ント百年前始メテ噴火ト與ニ海中ヨリ現出シ其

後四十年前再ビ劇烈ノ爆發ヲ爲シ同時ニ全體ノ三分ノ二ハ海中ニ没入シ其噴出
ノ灰燼四隣二百餘里ノ遠ニ及ビ嶋面今ハ僅カニ舊形ノ三分ノ一ヲ存スルノミ而
シテ此兩島ヲ連結スル細帯及ビ小島モ彼ノ再爆發ノ時ニ成ル者ナリト又露人ノ
記録ナリトテアラスカ民籍財產調査係ベトロフ氏ノ報告中左記ノ文アリ同島現
出ノ來歴ヲ詳カニスルヲ以テ余ハ之ヲ譯シテ自作ニ代フベシ
今ヲ去ル九十七年前則チ西歷一千七百九十六年五月十八日露人クルコフナル者
船ヲオムナク島ノ北端ニ繫ケリ折リシモ暴風強雨黒雲天ヲ覆フテ夜間ト相合シ
咫尺モ辨セサルニ至ル程ナク風ニ伴ヒ雨ニ混ジテ甲板上或ハ船ノ四圍ニ降り來
ル灰土ノ水ヲ打ツ音又タ何所トモナク響ク大砲ノ音ノ如キ等ニ依リ近隣必ズ火
山ノ變動アルヲ察知セリ蓋シ此地火山の働作ノ頻繁劇烈ナルコト露人等ノ熟知
スル所ナレバナリ其翌日風雨止ミ天晴ル、ニ及ンテ北方ノ海上遙カニ白烟ノ空
ニ漲ルヲ見ル同日ノ日没ニ近ツキ烟中更ニ一團ノ黒色ヲ起シ夜ニ入レハ熾シナ
ル火燄ト變ジ赫々天ヲ衝キテ夜色爲メニ白晝ノ如ク時ニ又タ驟然百雷ノ地ニ落
チタル如キ響ヲ聽クト同時ニオムナク全島ニ震動ヲ感ジ燒石灰土及ビ岩石ノ碎

破セル者頻リニ火焰ノ間ニ飛揚散亂シ船中ヨリ之ヲ見ル乘組員ヲシテ死地ニ在ルノ思ヒヲ爲サシメタリ夜明ケ第三日ニ至リ地ノ震動止ミ火焰減少シ海上遙カニ圓錐形ノ一小新島ヲ見出シタリ而シテ其高サ僅カニ百餘尺其後一ヶ月ヲ經テクルコフノ此新島ヲ再見セシキハ島盤ノ大ニ其幅員ヲ増シ且ツ高サヲモ加ヘタルヲ認メ其奇異ニ一驚ヲ喫セリトゾ夫レヨリ幾程モナクシテ灰燼燒石ノ噴出止ミ白煙ヲノミ餘マシ更ニ四ヶ年ヲ經テ此白煙モ全ク消滅シタリ千八百二十年ニ及ベル頃ハ島地ノ高サ以前ニ比シ殆ント四倍ヲ増加セリ千八百二十年同山再ビ活動ノ徵ヲ呈シ白煙蒸氣ノ吐出ヲ始メ千八百八十年ニ至ル迄ハ左程ノ變動モナカリシカ其年ノ七月頃再三ノ大爆裂ヲ起シ島盤破裂シテ其三分ノ二ハ海中ニ没シ去リ更ニ南側ニ一大岩石ヲ分生シ中間砂堤ノ細帶ヲ以テ之ヲ結ブニ至レリ云々又曰ク此火山ノ現出後八年ヲ經テ或ル露人ノ此島地ヲ過キリシ際ハ島地最近ノ海水温カニシテ島上ノ岩石ハ熱氣ヲ帶ビ居リシモ其後火山ノ第三爆裂後ハ島地ノ熱度獨リ頂上ニ留マリ岸邊ハ全ク寒冷ニ歸シ今ハ海獸水禽ノ群集游泳所ト爲レリト

シシヤルゲン火山ハアラスカ半島ノ極西端一葦水ヲ距テ、横ハル所ノオニマク島ニ在リ其高サ殆ント九千尺アルーチャン群島中ノ最高峰トス山頂ハ極メテ完全ナル尖塔ヲ爲シ白妙ノ衣之ヲ覆フテ夏尙ホ寒冷ヲ覺フルニ拘ハラズ尖頭白煙ノ徐々ニ立チ騰ル様ハ恰モ大釜ノ薪料盡キテ火力ノ將サニ滅止セントスルニ似タリ同島内尙ホ四ヶ所ノ火山アレモ五十年以降全ク睡眠ニ歸シ僅カニ此一山ヲ存スルノミ此オニマク島ハ千八百二十年ノ頃ニ在リテハアルーチャン群島中尤モ劇烈ナル火山的ノ動亂ヲ起セシ所ニシテ爲メニ島地所々全ク其體面ヲ一變セラル者アリ河流ノ閉塞シテ新湖ノ生スルアリ部落ノ埋没シテ焦熱地獄ノ遺跡ヲ存ズルアリ當時其噴出ノ灰土ハ五百里外ノシヤマジン島邊マデ飛散傳布セリト島内ハ硫黃硝子等ニ富ミ昔時ヨリ土人ハ此硝子ヲ用ヒテ矢鏃鎗鏃及ビ小刀等ヲ作リ以テ鐵器ノ代用ニ充テリ讀者ノ知ル如ク此島地ハ元來耕野ナク樹木ナク又住民モ甚タ稀ナルカ故ニ斯カル變動ニモ敢テ人畜財產ノ被害ナシト雖モ其變動ノ劇烈ナリシ痕跡ハ無言ノ島地ニ印シテ今尙ホ瞭然タリ嗚呼此島地ヲシテ氣候温和ノ所ニ位シ樹木鬱蒼トシテ原野饒カニ人畜群リテ貿易頻繁ナルノ地ナラシメ

ハ如何其被害ノ慘之ヲ名狀スルニ難カラシ
 以上枚舉スルアラスカ全州六十餘箇ノ火山ノ外亞細亞カムサツカ南端ニ於テ五
 六箇ヲ噴起シ其重モナル者ヲクルチヨリアワツカト云ヒ我千島ニ於テ五十餘ノ
 火宮ヲ開キ就中其十五六ハ今ヨリ十四五年前ミルン氏ノ巡航セシ時ニ於テ尙ホ
 氣烟ヲ吐キ居ルヲ目撃セリト其他北海道ニ本道ニ九州ニ南海諸島ニ火山ノ性質
 ヲ有スル山岳點々相連リ其數擧ケテ數フヘカラズ是ヲ以テ余ハ今余カ實地ノ目
 撃ト地理書トニ依リ是等火山ノ配置及其動靜ノ事歴ヲ推考スルハ北太平洋ヲ
 圍繞スル所ノ火山ハ盡ク其脈絡同一線ニシテ其性質モ亦大同小異ナルヲ信
 ズルナリ而シテ此火脈中近來ニ於テ其發作活動ノ中點トモ云フヘキハ實ニアラ
 スカ火山ナランカ是等無數ノ火山ハ其一方ニ於テ活動ヲ増加スルハ同時ニ又
 タ他方ニ於テ其動力ヲ減ジ或ハ全ク死滅又タ睡眠ニ歸スル等正サニ是レ火山帶
 ノ地下甲山乙岳ト連結シアルノ故ニシテ其脈絡貫通ノ狀恰モ水ノ導管ヲ通ジテ
 流動スルニ等シク導管ノ一部ニ破裂ヲ生ジ水ノ管外ニ逸出スル時ハ其破裂部
 以下ニ於ケル管内水量ノ減スルト略相同シキヲ覺フルナリ

見ヨ此アルーチャン火脈ノ東南端ハセツトカ群島ヨリ北米大陸ニ移リ太平洋沿
 岸諸州ヲ通貫シテメキシコ及ビ中央亞米利加ニ入レリ恐ラクハ之レヨリバナマ
 地峽ヲ經テ南米ノアンデス火山帶ト氣脈ヲ通スル者ナルヘシ即チセツトカ以南
 是等大陸ニ跨ルロッキーシーラネバダカスケード諸連山ノ高峯峻嶺ハ重モニ火山
 性質ヲ帯ビ其昔時ニ於ケル噴火宮ノ消盡セル者數百餘ヲ以テ數フベシ而シテ是
 等ノ諸山ハ其噴火活動ノ時代極メテ古ク近世更ニ再發新現等ノ變動ヲ聞カズ(思
ニ彼ノ合衆國內ロッキーシーラネバダカスケード諸山脈中火山ノ活動力ハ極メテ
古代ニアリテ年ノ遷ルト共ニ南遷シ行キ近時ハ其勢ヲメキシコ及中央アメリカ
ニ集メタル者ノ如ク同地方今日又ロッキー其他連山ノ北走シテアラスカ州ニ入り
活動ノ火山其數十五六箇ニ及ブ)
 ヨーコン大河ノ上流ヲ横切リテ西南ニ至ル者此所ニ於テアラスカ連山ト成リ北
 太平洋ニ面スルコックス内海ノ津頭及ビカツパ河ノ上源ニ於テ數多ノ火山性山
 岳ヲ崛起シ多クハ近代ニ至ルマデ活動シ今尙ホ硫黃ヲ噴出スル所ノ山岳一二ア
 リ而シテ是等諸山ノ昔時ニ於テ最モ劇烈ノ爆發ヲ爲セシ痕跡ハ地層ノ雜多ナル
 ト地盤ノ甚不同ナルト湖池ノ其位置異常ナル等ニ依テ今日瞭然之ヲ推知シ得ベ
 シトハ此地ヲ巡歴セシ探檢者等ノ言ナリ

此アラスカ連山火脈ハ此レヨリ尙ホモ西南ニ走リテアラスカ半島ヲ過キ其西端ニ於テ海ニ入り再ビ出テ、アルーチャン大火脈トナリ更ニカムサツカヲ經テ我千島諸島ニ移リ千島火脈ヲ爲セリ案ズルニセツトカ群島及ビアラスカ連山ニ於ケル火山ノ其演劇ノ活潑ナリシハ十八世紀以前ニシテ思フニ合衆國內太平洋岸火山ノ活動最盛後ナリ而シテアルーチャン火山ノ動靜ハ十八世紀ノ初期ニ在テハ其爆發噴出ノ度群島ノ西南部ニ多カリシカ其末期ニ際シ群島ノ中央及東北部其活動ヲ増加スルニ至テ西南部ノ一方ハ次第ニ減少スルニ至レリ之ヲ略言セハアラスカ及ビアルーチャン群島ニ於ケル一帯ノ火山ハ十九世紀ノ初メヨリ今日ニ至ル迄デ徐々其活力ヲ失ヒ去ル者ノ如シ彼ノ島地ヲ覆フ所ノ火山的排洩物ノ多量ト廢孔ノ夥シキト及ビ先輩ノ報道スル昔時火山演劇ノ強大ナリシトニ比シ今日諸火孔ノ噴出スル煙烟蒸氣其他ノ微弱活動火山ノ小數ナルトニ依リテ之ヲ知ルベシ若シ此活動力衰弱ノ原因ヲシテ昔時火山ノ其爆發ノ盛ナル時ニ於テ全ク中心ノ熱液ヲ排洩シ盡セル結果ナリトセハ今日ノ靜謐ハ實ニ暫時休息内養中ニシテ其熱液ノ地心ノ穴隙ヲ充滿スルノ間ノミ其期至リ數百ノ廢孔再ヒ爆發

シテ一時ニ數百年間貯蓄ノ熱液ヲ吐出スルヲアリトセハ其慘狀果シテ如何著者ハ此ノ如キ變動ノナカラシムルヲ祈ル者ナリ

余ハ終リニ臨ミ千八百五十年露都セントピーターズブルグ府ニ於ケル金石學協會ノ爲ニ學士シイグレキンク氏ガ *Treatise on the volcanic character of certain regions of the Russian Possession* ト題シアラスカ火山ヲ論スル文中アルーチャン火山ノ性質等ニ就テノ數句ヲ拔譯シテ左ニ掲ゲン蓋シ文中火山的ノ變動ニ就テ研究スル人ヲ利益スルノ件尠ナカラサレバナリ

曰ク島中火山ノ過半ハ其火孔ノ山頂ニ存在スルカ故ニ事實上眞性ノ火山ナルカ如シト雖モ火孔ノ内室彼ノ白烟蒸氣ノ通過昇騰シ來ル所モ地心ト外氣トヲ永久不變ニ交通セシムル純然タル火山孔ト云フヘカラズ目下活動中ノ二三火山ヲ望見セハ山頂山腹其噴出スル白氣等ハ實ニ煙烟ノ如シト雖モ多クハ眞ノ活動火孔ト全ク異ナル單一ノ裂孔ヲ通過シテ遁出スル地下熱水ノ蒸發氣ニ外ナラズ又タ昔時或火山爆發ノ際山頂時々火焰ヲ吐クヲ認メタリト云フモ或ハ火孔内ニ於テ沸騰スル溶液體岩石ノ紅熱カ外氣中ノ雲霧ト相反照シテ火焰

様ノ現象ヲ呈セシ者ナルベシ彼ノ白烟蒸氣ノ發起スルニ間斷アリ或ハ獨リ秋
 季ニ於テ其勢力ノ増加スル等之ヲ推測スルハ是等山上ノ裂孔カ地下火山性
 ヲ帶ブル熱層ト交通シ春夏雨雪ノ深ク地層ヲ貫キ沈澱シテ其中心ナル熱層ト
 觸レ化シテ蒸發氣ト爲リ穴隙即チ是等ノ火山廢孔或ハ裂孔ヲ通ジテ纒カニ外
 部ニ遁出スルニ依ル者ナルベシ尤モアルーチャン火山中純然タル爆裂的作用
 ノ火山抄シトセズ然レモ彼ノ伊太利ノヴエスグア火山ノ如ク沸騰スル溶液體
 岩石ノ大河ヲ爲シテ火孔ヨリ流出スルカ如キ形跡ハ更ニ無ク島中只燒石浮石
 硝子灰燼ノ類ヲ見ルノミ總ジテ是等火山孔ノ硫黃ヲ生スルノ多キハ特ニ他ニ
 稀ナル所ニシテ斯ク火孔内壁硫酸瓦斯ノ容易ニ結晶ヲ爲スハ其火山の動力ノ
 尤モ微弱ナル一證トシテ見ルヘキ者ナリ云々

夫ノ北亞米利加洲中第一ノ高山ト唱フル所ノセントエリヤス山モ亦昔時火山タ
 リシ痕跡ヲ存シアラスカ國及ビ英領アメリカノ境ニ跨ル山ハ三箇ノ高峯ヨリ成
 リ其最高頂ハ海面ヲ拔ク一萬八千餘尺巍然トシテ天荒ヲ衝キ山頂ノ白雪四季
 皚々白雲ト相交ル晴天ノ日ニ在リテハ之ヲ海上二百里ノ遠キヨリ望ミ得ベク實

ニ此地近海巡航者ノ標目トナレリ

去ル千八百九十一年余ノベーヤ號ニ乗込ミ氷洋ポイントパーロー番所ニ赴任ノ
 際米國地學博士ラッセル氏ノ卒エルセントエリヤス登山ノ一行六人モ亦同地渡
 航ノ便ヲ得ンカ爲メニベーヤ號中ニ乗込メリ此行ハ米國地學協會ノ派遣スル所
 ニシテ行中ニハ寫眞師アリ測量師アリテ其登山ノ目的ハ同山ノ高度ヲ確定シ山
 頭ノ形狀地質ヲ探リ併セテ山頂ヨリ四隣ノ地勢ヲ觀察スルニ在リ氏ハ前年モ亦
 ニューヨルク府ナルフランクラスリー新誌社ノ依托ヲ受ケ同山ニ登攀ヲ試ミタル
 人ニシテ次回ト同ク三ヶ月ノ長日子ヲ費セシニ係ハラズ與ニ暴風流雪ノ妨害ス
 ル所トナリ其行程僅カニ三分ノ二ニ達セシテ降下セリ其第一回登山ノ際ニハ
 途上山腹ニ於テ強烈ナル風ト流雪トニ遭ヒ氏ハ其一行ト相失スル五晝夜纒カニ
 身ヲ岩石ノ間ニ潛メ以テ生キナカラ雪中ニ埋没スルノ難ヲ免レタリト殊ニ次回
 ハベーヤ號ノ同山近岸アイス灣ニ投錨シテ一行及ビ其附屬品ヲ上陸ノ折柄端舟
 一隻ハ山ヲ爲ス激浪ノ爲メニ轉覆セラレベーヤ號ハ士官一名水夫五名ヲ失ヒ氏
 ハ隨員一名ト物品數多ヲ失ヒタルカ如キ以テ此行ノ最初ヨリ甚タ幸福ナラザル

ヲ見ルベシ

人種

古ヨリアラスカ州土着ノ住民トシ云ヘハ地球上軀幹極矮ノ「エスキモー」一族ノミヲ舉グルヲ常トセシト雖モ之レ同州住民ノ重モナル一部分ヲ撰ンデ故ラニ一々種族ヲ精細ニ分別記述スルノ勞ヲ避ケタルニ外ナラス是レ國ヲ探檢調査スル者ノ尤モ注意スベキ要點ヲ意ル者ト云ハザル可ラズ

假令ヘ其國ニ住スル土民カ多少顔貌ノ類似シアルモ其性質及ビ衣食住ニ於テ特異ノ差アル時ハ此レニ依テ一々種族ヲ明カニ區分スヘキ者ナリ見ヨ同一ノ「モンゴリヤン」人種ノ内ニモ其住ム所ノ地ヲ異ニスルニ從テ日本人支那人アラスカ人ノ如キ身體性質風俗言語等各々特別ナル住民アルニ非ズヤ況ンヤ土地ノ面積五千數百方里ヲ有スル大國ニシテ東南ハ太平洋ニ向ヒ絶ヘズ赤道暖潮ノ感化ヲ受ケ樹木鬱蒼トシテ繁茂シ百花モ亦時ニ從テ開ラキ加之山ニハ鳥獸多ク海ハ魚介ニ富ムヲ以テ此地ノ住民「トリンケット」「アルーチャン」ノ二族ハ甚シク勞セザルモ衣

食住ニ餘リアリ之ニ反シテ國ノ西部ト北部ハ一木ヲ生セザル凍野ト一魚ヲ産セサル氷海ニ接スルヲ以テ其住民「エスキモー」族ノ生活ノ様風俗ノ點モ從テ東南部ト大差ナカル可カラズ是レ余ノアラスカ土民ヲ大別シテ三種ト爲シ地勢氣候ノ差ト與ニ三種族間特異ノ點ヲ分別詳記スル所以ナリ

「トリンケット」族

前項ニ於テ余ハ余ノ遭遇セルアラスカ土人中ニ三大種族アルヲ述ヘタリ固ヨリ此三大種族タル黄色野蠻ノ同一人種ニ外ナラズト雖モ其住ム所ノ土地ノ形勝氣候産物ノ差ニ依テ大ニ生活ノ様ヲ異ニシ其他言語風俗等ニモ大差等アルカ故ニ余ハ之ヲ各別ニ記述シテ讀者ノ理解ヲ容易ナラシメントス

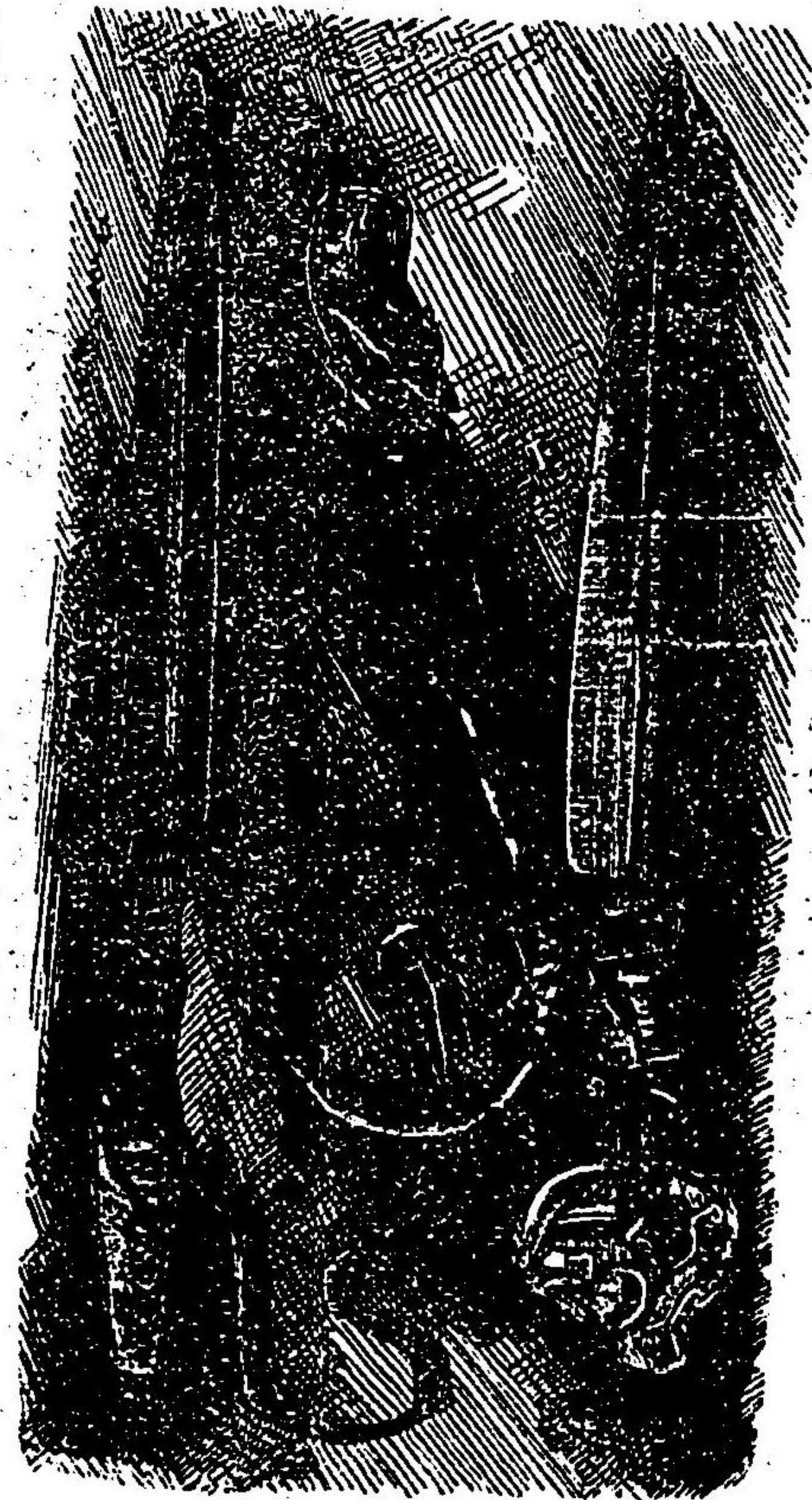
アラスカ州ハ東南部太平洋ニ面スル部分ニシテ南ハ英領コロンビヤ國境ヨリ西ノ方西經百四十五六度ニ至ル迄ハ大陸島嶼ノ別ナク沿岸ハ山高ク聳ヘ檜樅ノ類密ニ之ヲ覆ヒ加之土地瘠セ夏短クシテ五穀ノ培養ニ適セズ島内亦牧畜ニ供スヘキ曠野ナキニ非スト雖冬期長ク飼料ニ乏シキカ故ニ之ヲ行フニ難シ之ニ反シ山林



第五圖

トツケンリト婿女煤烟ヲ以テ顔面ヲ塗ルタリ

ハ濃厚ニシテ直射シ頬骨高ク秀テ、唇厚シ男子ハ一般體格完全強壯ニシテ其丈ケ五尺四五寸ニ及ビ女子ハ男子ニ比シ其體格甚タ不正ニシテ手足殊ニ小ナリ男子ハ穴ヲ鼻中ニ穿チ鑽ヲ附ケ或ハ耳朶ニ小孔ヲ穿チテ奇鳥ノ羽毛ヲ挿入セリ女子モ亦タ嬢姪年齢ニ達スレハ穴ヲ下唇ノ中央ニ通シ骨角寶石等ヨリ造レル長圓形ノ裝唇器ヲ帶ブ其他烟煤木炭朱等ヲ魚油ニ混ジ顔面ヲ塗ル尊長名族ノ如キ家計裕餘アル者等ハ日々其色ヲ更ユルヲ以テ例トセリ男女共ニ頭髮ヲ結ハズ自在



第四圖

トツケンリト族ノ概年ノ

傳フル昔時ノ事跡ト彼ノメキシコ以北太平洋沿岸土人ノ昔話ト往々一致スルアルノミナラズ言語等ノ類似ヨリシテ其オレゴン州アバチ土人ノ

分族タルヤノ説多シ

外貌

顔圓クシテ其色暗褐頭髮荒クシテ甚タ黒シ眼ハ凹クシテ無限ノ憂情ヲ含ミ眉毛

河海ハ鳥獸魚介ニ富ミ以テ此地住民ノ衣食ヲ給セリ此土族ヲ稱シテ即チ「トリンケット」族ト云ヘリ其人種ノ來歴ニ就テハ未タ世ノ定説ナシト雖モ土族ノ口碑ニ

ニ長ク之ヲ垂レ衣服ハ元來單一ナル皮服ヲ着ケシカ歐米人ト其交通ヲ開ラキシ以來一般ニ粗製ノ綿服毛布ヲ用ヒ彼ノ木根獸皮ノ服ヲ着クルハ全ク祝日法式ノ時ノミトナレリ

土族ノ階級

「トリンケット」族ハ彼等ノ間ニ二様ノ家譜ヲ傳ヘ一ヲ *Ravin chaut* ト云ヒ他ヲ *Wolf chaut* ト云ヘリ今其起源ヲ記センニ曰ク世ノ始メエーセルケーノツクナル二人ノ豪傑アリ人其來ル所ヲ知ラサレトモ二人ハ常ニ其銳邁拔群ノ力ヲ合セテ猛獸ヲ狩リ惡魔ヲ退ケ病者ヲ癒シ又タ百般ノ日用物ヲ發明シテ之ヲ人民ニ傳習シ勉メテ世ノ幸福安寧ヲ計リシカハ世人ハ之ヲ尊崇シテ神ト呼ビ中興ノ祖ト爲セリ又タ土族ノ神仙談ニ依リテ案ズルニ始メエーセルノ此世ヲ開拓スルヤ常ニ身ヲ鴉ニ變形シ四方ニ飛翔スルヲ以テ遂ニ鴉鳥ノ名ヲ得タリト然レモ獨リケーノツクニ至テハ仙談中體ヲ狼ニ藉リタル如キヲ說カズト雖モエーセルノ智ニ富ミケーノツクノ武勇ニ長スルヨリ然カセル者ナランカ狼家ノ祖ト爲セリ兩祖又タ二三ノ末家ヲ有シ鳥獸魚介ノ名ヲ以テ之ヲ名ツク其鴉家ニ從フ者ニ鳥、鷹、鳥、蛙、海豹

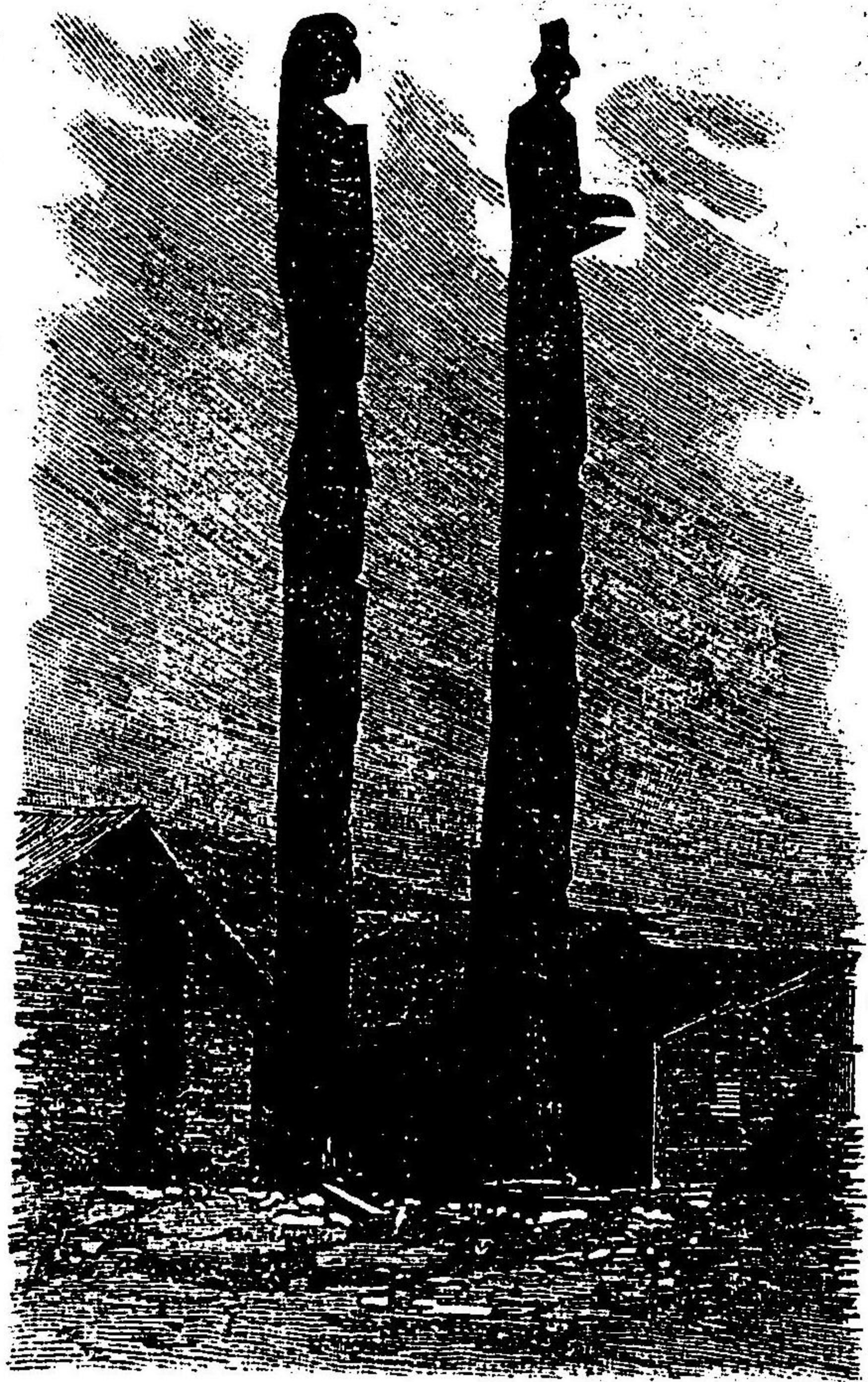


圖 六 第

圖ノ標譜家ノ長酋族トツケンリト

蛙等ノ細號アリ狼家ニハ熊、狼、鷹、海豚、沙魚ノ類等アリテ土族毎戶其一ヲ戴キ屋號家譜ト爲セリ

土地ノ良材ニ富ムカ故ニ土人ハ巧ニ挽割丸太等ヲ用ヒテ高大堅固ナル家屋ヲ建

築シテ之ニ住メリ故ニ昔時此地ヲ巡回セル歐米人等ハ土族ノ更ニ器械利器ノ助ナクシテ自在ニ巨大

ノ木材ヲ切斷運用セルノ様ニ一驚セリト
毎戸其家庭ニ長サ二丈ヨリ四五丈ノ標木ヲ建設ス此標木ハ徹頭徹尾曖昧不可思議ノ偶像ヲ彫刻シ見ル者ヲシテ奇異ノ感アラシム土族ハ此標木ヲ以テ其家譜ヲ識別スト云フ

土族ハ最モ木石骨角ノ彫刻術ニ巧ニシテ煙管假面ノ如キ實ニ精巧ヲ極ムル者抄ナカラズ婦女モ亦タ種々ノ手藝ニ富ミ樹皮木根等ヲ分截シテ纖維ヲ作り更ニ幾種ノ染色ヲ加ヘ種々異形ノ籠袋類ヲ編ミ又山羊ノ長毛ヲ編ミテ毛布及ビ引廻ノ類ヲ製造シ來リシカ歐米人ノ渡航後ハ皮類ヲ以テ舶來品ノ衣服器具ト交換スルノ却テ廉ニシテ勞ナキカ故ニ近來ハ此製造大ニ衰ヘ土族純粹ノ美術ハ纒カニ酋長名族ノ遺物トシテ其家ニ存スルヲ見ルノミ

此セツトカ地方ハ露人ノ最初ニ發見移住ヲ試ミシ地ナルヲ以テ土人ハ粗惡不便ナル彼等固有ノ舊物ヲ捨テ銳利輕便ナル歐米ノ器具ヲ用フル者少ナカラズ故ニ土人カ今日使用スル所ノ衣服家具ニシテ余ノ目擊セシ者其十中ノ六ハ舶來品ナリ然レモ其言語風俗宗教ノ點ニ至リテハ今尙ホ頑然舊ニ依ル次節ニ説ク所ヲ見

テ知ルヘシ

宗教

「トリンケット」土族ハシヤマンノ言行ヲ以テ神聖確實ノ者トナシ之ヲ尊奉セリ抑此シヤマンタラント欲スル者ハ自己便宜ノ爲メ百鬼ヲ指揮スルノ勢力ヲ備フルノ外又タ機ニ臨ミ變ニ應ジテ彼等ヲ自在ニ喚ビ起スノ權勢ヲモ帶ビザルヘカラズ

シヤマンノ鬼神ヲ指揮スルノ目的ハ之ヲ以テ獨リ未來ヲ知ルノミナラズ或ハ其隠レタルヲ現ハシ或ハ其助力ニ依リテ他ノ不幸災厄ヲ未萌ニ防キ避クルニ在リ而シテ是等シヤマン家ハ子々孫々其業ヲ相繼グヲ以テ常例トナセリ然レモ其術ニ至テハ子孫相巧拙アリ其法術ノ奧妙ヲ極メト欲セハ幾多ノ苦行ヲ爲サハルベカラズ今其様ノ大略ヲ記センニシヤマンタラント欲スル者ハ人知レズ高山或ハ深谷等寂寥ノ地ニ身ヲ潛メ只一種ノ草根ニ依リテ飢ヲ凌ギ讀經祈請スルヲ十餘日以テ其期スル所ノ神靈ニ遭フヲ待ツ此間ニ於テ尤モ警戒スベキハ人目ニ觸ル

一事ナリシヤマンニシテ祈禱間其未タ神靈ニ遭ハザル前ニ於テ一度他人ノ認
ムル所トナレバ苦行モ爲メニ其功ヲ奏セズト斯クテ其期日ニ至リ祈禱者ノ運好
キハ前代ニ在リテ靈驗赫々ノ法師ト尊敬セラレタル祖先ノ靈河瀬ヲ使トシテ
山ニ降タシ其術ヲ傳ヘシムシヤマン河瀬ヲ殺シテ其舌ヲ點檢セバ其願フ所ノ法
術舌面ニ記シテ明カナリ而シテ又タ河瀬ノ皮ハ之ヲ保持シテ法者ノ免許狀ト爲
ス故ニ近年ニ至ル迄テトリンケツト族ハ河瀬ヲ目シテ神獸ト爲シ敢テ之ヲ屠ル
コトヲ爲サ、リシガ文明ノ美風ト此地ニ於ケル獸類繁殖度ノ減縮ニ依リテ是等ノ
虛誕ヲ信スル者大ニ減ジ今ハ土人競フテ此河瀬獵ニ力ヲ盡クシ皮類ノ輸出高大
ニ増加セリ

若シシヤマンガ斷食苦行ノ久シキニ關ラズ神靈ニ接シテ其術ヲ受ケ能ハザルハ
ハ尙ホ斷食齋戒ヲ重テ兼テ名ヲ揚ケタルシヤマンノ墓所ニ赴キ其屍ト與ニ通宵
シ或ハ其死者ノ齒二三箇ヲ拔キ採リテ之ヲ己レノ口中ニ含ミ其死靈ヲ起シ法術
ヲ得ンコトヲ勉ム其一度法術ヲ學ビ鬼神ヲ指揮スルノ力ヲ得タランニハ其言行一
トシテ信セラレサルナク又タ其指揮スル鬼神ノ種類ノ多キニ從テ其權力其名聲

愈高ク報酬贈物以テ自家ノ富ヲ爲スニ足ル
茲ニシヤマンノ其法ヲ執行スル様ヲ略記センニ兼テ定メタル日ニ於テハ其法場
ノ歌人トナシテ親族中ノ音聲好キ者三四名ハシヤマント與ニ絶食齋戒ヲ行ヒ加
之尙温湯ヲ飲ミ羽毛ヲ以テ喉頭ヲ摩擦シ嘔吐シテ胃中ヲ空虚ナラシメ或ハ日没
ノ頃ヨリ始マリ翌曉ニ至テ終ル村内ノ男女ニシテ祈禱會ニ參詣セント欲スル者
ハ勉メテ身體ヲ清潔ナラシメ且ツ式場ニ於テハシヤマンノ打チ鳴ラス太鼓ニ應
ジテ奏歌讚稱セザルベカラズシヤマンハ法衣ヲ着ケ假面ヲ蒙ルリ右手ニ龍頭ヲ
握リ左手ニ太鼓ヲ携ベ式場ノ中央ニ設ケタル盛火ノ周圍ヲ驅ケ廻リ手ニ打ツ太
鼓ノ響キト一座ノ讚美歌ニ應ジテ烈シク頭ヲ振り身ヲ捻テ大聲叱咤シ其様恰
モ狂スルカ如ク亂氣セルカ如シ如斯クスル五六時間ヲ經テ法者ノ氣力衰ハ聲涸
ルハ頃一座ハ唱歌ヲ止メ目ヲシヤマンニ注ク之レ彼レト鬼神トノ問答ノ時至レ
ハナリシヤマンハ其遺フ所ノ鬼神ノ代ル毎ニ亦タ被ムル所ノ假面ヲ換ヘテ一座
ニ己ノ今如何ナル鬼神ト應接シ居ルヤヲ示メス其祈禱中シヤマンノ口ヨリ發ス
ル所ハ悉ク神語トシテ拜聴セラレ此式ノ終ルヤ一坐ハ始メテ喫煙ヲ許サレ亦タ

食ニ就ケリ如斯キ祈禱ハ重モニ冬期間新月或ハ満月ノ候ニ行ハレ土族一般ノ爲
メニ神ノ善キ思召ヲ保存シ惡病ヲ避ケ大漁ヲ祈ル等ノ爲メナリト
土族ノ神仙談

土族又々太古大洪水ノ事迹ヲ傳フ曰ク大昔大洪水起リ全土ノ人畜悉ク溺死スル
ノ時ニ當テ只少數ノ良民ノミ神靈ノ託宣ニ依リテ用意シアリタル一船ニ打乘リ
テ纜カニ難ヲ免レタリ其後日ヲ經テ水減スルニ際シ船ハ突然一高山ノ頂上ニ漂
臥スル大木ノ片端ニ觸レ中央ヨリ三ツニ破レ其乗組ノ人民モ二部ニ分ル而シテ
破舟ノ半部ハ尙ホ減退シ去ル所ノ潮流ニ導カレテ乗組員ト與ニ東方ナル諸島ニ
漂着シ其所ニ新タニ殖民ヲ開ラク他ノ半部ニ殘レル一組ハ辛クモ高山ニ留マル
コトヲ得テ今ノトリンケツト部落ヲ開ク此乗組員ノ分離ハ即チ今日言語ノ異同ヲ
生セル原因ナリト

難ヲ避ケタル良民中ニ男女二人ノ同胞アリ船體ノ二分セルニ際シ不幸ニモ兩人
ハ各其坐ヲ異ニシ東西ニ相離隔セラル兄ノ名ヲケートル(雷電)ト云ヒ妹ノ名ヲア
キシヤノク(地下)ノ妻ト云フ義ト呼ベリ初メ兩人ノ相別ルハニ臨ミ兄ハ妹ニ告ケ

テ曰ク汝ハ生キテ再ビ余ニ會セザルベシト大鳥ノ羽翼ヲ着ケテ西南ノ空遙カニ
飛ビ去リ失セヌ其後妹ハ兄ヲ追慕ノ餘リ其影跡ナリモ見バヤト或日セツトカ近
邊ナル一高山イデカンベニ登リシカ山頂忽チ裂ケテ女ヲ裂窩中ニ吞ミ去リタリ
此時ヨリシテ此山嶺ニ大窩ヲ遺セリト(此窩ハ即チ昔時ノ噴火口ニシテ露國ノ探
究者ハ往時ノ其記中ニ煙氣尙ホ發生ノ事ヲ記載セリ)兄ハ前約ヲ履ミテ妹ノ存在
中ハ更ニ本土ニ歸來セザリシガ其山窩ニ陷入後ハ年々風雨ニ乘ジテ本土ニ現出
シ今ニ至テ止マズ彼ノ雷聲ハ其羽翼ノ響キニシテ電火ハ其眼光ナリト又タ曰ク
地球ハ平面ニシテ一箇ノ大柱軸上ニ安置シ地球ノ中心ヲ支ヘテ四圍ノ重量能ク
平均一致シ更ニ轉覆ノ患ナシ而シテ此大軸ヲ保護スル者ハ彼ノ地下ノ妻タルイ
デカンベ山ノ窈女ナリ若シ百神ノ怒リニ乘ジテ我人類ヲ滅セント欲スルキハ此
柱軸ヲ倒ニシ地球ヲ海中ニ墮落セシメン爲メ窈中ノ女ト之ヲ爭ヘリ然レモ窈女
ノ勢力強クシテ毎々百神ニ勝チ能ク地軸ヲ維持シテ之ヲ今日ノ安泰ニ置ケリ彼
ノ地震ハ蓋シ百神ト窈女ノ其柱軸ヲ爭フノ時ニ起ルト
彼等亦タ靈魂不死ノ事ヲ云ヘリ曰ク人死スレバ其靈魂ハ畜類ニ轉移セズ後世親

族ノ體ヲ藉リテ再ビ此世ニ出ヅ假令ハ女子ノ懷妊中夢ニ親族ノ骨ヲ死セル者ヲ見レバ後日出生ノ赤兒ハ其死者ノ再生ナリト云ヒ其顔面ノ聊カニテモ其者ニ近似スル所アルキハ必ズ死者ノ名ヲ以テ赤兒ニ命ゼリ

「トリンケット」族モ亦々英領カナダ地方ノ土族ノ如ク奴隸賣買ノ惡弊ヲ有セリ抑此奴隸ハ重モニ土族間ノ戰鬪ヨリ起ル所ノ捕虜ニシテ其一度敵手ニ陥リシ者ハ市場ニ轉賣セラレ朋友親族間ニ贈與セラレ加之所有主ノ死去ニ遭フ時ハ殺戮シテ殉葬セラル始メ露國ノ此地ヲ支配スル時ニ於テハ奴隸ノ殉葬ヲ防カンカ爲メ地方官ハ毎ニ其所有主ニ數多ノ贈物ヲ與ヘテ其生命ヲ救助シ來リシガ米政府ノ購買以後ハ之ヲ中止センカ爲メ幾多ノ騷擾ヲ招キシニモ係ハラズ其地駐在ノ兵力ト布教家ノ力ヲ假リテ遂ニ積弊ヲ一洗シ去レリ

奴隸ハ土人間ニ於テ人外ノ者トシテ尤モ殘酷非道ノ取扱ヲ受ケ終生財產所有ノ權ヲ與ヘラレサルノミナラズ又々結婚ノ榮ヲモ禁止セララル土族中婦女ノ初産子孫ノ發達ヲ祝シ或ハ祖先ノ靈ヲ祭ルノ習ヒアリテ其富メル者ハ盛宴ヲ張リ贈物ヲ積ミ客ヲ遠近ヨリ招キテ大ニ之ヲ饗應ス奴隸ニシテ此祝儀祭式等ニ力ヲ盡ク

ス者ハ重モニ放釋セララル、ノ例ナリ此輩ハ主家ノ家譜ヲ冒カシ其末座ニ加ルヲ得奴隸ノ身體強壯ニシテ能ク働ク者ハ「トリンケット」中最高價ノ貿易品トシテ取扱ハル是ヲ以テ彼ノ村祭葬儀等ニ於テ殺戮セララル、ハ重モニ老衰病弱ノ徒ノミナリ

奴隸ノ外自由ナル「トリンケット」族ハ有形ノ刑罰ヲ受クルヲ以テ最上ノ耻辱ト爲シ土族一般之ヲ行フ者ナシ然ルニ小兒ノ寒水浴ヲ厭ヒ之ヲ拒ム時ノ如キハ大ニ鞭撻ヲ加ヘテ其意ヲ遂グレ之レハ小兒ノ我儘ヲ懲罰スルニ非ズシテ其體ヲ打テ固ムル者ナリト、竊盜ノ所業ハ左程土人ノ嫌忌スル所ニ非ズ假令盜賊ノ捕獲セラルモ其物品ヲ返却シ或ハ相當ノ代價ヲ拂フニ於テハ罪責ハ措テ之ヲ問ハズ獨リ殺人罪ヲ處分スルノ段ニ至テハ生命ハ生命ヲ以テ償ハザルヘカラズトセリ

彼等ハ又々謂ラク如何ナル醜行惡戯ト雖モ金錢貨物ヲ以テ其罪ヲ贖ヒ耻ヲ雪グヲ得ヘシト人ノ誹譏セラレ或ハ毆打セララル、ニ於テハ被害者ハ其損害ノ輕重ニ應ジ若干ノ金錢貨物ヲ受ケ以テ満足スト

其他此類ニ同シキ土習ニシテ奇々妙々ナル者舉テ數フ可ラズセツトカ近傍ニ

人ノ米國鑛夫住メリ或日兩人出役ノ隙ヲ窺ヒ二三ノ土人其家内ニ侵入シ貯ソル所ノブランドイニ升程ヲ盜ミ去レリ其翌日盜者ノ一名ハ暴飲ノ結果ニ依リテ死去シタリシカバ死者ノ親族ハ多數黨ヲ結ビ米人ヲ劫カシテ賠償ヲ求メタリト又タ一土人アリ路ヲ行クニ當テ狂犬ノ爲メニ嚙マル土人之ヲ銃殺シテ其危難ヲ免ル然ルニ狂犬ノ持主タル土人ハ其犬ヲ殺セル者ニ迫リテ償金ヲ拂ハシメタリ又タ或時米國ノ一小船アリセツトカ近海ヲ巡航ノ際土族二人風浪ノ爲メニ小舟ヲ轉覆セラレ將サニ溺死セントスル者ヲ認メテ之ヲ救助シ其後セツトカニ寄港シテ兩人ヲ部落ニ送附セリ然ルニ何ゾ鬪ラン土人ハ己ノ一命ヲ救ヒタル恩人船長ニ向テ己ノ流失セル漁舟ノ損害賠償ヲ求メ來ラントハ其愚昧不法モ亦タ甚ント云フベシ

家屋

前項ニ述ヘタル如クトリンケット入ハ其土地ノ良材ニ富ムヲ以テ元來廣大堅固ノ家屋ニ住メリ木材ハ重モニ檜樅ノ丸太ニシテ壁ハ之ヲ平行線ニ積立テ造リ屋根ハ人形ニ丸太ヲ組合セ桁トナシ木皮ヲ以テ之ヲ覆フ入口ハ敷居甚タ高ク地ヲ

隔ツルコト二尺餘重クシテ大ナル扉ヲ以テ之ヲ閉ヂ床ハ一般土間ヲ用ヒ板張ノ如キハ獨リ富者ノ家ニ就テ見ルノミ爐ハ床ノ中央ニ少シク地ヲ凹メ丸太ヲ以テ其周邊ヲ圍ム又タ爐ノ上部ニ當リ家根ニ三尺四方ノ穴ヲ開キ光線ヲ導キ煙ヲ去ルノ用ニ供ス屋内ノ兩側ニ數箇ノ小室アリ其右側ハ物置戸棚ノ類ニシテ左側ハ家族ノ寢所ナリ寢所ハ棚ヲ高ク設ケ獸皮毛布等ノ夜具ヲ備フ此土族モ亦タ合衆國内地ノ土人ノ如ク最モ好ンテ毛布ヲ身ニ纏ヒ其嗜好ノ甚シキハ毛布ヲ以テ通貨ト爲スニ足レリ土人屋内ニ在テハ椅子ノ類ヲ用キズ直チニ床上ニ跪坐セリ

食物

「トリンケット」人モ亦タ他ノ土人ノ如ク水草ヲ逐フテ漂泊スル人種ノ一ニシテ只冬期ノミ部落ノ家屋ニ住ミ夏季ハ小舟ニ乗ジテ沿岸ヲ遍歴シ魚介ノ群ル所鳥獸ノ集ル所ニ舟ヲ停メテ假リニ木枝細葉ヲ以テ小屋ヲ造リ其内ニ飽食睡眠シ獲物盡クレハ己モ亦タ他所ニ移ル天然ノ產物ニノミ依頼シテ思考勞働ヲ惜ムハ蠻族一般ノ通性ナランガ此土族ノ如キモ資性極メテ懶惰ニシテ鳥獸魚介ニ富ム好地ニ住ミナガラ其日用ノ食物ス

ラ成ル丈ケ煩ヲ避ケ勞ヲ厭ヒ常ニ海岸ニ漂着スル所ノ臭穢腐蝕ノ廢物ニ依頼セ
ントス然レモ歐米人ト交通以後ハ輕便ノ利器ヲ用キテ狩獵ヲ行フノ劇シキヨ
リ山林ニ獸類ノ數ヲ減シ沿岸ニ海獸ノ姿ヲ絶チ加之生活上彼等需用ノ度ハ日ヲ
追フテ増加シ來ルカ故ニ此懶惰至極ノ民モ勢止ムコトヲ得ズ山ニ狩リ水ニ漁シ汲
々以テ其生計ヲ營マザルヲ得ザルニ至レリ

土人ハ重モニ海産物ニ依リテ命ヲ維ナキ海藻ノ如キ軟體動物ノ如キ其種類ノ如
何ヲ問ハズ大概之ヲ食シ殊ニ蛤、烏賊、數ノ子、青魚、比目魚、鱈、赤魚、鮭ノ類ハ彼等ノ常
食物トスル所ナリ、トリンケツト族ハ其性質、エスキモー人ト違ヒ魚類ヲ生食セズ
近來ハ總テ舶來ノ鐵鍋ヲ用ヒテ食物ヲ料理スレモ昔時ニ在テハ木ヲ裂キ割リテ
製シタル曲ケ物或ハ木皮ヲ以テ造レル不透水ノ籠ヲ用ヒ之ニ水ヲ盛リ肉ヲ入レ
熱石ヲ投ジテ烹煮セリ又魚類ヲ冬期ノ用ニ供センカ爲メニハ爐ノ上ニ釣リ置キ
火熱ヲ以テ漸次ニ之ヲ乾カセリ

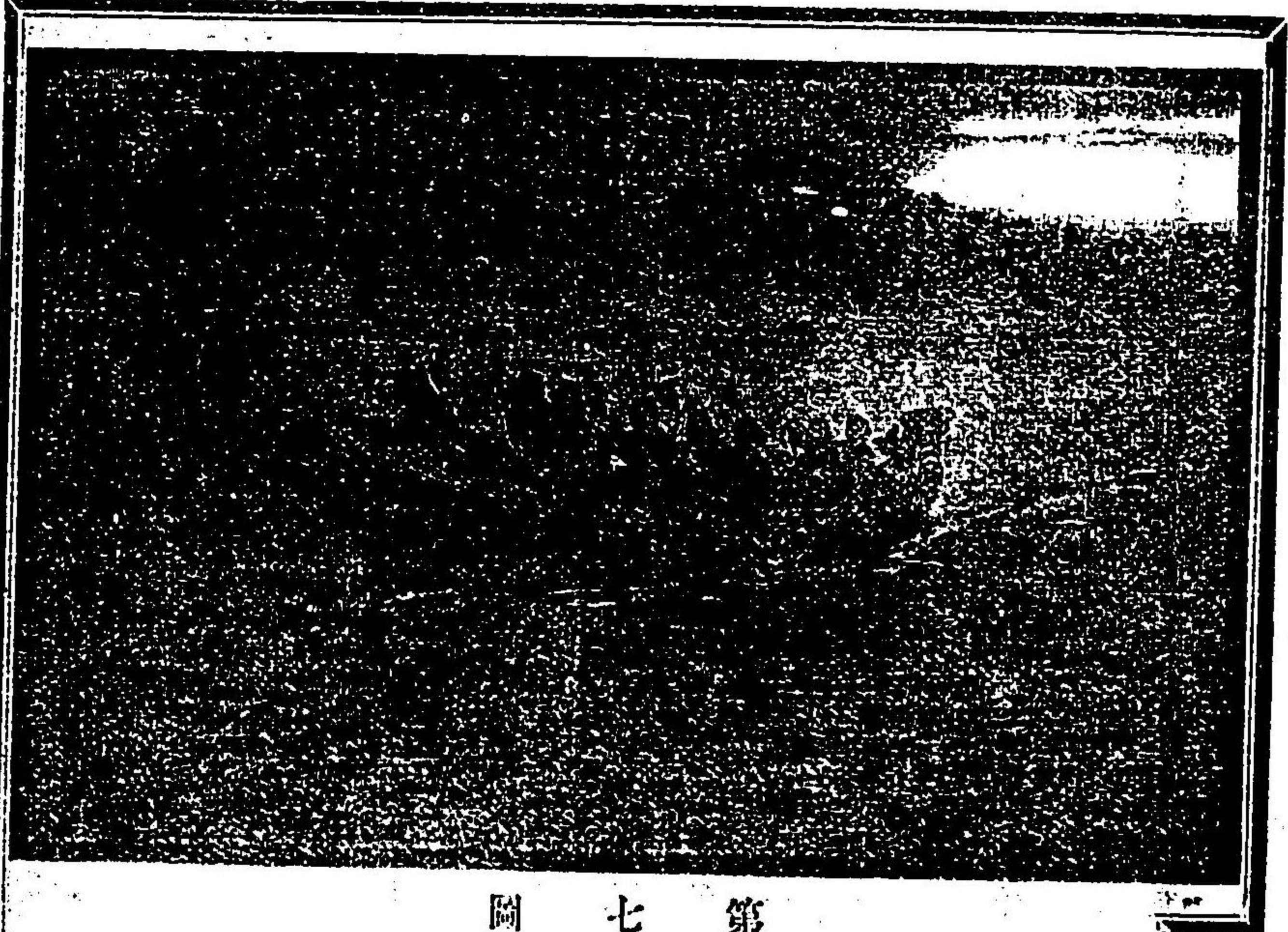
余ハ北米沿岸土人及ビアルーチャン人其他我蝦夷人中ニ於テ其食事ヲ爲スニ當
リ先ツ神ニ日々ノ恩惠ヲ謝スルノ習アルヲ見聞セリ然レモ此、トリンケツト族ニ

於テハ更ニ此ノ例アルヲ見ズ

漁獵事業

余ハ今土地ノ漁業ニ就テ記載スルニ先チテ此執迷愚昧ナル土人ノ奇癖ヲ一言ス
ヘシ

元來土人ノ漁具ハ弓矢、投鎗、釣針、籠ノ類ナリシカ火器、係蹄、網類ノ輸入以來獨リ漁
業ノ方法ヲ改良セシノミナラズ一方ニ於テハ其收獲年ヲ逐フテ減ジ彼ノ一時ハ
此地ノ名産タリシ臘虎ノ如キ黃鼬、海狸ノ如キモ今ハ殆ント其跡ヲ消滅スル者ノ
如シ然ルニ是等暗愚ノ土人ハ其歐米製ノ銳利輕便ナル利器ヲ用ヒテ限リアル獸
類ヲ過多ニ亂殺セルノ結果此ニ至リタルヲ知ラズ獨リ責メヲ白人ニ歸シテ曰ク
彼等ハ山神水靈ヲ祭ラズ神鳥靈獸ヲ殺戮スルヲ以テ鳥獸ヲ支配スル所ノ神ハ怒
テ之ヲ他界ニ移セシニ依ルト而シテ土人自ラハ元來其形ノ巨大ナル海馬、熊、河狸
ノ類ヲ以テ神鳥靈獸ナリト妄信シ敢テ之ヲ捕殺スルコトナク其山ニ入り海ニ赴ク
ニ當テハ必ズ先ツ神靈ヲ拜シテ擁護好果ヲ祈ルヲ例トセリ
土人ノ漁舟ハ草木ヲ以テ之ヲ造リ其技巧妙ヲ極ム第七圖ハ其通常ノ小舟ニシテ



第七圖
トケンツ族ノ小舟ノ圖

僅カニ八九人ヲ乗スルノミ軍船ニ
至リテハ五十人ヨリ六十人ヲ入ル
ベシ漕グニ短キ手棹ヲ以テシ又タ
獸皮ノ小帆ヲ用フ錨ハ屈曲セル四
箇ノ木片ヲ結ヒ合セ其間ニ重キ小
石ヲ挿入シテ造レル者ナリ
合衆國ワシントン府博物館員ター
レントンエツチペーレ氏ハ其報告
書中アラスカ沿海ニ産殖スル魚類
ニシテ吾人ノ食用ニ供シ得ヘキ者
六十餘種アルヲ舉示セリ此六十
餘種ノ魚類中其多數ハ「トリ」ンケツ
ト族ノ住居スル東南部アラスカ沿
海ニ繁殖スル者ナリ余ハ今土人ノ

手ニ成ル漁業ノ重モナル者ヲ左ニ記載セン
抑此沿海ハ冬期ニ於テ海上氷結ノ憂ナキカ故ニ四季漁獵ニ適セリ故ヲ以テ山獵
ノ最好時節ノ外男女老弱ノ別ナク常ニ江灣ニ漁シツ、アルヲ見ルヘシ
比日魚ハ最モセツトカ近海ニ多ク其大ナル者ハ重量二十二三貫目ニ達ス千八百
九十一年六月ペーヤ號ノ同港碇泊中乗組員ノ手ニ捕獲セル者ノ如キモ重量殆ン
ト十三貫目ニ及ベリ然レモ其味ハ小ナル者ニ比シテ甚タ劣レリ故ニ土人ハ重モ
ニ其小ナル者ノミヲ食シ巨大ナル者ハ之ヲ以テ犬ヲ養ヘリ
土人ハ此レヲ捕フルニ木製ノ釣鉤ヲ以テス此釣鉤ハ全體堅木ヲ以テ造リ只其三
局部ノミ木皮ト寸鐵或ハ骨角ヲ用ツ則チ一部ハ木皮製ノ繩一部ハ樅根ヨリ造レ
ル麻ノ類他ノ一部ハ釘或ハ骨角ヲ以テ造レル細長キ針ナリ此釣鉤ハ柄アリテ此
レニ釣糸ノ一端ヲ結ヒ付ク餌ハ重ニ青魚ヲ用ヒ此レヲ針ヨリ深ク一面ニ結ヒ附
ケ其容易ニ落失スルヲ防ク錘ハ石ヨリ成リ浮標ハ海豹ノ胃腑ニテ作レリ土人ハ
遠ク海上ニ出漁スルヲ好マズ毎ニ江灣ノ深サ十尋ヨリ二十尋位ノ所ニ在テ此釣
漁ヲ爲セリ

土人ハ元來食鹽ヲ製スルノ法ヲ知ラサルカ故ニ更ニ魚類ヲ鹽漬ト爲スナシ故
 ヲ以テ日々食料ニ供シテ猶剩餘アレハ之ヲ爐煙ニ燻乾スルカ或ハ之ヲ數箇ニ切
 リ割キ家外ノ物干欄ニ吊リテ日光ニ乾カスノミ
 此地ノ土人ハヤス又ハ懸釣或ハ樅根ヨリ作レル網ヲ用ヒテ鮭ヲ捕フヤスハ鋼鐵
 又ハ象牙等ニテ作り之ニ五六尺程ノ木柄ヲ附シタル者ニシテ土人ハ鮭魚ノ走リ
 時ヲ以テ架ヲ河中ニ設ケ其上ニ座シテヤスヲ手ニシ尤モ嚴重ニ鮭魚ノ通過ヲ看
 守ス其一度之ヲ認ムルハヤスヲ用テ之ヲ突クト雖モ時トシテ其獲物ヲ失スル
 ヲアリ

網ハ樅樹ノ細根ヲ水ニ濕シ之ヲ細カニ裂キ糸トナシ以テ一寸目バカリノ網ヲ敷
 キ河ヲ横キリテ之ヲ張り鮭魚ヲシテ首ヲ縊ラシム
 大口魚ハ重モニ鹿角ヲ以テ作レル心形ノ小キ釣鉤ニ鳥賊或ハコツ魚ノ餌ヲ附シ
 テ之ヲ釣ル即チ落シ針ノ類ナリ
 網ヲ捕フルニハ尤モ奇ナル法ヲ用ユ長サ一丈程ノ細長キ樅根ノ一端三四尺許リ
 ノ所ニ無數ノ釘ヲ打チ貫キ其形恰モ辨慶ノ鐵ノ棒ノ如キ者ヲ作ル土人ハ此樅根

ヲ用ヒ舟ヲ網ノ群集中ニ漕キ入レ水面ヲ亂打ス亂打スレハ其度ニ從テ無數ノ魚
 ハ釘尖ニ貫レテ棒ト與ニ舟中ニ來ルナリ肉ハ煮テ之ヲ日用ノ食ニ供シ其魚卵ハ
 鳥賊ノ子ト混ジテ之ヲ桶ニ入レ日ヲ經テ醱酵スルヲ待テ之ヲ食ス蓋シ土人ノ珍
 重スル美味ノ一ナリ

土人ノコデヤク島プリンスウキリヤム灣チリカット河コツクス入江等ノ地方ニ
 住ム者ニシテ其地ニ於ケル米國人ノ鮭罐詰所魚油魚粕製造所等ニ雇ハレ漁業ニ
 従事スル者少ナカラズ故ニ余ハ今此地ニ於ケル白人ノ漁業ニ就キ其一斑ヲ述ブ
 ヘシ

我明治二十四年ニ於ケルアラスカ地方廳ノ報告書ニ依レハ每歲夏期合衆國本地
 ヲリ出張従事スル米人ノ漁業年々盛大ニ赴キ本年ノ如キハ鮭罐詰所三十七箇所
 鹽漬所七箇所魚油魚粕製造所一箇所鮮鹽漬所二箇所其他數十ノ小帆船鮮獵ニ従
 事シ其捕獲ノ魚ヲ船中ニ於テ鹽漬ト爲シ直チニ本地ニ廻送スルアリ
 今此業ニ従事スル雇夫船舶ノ總數ヲ概算スルニ白人二千五百人支那人二千八百
 人土人千五百人大小汽船一百餘隻漁舟六百隻ナリトス白人ニシテ捕鮭ニ従事ス

ル者ハ月給三十五弗ノ外捕獲ノ赤鮭一尾毎ニ口錢二錢ヲ受ク支那人ハ全ク内部ニ在リテ罐詰ノ業ニノミ從事シ給料ハ他ノ勞働者ト均シカラズ其會社トノ約束ハ全ク受負人ノ如キ性質ヲ有シ生魚ヲ漁舟ヨリ受取り之ヲ洗ヒ骨皮ヲ去リ煮テ罐ニ詰メ一罐(ポンド詰四ダース入)箱仕上ケ毎ニ金四十八錢ヲ受ク但シ之ヲ使用スル家屋器具ノ類ハ悉ク會社ノ所屬物ナリ余ハ今彼ノチリカット河口ニ在ル米人所設ノ一罐詰所ニ於ケル二十四年度ノ收穫ナリト云フヲ記センニ此會社ハ資本金七万弗ヲ以テ起業シ白人五十五人支那人四十七人土人二十人ヲ使用シテ鮭罐詰二万箱此代金八万弗ヲ收入セリ

又キリスーナラアラスカ魚油魚粕會社カ報スル所ヲ聞クニ同社ハ資本金七万五千圓ヲ以テ起業シ一昨二十四年ニハ八月四日ヨリ十一月二十六日ニ至ル殆ント四ケ月間ニ於テ青魚五十三万桶重量五千三百噸ヲ捕獲シ之ヲ以テ魚油十五万七千(ガルロン)此價四万五千弗魚粕七百噸(價二萬千弗)鹽魚(一萬弗)ヲ製出シ總金七万六千弗ヲ收入セリ會社ハ僅カニ四十五人ノ白人五十人ノ土人數名ノ支那人ヲ使役シテ此業ヲ行ヒ優等ノ白人ニハ一ケ月金六十弗ヨリ一百弗ヲ給シ並手ノ者及

ビ支那人ニハ僅カニ四十弗ヲ拂ヒ土人ニハ一日一圓ヨリ一圓五十錢ヲ給セリ青魚殆ント八百尾入ノ桶一箇ヨリ製出スル油ノ高ハ大凡ソ一升六合此價平均二十九錢トス又タ青魚五十桶ヨリ製出スル粕ノ量ハ一噸ニシテ此價金三十弗ナリトス而シテ其輸出先ハ重モニハワイ島及ビ英國トス又タカリホルニヤ州菓物園ニ於テモ近年大ニ此魚粕ノ需用ヲ増加セリト

鯨ハ鮭ニ次キ沿海至ル所ニ多ク特ニアルーチャン群島周邊ヲ以テ著名ノ漁場トス米人ハ洋中鯨魚ノ常ニ群集スル一定ノ場所ヲ名ケテカッドバンクト云フ即チ二十尋ヨリ四十五六尋程ナル海中ノ洲ニシテ常ニ鯨魚ノ群集スル所ヲ指ス者ナリ合衆國水産局ハ毎歲一俵ノ官船ヲアラスカ沿海ニ派遣シ熟練ナル技術官ヲシテ其沿海ニ於ケル魚族ノ種類繁殖ノ度及ヒ其場所ヲ検査指定セシムルヲ茲ニ十數年技術官等ハ海底ノ性質其深淺及水草類ノ生殖ヲ分明ニシ何々魚族ノ何所ニ多キハ其海底ノ何質ナルカ故ナリト云フヲ迄テ研究ヲ遂ケタリ殊ニ此鯨魚群集ノ洲五六ヶ所ヲ發見シ其繁殖場所ノ面積サヘ測定シテ大ニ水産業熱心家ノ便宜ヲ増加セリ

前項ニモ述ベシ如ク鱈ハ獨リ此洲中ニ止ラズ江灣大海水ノ淺深ヲ問ハズ至所釣
 鈎ヲ垂レテ容易ニ捕獲シ得ヘシト雖モ米人等ハ重モニ此洲ニ於テ漁獵セリ余ノ
 巡視セル數ヶ所ノ捕鱈場中尤モ富饒ナルハ西經百六十一度北緯五十五度邊ニ散
 在スルシヤマジユン群島ノ沿岸ナリトス漁人ハ小舟ヲ以テ此洲ニ赴キ流鈎ノ如
 キ漁具ヲ用キテ之ヲ捕フ漁夫二人乗組ノ小舟ニ隻ニシテ一日ノ捕獲高平均二千
 五六百尾ヲ以テ大漁ト爲ス季節ハ每歲四月ニ始リ九月ニ至テ止ム但シ八九ノ兩
 月ヲ以テ好節トス針ハ其大殆ント鈎ノ如ク之ニ尺餘ノ糸ヲ附シ二尺間毎ニ親
 網ニ結ヒ着ケ網ノ長サハ三十尋ヨリ百尋ニ達シ其兩端ニハ碇ヲ附ケ網ヲシテ一
 定ノ場所ニ落チ着カシメ又タ兩端ニ浮標ヲ附シテ其位置ヲ明カニス餌ハコツ魚
 ヲ用ヒ漁夫ハ好天ノ日ヲ以テ此網ヲ沈メ數十分ヲ隔テ、一隻ハ甲端ヨリ網ヲ手
 繰リ上ケ懸鈎ニ魚ノ有無ヲ檢查シ魚アレハ之ヲ舟中ニ取リ入レ空鈎ニハ同時ニ
 新餌ヲ附シ其檢查ヲ終リタル部分ハ既ニ水中ニ沈ンテ再ヒ魚ノ懸リ居ル者アリ
 他ノ一舟モ亦タ乙端ヨリ同様ニ檢查シ來リ中央ニ於テ兩舟相會セリ二隻ノ小舟
 時ニ只一條ノ網ヲ受持ツノミニテモ終日寸分ノ休息時間ナキ程ノ一數々ナリト

彼ノ小帆船ヲ用ヒテ漁スル者ハ風波ノ穩ナル限リハ晝夜ノ別ナク網ヲ垂レテ漁
 夫交番ニ之ヲ見廻レモ其陸地ヨリ小舟ヲ以テ出漁スル輩ハ夜間多クハ陸地ニ歸
 ル漁獲ノ魚ハ脊ヲ割キ骨ヲ抜キ頭ヲ去リテ之ヲ鹽漬ト爲シ桑港ニ廻送ス桑港ニ
 於テハ初度ノ鹽ヲ洗ヒ去リ更ニ之ヲ鹽ニ漬ケ後乾シテ市場ニ出ダス同地ノ市價
 一ポンド平均金六錢ナリ

結婚

下リンケツト族ノ結婚上ニハ更ニ宗教ニ關スル儀式ナシト雖モ土族間嚴ニ同家
 一譜相互ニ結婚スルコトヲ禁ズ詳カニ之ヲ云ヘハラビンクランノ男ハウアルフク
 ランノ女ナラデハ娶ルベカラズトセリ一般ニ早婚ノ風アリ而シテ一夫多妻ハ彼
 等ノ宿弊ナリ此習特ニ富者ノ間ニ行ハル往時露國探檢者某ノ報スル所ニ依レバ
 ナシ河ノ首長ハ其家内ニ四十人ノ妻妾ヲ養ヒアリタリト妻妾中最先ニ嫁セル者
 ハ常ニ上位ヲ占メ權勢他ニ冠タリ
 結婚ノ法ハ男子其己ノ意好ニ適スル女子ヲ娶ラントセハ先ツ仲人ヲシテ其女子
 ノ親若クハ其最近ノ親族ニ就テ意ヲ通セシム仲人ノ周旋宜シキニ適ヒ先方ノ甘

諾ヲ得バ男子ハ財力ノ及ブ限リ奮發シテ贈物ヲ購ヒ之ヲ未來ノ舅父ニ贈ル其甚
 シキニ至テハ身ヲ賣リ他人ノ物ヲ盜ンテナリト其贈物ノ量ヲ増加セント欲スル
 者アリ此贈物ハ重モニ衣服毛皮毛布貴重ノ器物等ニシテ稀レニハ金錢ヲ用ウ女
 子ノ家ニ於テハ親族相會シ此贈物ヲ點檢シテ其好惡ヲ論ジ時ニ或ハ贈物ノ意ニ
 適ハザルカ爲メ縁談ノ破約ヲ來タスコト間々アリト斯クテ女子ノ父ハ日ヲ期シテ
 男子及兩家ノ親族一統ヲ招待シ其婚儀ヲ行フ期日ニ至リ衆客到來セハ新郎ハ床
 ノ中央ニ進ミ背ヲ戸口ニシテ座ヲ占ム之レト同時ニ衆客ハ祝歌ヲ歌ヒ或ハ跳舞
 ス此ハ花嫁ノ羞ヲ含ミ紅顔ヲ掩フテ室内ノ一隅ニ蟄居スルヲ座中ニ釣リ出サン
 爲メナリ此歌舞ハ固ヨリ花嫁ヲ誘出スルマデノ手數ニ止マレハ僅カ數分時ニシ
 テ終リ奴僕ハ衣服毛皮其他ノ什物ヲ新郎ト花嫁ノ間ナル座敷一面ニ散布シ花嫁
 ヲ誘出ス花嫁ハ祝ヒノ裝束ニ身ヲ纏ヒ此散布セル什物ノ席ヲ踏ミテ徐々座中ニ
 歩ミ出デ室ノ中央ニ端座スル所ノ新郎ノ左側ニ座ヲ占ム此式中ニ於テ花嫁ハ首
 ヲ揚ゲ座中ヲ一見シ或ハ隣席ノ人ト談話スルコト無キ様謹ムベキガ故ニ花嫁ハ
 終始垂頭默座スルヲ以テ例トス

是レヨリシテ一座ハ再ビ歌舞ヲ以テ雜沓ヲ極メ新郎花嫁ヲ除クノ外ハ皆歌舞ノ
 群ニ合入ス其歌フ者聲枯レ舞フ者體疲ルレバ食膳ニ就ク然レモ新夫婦兩人ノミ
 ハ其身上未來ノ天祐ヲ得ンカ爲メニ此日ヨリ二日間斷食ヲ行ハザルヘカラズ此
 期經過セハ兩人ハ小量ノ食ヲ與ヘラレ只一食ニシテ再ビ二日間ノ斷食ヲ行フ斯
 クシテ後兩人ハ一家同居ヲ許ルサルレモ尙四週間ヲ經ザレバ其夫婦タルノ固タ
 メ完全セズ而シテ男子ノ家産富裕ナル者ハ自家ニ於テ亦タ同様ノ儀式ヲ行フ斯
 ノ如ク兩家ノ式全ク終リタル後ハ男子ハ其妻ト與ニ舅父ノ家又ハ自家ニ住居ス
 ルコト勝手タルベシト雖モ自家ニ住ム時ハ妻ハ其親元ヨリ先キニ夫カ結納料トシ
 テ贈リタル贈物ト同量ノ貨物ヲ持參金ノ類ナランカ持參シ又タ其後夫婦間ニ止
 ムヲ得ザル事故生ジ雙方熟談ノ上離別セザルヲ得サル場合ニハ兩家相互ニ先キ
 ニ交換セル貨物ヲ返却セザルヘカラズ又タ男子ニシテ其女子ノ己ノ意ニ合ハサ
 ルカ爲メ之ヲ離縁セントセバ女子ト共ニ其持參物ヲ返却シ而シテ己ノ伴ヲ贈リ
 タル贈物ハ之レカ返還ヲ求ムルコト能ハズ之レニ反シ女子ニシテ不義ノ行ヒヲ爲
 シ離縁ニ遭フ時ハ其自ラ携ヘ來リシ持參料ヲ失フノミナラズ里親ノ先キニ受ケ

タル贈物ヲ一切返却セザルヘカラズ總テ其離別ノ性質如何ヲ問ハズ夫婦間ニ生シタル兒子ハ一切母親ノ手ニ屬スル者ト爲ス

傳教師中此土族間ニ布教ノ先鞭ヲ着ケタル露人某ノ報スル所ニ依レハ土族中女子ハ又タ副夫ヲ養フノ權アリテ此副夫ハ其正夫ノ不在中ノミ夫タルノ權ヲ弄ビ平時ニ在テハ婦ノ爲メニ雜役ヲ執ル所ノ奴僕ニ異ナラズ而シテ副夫タルベキ者ハ重モニ正夫ノ兄弟或ハ其親族中ヨリ撰出シ正夫死去セハ其兄弟或ハ甥ノ間ニ於テ必ズ其空職ヲ充タサ、ルヘカラズ若シ彼等ニシテ之ヲ拒ムキハ兩家ノ間ニ往々鮮血ノ變ヲ來タスアリ尤モ亡夫ノ一族中ニ兄弟甥等ノ存スル者無キキハ寡婦ハ又タ他性ヨリ己ノ意ニ適スル者ヲ迎フルノ特權ヲ有セリト

出產

前項述ブルカ如クトリンケツト土族中ハ女子ハ副夫ヲ蓄フルノ特權ヲ有シナカラ其男子ヨリ受クル所ノ待遇ハ甚タ冷淡ナル者ナリトス之レ元來昔時ヨリノ積習ト蒙味虛誕ヲ妄信スルノ餘弊ニ依ルトハ云ヘ婦人ニ對スル其行爲中實ニ殘酷至極ノ事少ナカラズ就中女子分娩ノ時ヲ以テ尤モ甚シト爲ス抑モ國ノ何所ヲ問

ハシ人種ノ如何ヲ論セズ女子分娩ノ時ニ際シテハ最モ手厚キ介抱ヲ受クヘキ者ナルニ此アラスカ土族ハ平時ト反シ或ハ之ヲ山中ニ逐ヒヤリ或ハ之ヲ屋外ノ土窟雪小屋等ニ幽閉セシムル等其舉動言語ニ斷ヘタリトリンケツト族ハ產婦ヲ以テ五體不淨與ニ眠食スルニ足ラザル者ト爲スカ故ニ女子ハ出產前ニ於テ家ヲ出デザルベカラズ故ヲ以テ時季ノ寒暑風雨ヲ問ハズ出產ハ重モニ戶外ニ於テ爲シ其後少時ヲ經テ母子共ニ豫テ用意セル狹隘粗惡ノ產屋ニ移サレ纒カニ風雨ヲ凌クノミ之レトテモ至ク他人ノ交通ヲ遮斷セラレ多クハ薄衣微食ニシテ少クモ十日間此内ニ蟄居セザルヘカラズ

獨リ產婦ノミナラズ女子ノ齡孌胎スヘキ年期ニ達スレハ五體不淨ニシテ天日ヲ拜シ清淨ノ人ト相交ルニ足ラズト爲シ一ケ年間之ヲ屋内ニ設クル所ノ暗黒狹隘ニシテ手足ガモ伸バスノ餘地ナキ一小室ニ幽閉シ其母或ハ女僕ノ食物ヲ持テ來ル者ノ外更ニ他人ト相見ルヲ許サズ此妙齡身體發育ノ最中ニ於テ斯ク幽閉スルノ極ハ往々四支ノ關節ヲシテ其常ヲ失ハシメ生涯ノ不具者ト爲ストリンケツト婦女ノ年壯ニシテ數兒ヲ舉ケタル者ノ五體ハ屈曲シテ路ヲ行クノ様兒子ノ眞

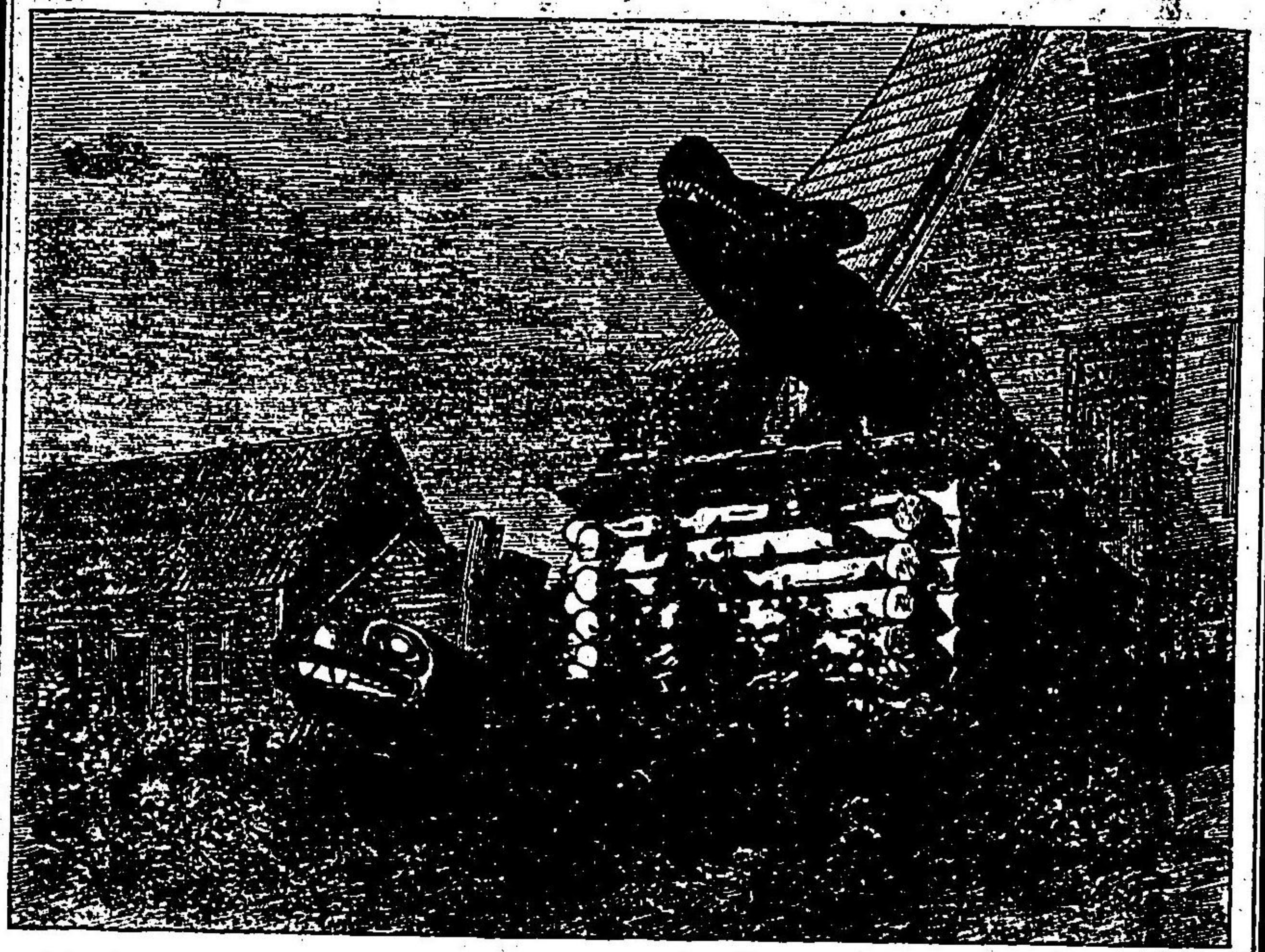
直壯嚴ナルニ似ズ

赤兒ハ母ノ胎内ニ在リテ受ケタル物質ヲ其胃中ヨリ吐出セザル前ハ決シテ乳房ヲ口ニセシメズ若シ赤兒ノ出生後一晝夜ヲ經ルモ物質ヲ吐出セザルハ亂暴ニモ其小胃ヲ壓搾シテ之ヲ排出セシム又タ出生後四週間餘ヲ經バ之ヲ板ニ結ヒ附ケ歩行スルハ其母之ヲ天上向キニ脊ニ負ヒ家ニ在ルハ之ヲ柱ナドニ結ヒ附ケ彼ノ「エスキモ」婦女或ハ我國乳母ノ如ク己ノ衣服内ニ負フヲ稀レナリ土人ノ赤兒ヲ乳養スルノ期ハ十ヶ月ヨリ三十ヶ月ノ間ニシテ重モニ十五六ヶ月ニ至レハ海獸ナドノ脂肪ヲ以テ之ヲ養フ又タ弱足ノヤガテ歩行シ得ルニ至レバ寒暑風雨ノ別ナク日々海水ニ浴セシメ以テ皮膚ヲ堅固ニスト爲セ共此苛酷ナル日課ガ如何デ軟弱ナル小兒ノ體ニ適シ得ヘキ其十中ノ六ハ之レカ爲メニ死去スルニ至ルナリ故ニ他ノ點ヨリ之ヲ見ルハ即チ土族ノ人口増加ヲ妨害シテ「エスキモ」族ノ産婦赤兒ヲ雪穴ニ幽閉シ迂濶ニモ赤兒ノ凍死ヲ顧ミサルト同一ナリ
幼兒ハ二種以上ノ名ヲ帶ブルヲ以テ習ト爲シ第一名ハ出生後直チニ之ヲ母親或ハ其親族ヨリ受ケ其祖先ノ卓越ナル者ノ名ヲ冒カスヲ以テ常トス第二名ハ成長

ノ後先祖ノ祭禮己ノ婚儀或ハ初兒出生等ニ盛宴ヲ設ケ里人ヲ饗應スル時ニ於テ父方ノ祖先ノ遺名ヲ襲フナリ一體此土族ノ奇習トシテ小供ハ母方ノ姓ヲ襲ヒ其習ヲ受クルヲ以テ順例ト爲シ父方ヲ疎ンズルノ弊アリ

埋 葬

土人ノ死屍ヲ葬ムルノ法ハ法師巫女ヲ除クノ外ハ悉ク之ヲ火葬ト爲ス法師巫女ノ死體ハ特ニ之ヲ柩中ニ收メ丸太ヲ以テ塚ヲ築キ其内ニ安置ス奴隸ノ屍骸ハ式ヲ用ヒテ葬ムルニ足ラサル者ト爲シ死犬同様之ヲ海中ニ投入セリ
土族家内ニ死者アレハ其一家親族ハ喪ヲ帶ビ深く哀悼ノ意ヲ表ス家族ハ其葬儀ニ先タチ盛膳ヲ設ケ引手物ヲ積ミ遠近ノ客人ヲ招キテ之ヲ饗應ス然レモ其客タルヘキ者ハ死者ト同家譜ノ人ニ非スシテ他譜ヲ負フ者ニ限ルナリ而シテ家産ノ豊カナル者ハ其招ク所ノ客ノ數ノ多キト饗應日數ノ長キトニ依リテ名譽家勢ヲ誇ルカ故ニ本尊ノ死體ヲシテ往々腐敗ニ至ラシムルヲアリ土地ノ風斯ノ如クナルヲ以テ家ノ貧シキ者ハ夜半竊カニ死體ヲ擔フテ村外ノ海岸或ハ山窟ニ持チ行キ之ヲ焚棄ス



第八圖
トケンノ族ノ墓標

倍テ會葬客人悉ク集リ獲勝ノ終ルヤ衆客ハ死體ヲ獸皮袋ノ種々紋繡シタル者ニ包ミ釣臺ニ乗セ之ヲ擔フテ村外ノ火葬場ニ至リ豫テ用意セル燒架ニ細柴ヲ積ミ重キタル上ニ屍體ヲ置キ親族一同ノ目前ニ於テ之ニ點火ス而シテ骨肉ノ燒失シテ灰燼ト爲ル迄テ來會者ハ火側ニ在リテ柴ヲ集メ之ヲ火中ニ投加シテ火勢ヲ熾ナラシム然レモ親族ノミハ是等ノ役ニ預カラズ唯火ヲ守リ慟哭

叫號頭髮ヲ切り縮メ或ハ頭ヲ火焰ニカザシテ其髮ヲ燒キ或ハ死骨ノ灰ヲ摘ミテ之ヲ顔ニ塗り甚シキニ至テハ小刀ヲ以テ己ノ腕ヲ切り割キ或ハ石ヲ以テ顔面ヲ破ブリ其負傷ノ重キヲ以テ悲哀追悼ノ切ナルヲ表シ之ヲ里人ニ誇ル愚モ亦々甚シト云フベシ

骨肉焚燒シ火ノ盡クルヲ待チ會葬者ハ土ヲ以テ燒骨ヲ覆ヒ其上ニ狼或ハ鯨ナドノ偶像ヲ安置ス蓋シ以テ惡靈猛獸ノ死骨ヲ犯スヲ防グニ在リト埋葬後モ喪家ニ於テハ客ヲ饗應シ來客一同ハ哀悼ノ歌ヲ謠フテ死者ノ一家親族ヲ慰メ或ハ時々哭聲ヲ發シテ逝者ヲ惜ミ而シテ其家ノ富メル者ハ此儀式中ニ於テ一二ノ奴隸ヲ屠リ黃泉ノ下再ビ前主ニ奉仕セシムルト爲セリ

アルーナヤン群島誌

アルーナヤン群島ハ東ハアラスカ半島ノ東南端シヤマジン島ニ起リ灣山西北ニ走リオット島ニ至リテ終ル之ヨリ又海上八百里ヲ隔テ、遙ニ亞細亞ノカムサツカ南端ト相對シテ大平洋及ヒペーリング海ヲ界ス全島其數百餘箇アリテ山岳絶

壁巍々トシテ聳へ其高サ多クハ四千尺ヨリ八九千尺ニ達シ山頂ノ白雪夏尙ホ寒
 キヲ覺フヘシ加之高峯ノ多クハ火山ノ性質ヲ帶ビ噴烟蒸氣空ヲ突キ遠ク船人ノ
 眼ヲ掠ム地質ハ一般ニ燒石硝石燒土砂礫腐草等ヨリ成リ滿島矮柳ノ匍匐シテ岩
 石ノ間ニ横リ或ハ山腹ヲ覆フ者ノ外更ニ一樹木ヲ生セズ然レモ此矮柳ノ大ナル
 者ハ幹ノ直徑殆ント二寸餘ニ及ブ又島中至ル所地面凹凸恰モ田野ノ荒畦ノ如ク
 枯草深ク其上ヲ覆フテ甚タ歩行ニ困難ナリ礦物ハ二箇ノ石炭礦ヲ除クノ外他ニ
 未タ發見アルヲ聞カズ石炭ノ如キモ礦源甚貧シク之ヲ汽船工場ニ用ウルニ適セ
 ズ又島内嫩草能ク繁茂スルヲ以テ露米ノ有志者牧畜菜園ノ業ニ適當ナラント誤
 認シ茲ニ之ヲ試ムルヲ百餘年ノ久シキニ及フト雖モ未タ一モ好結果ヲ得ズ特ニ
 牧畜ノ如キハ露國ノ僧及ビアラスカ貿易會社自家用ノ外今ハ其業ヲ拋棄セリ此
 ハ冬期ノ甚タ長クシテ年ノ七ヶ月間ハ全ク乾草ヲ以テ畜類ヲ飼養セザルヲ得ス
 且又夏間島内芻禾ニ富ムト雖モ其頃ハ氣候ノ尤モ濕潤ナル時ニシテ細雨濃霧常
 ニ漂腫トシテ滿島ヲ包ミ更ニ日光ノ草ヲ乾カスノ暇ナシ尤モ冬期一切ノ飼料ヲ
 桑港ヨリ輸入セント欲セハ之ヲ爲シ得ヘカラザルニアラサレモ船舶運輸ノ賃高

貴ニシテ畜類ノ其費用ヲ償ハザルヲ如何セン是レ此地ノ牧業ニ適當セサル源因
 ナリ其他勉強ノ輩ハ小園ヲ耕シテ馬鈴薯葱蘿蔔蒿苣ノ類ヲ培養スレモ是レトテ
 耕作者ノ需用ヲ充タス能ハズ今左ニ掲クル一表ハ島地ニ滞在スル寺僧カ其七ヶ
 年間ニ於ケル日々ノ氣象ヲ區分計算セル者ニシテ以テ此地ノ氣候ヲ窺フニ足ル
 ベシ

七ヶ年	晴	曇	天	雨雪霰等
五十三日	千二百六十三日	千二百三十日		

土人ノ來歴

此アルーチャン群島ニ住居スル土人ノ事ニ就テハ余ハ先年二三ノ日本新聞紙上
 ニ於テ其一斑ヲ報道セシヲアリシガ爾后尙モ實地ノ探究ト先輩ノ記録等ニ依リ
 土族祖先ノ來歴及諸般ノ風俗ニ就テ學ビ得タル者尠ナカラズ
 何人ヲ論セズ一度足ヲ此地ニ入レ土族ヲ一見シタランニハ此土族ハ亞細亞地方

ヨリ移住セル人民ナリ日本人ノ一族ナリト思惟スヘシ其頭髮ノ暗黒ニシテ荒勁ナル顔色ノ黄褐ニシテ體格ノ小形ナル眼球ノ黒クシテ睫毛ノ逆上セル鼻梁ノ低クシテ頬骨ノ高キ杯毫モ日本濱海ノ漁民ニ異ナラズ余ノ始メテ此地ニ至リ土族ヲ一見セシキノ如キ覺ヘズ邦語ヲ以テ談話ヲ試ミ其不通ニ一驚ヲ喫セシコアリシモ強チ粗忽ニ非ルベシ

米國博士エリオット氏ハ自ラ嘗テ北海ニ航シ土族ノ間ニ交リ諸般ノ調査ヲ遂ケタル人ニシテ此等ニ關スル著述モ亦タ尠ナカラズ其アルーチャン族ヲ論スル語中ニ曰クアルーチャン人ハエスキモ一族ト日本人トノ雜種ナリ曰クアルーチャン人ノ古墳ニ於テ日本ノ古器物ヲ發見セリ云々

然レモ氏ノ專ラ説ク所ハ他ノ論者ノ如ク與ニ顔面ノ類似風習ノ一致土族ノ口碑ニ傳フル昔話ノ符合等ヲ根據トシテ漠然日本ノ分族ナラント主張スルノミ又合衆國內務省雇露人イワンペトロフハ其擔當ニ係ル千八百八十年第十回アラスカ全州民籍調査ノ報告書中アルーチャン族ノ來歴ニ就キ尤モ新奇ナル事跡ヲ載セ書中此土族ヲ亞細亞ノ漂民ヨリ起レル一人種トナシ惟フニ日本人ノ分族ナラン

ト云ヘリ是レ亦顔面ノ類似土人ノ昔話ヲ引用シテ自家ノ想像臆斷ヲ下セルニ過キズト雖モペトロフハ身久シクアルーチャン人ノ間ニ混ジカラアルーチャン島在住ノ露僧等ニ借リテ最モ適切ナル調査ヲ爲シ得タリトノ評アリ故ニ余ハ姑ラク其報告書中ヨリアルーチャン族ノ來歴ヲ採粹シ以テ自説ニ代フヘシ

ペトロフ曰ク余ノアルーチャン島在留中最モ意ヲ用キシハ此土族出所ノ何所ナルカヲ知ルニ在リシ而シテ余ガ尋問シタル老人識者數十名ニ及ベドモ其答フル所口皆ナ大同小異ナリ曰ク我ガ祖先ハ西方ノ大陸ヨリ來レリト更ニ其西方大陸ノ形勢ヲ問ヘハ曰ク冬短ク暴風雨少ナク氣候溫和土地豊饒五穀登リ樹木茂リ住民ハ至テ平和ニ世ヲ送レリ然ルニ星霜ノ變遷ハ世ノ變動ヲ來タシ争鬪起リ内亂生ジ弱ハ強者ノ爲メニ凌辱ヲ受ケ内地ヨリ逐ハレテ次第ニ東方ニ移リ海岸ニ迄テ達セリト雖モ敵ノ追蹤尙止マズ遂ニハ弱者ヲシテ舟ニ投ジ難ヲ海上ニ避ケシムルニ至レリ此一群ノ敗人コソ即チ我祖先ナリ一群ハ之レヨリ無人ノ別天地ヲ發見シテ安泰ニ生活セント欲シ岸ニ沿テ北遷ヲ始ム途上亦沿岸ノ住民ニ攻撃セラレ流浪限リナク結局難ヲ此無煙ノ島地ニ避ケ永住ノ居ヲ開キタリ是レ吾族ノ

今日アル所以ナリト

ベトロフハ此西方ノ大陸ヲ以テ我日本國ナラント想像シ曰ク日本島民ノ一部ハ内亂ノ餘其強族ノ爲メニ國內ヲ放逐セラレ蝦夷千島ヲ經テカムサツカ半島南端ニ出テ其レヨリ尙ホ海獸鳥魚ヲ追テ當時無人ノ地タリシアルーチャン群島ニ移リ爰ニ殖民セシヤ疑ナシ云々ト思フニ此ベトロフヲシテ幸ニ我日本ノ歴史ニ通曉セシメシナランニハ彼ノ源判官ノ蝦夷征伐ノ事件ヲ引用シテ茲ニ無理ナル證明ヲ試ムルナルベシ讀者ノ知ル如ク是等ノ蕃族ハ元來文字ノ作用ヲ知ラザルカ故ニ更ニ記錄等ノ舊事ヲ示ス者ナシ是ヲ以テ世ノ學士探究者ハ困難ノ上ニ困難ヲ重テ專ラ土人ノ昔話風俗及ヒ其稀レニ古墳舊跡ヨリ發見スル古物等ニ依リ各自ニ隨意ノ臆斷ヲ下タスニ過ギズ故ニ甲說乙論共ニ其信用ノ價值ハ同一ニシテ敢テ輕重ナキ者ト云ハサルヘカラス

「アルーチャン」人ハ露國ト交通以來其國人或ハ「カムサツカ」人「エスキモー」人等ト其種相混合シ今日其純粹ナル土人ヲ發見シテ之レカ人相ヲ記載スルハ甚タ困難ナリ故ニ余ハ茲ニ土族ノ多數ヲ占ムル容貌ヲ記センノミ即チ目ハ黒ク小ニシテ圓

ク頬ハ骨高ク出テ、廣ク顎ハ重モニ四角張リ稀ニ尖リタル者アリ鼻ハ大ニシテ扁平頭髮ハ暗黒ニシテ荒動手足ハ小形ニシテ格向好ク皮膚ハ其色黃褐眉毛ハ濃厚ニシテ目ト與ニ少シク逆上セリ露人ト土婦トノ間ニ成レル「クレ」種中ニハ麗顔細腰ノ美人少ナカラズ男子ノ身ノ丈ケハ平均五尺二三寸ニシテ女子ハ之ニ比シテ尙ホ小ナリ尤モ土族中ニハ六尺餘ノ高人アリ亦タ三四尺ノ矮人アリ

千七百五十九年露人ノ始テ此島嶼ヲ發見セシ時ハ全島ノ人口殆ト二万餘アリテ「アルーチャン」土族等ハ世ノ大族ト自負セル程ナリシモ優勝劣敗ハ世ノ通勢ニシテ暴露苛政ノ下土族ハ次第ニ其數ヲ減ジ千八百三十年ノ頃ハ人口僅カニ四千餘ニ過キサナルニ至ル是ニ於テ兇暴不敵ノ露人モ終ニ謂ラク土人ノ數ニシテ自今尙ホ減少セバ數年ノ後ハ恐ラク毛皮貿易ヲ行フ勞働者ヲ全失スルニ至ルベシト茲ニ始メテ土族ヲ厚待保護スルニ着手セリト雖トモ數十年來ノ創痍ハ其毒深クシテ容易ニ其結果ヲ見サリシカ合衆國此領地ヲ購入セシ以後政府ハ勿論此領内ニ於テ毛皮魚類ノ産業ニ從事スル諸商會モ家屋ヲ建築シテ之ヲ其勞働者ニ與ヘ學校ヲ設ケテ其子弟ヲ教育シ醫ヲ置キテ病者ヲ施療シ又貨物ヲ輸入シテ貧者ヲ

賑恤スル等専ラ土族ノ保護ニ盡力セシヨリ稍人口ヲ増シ來リ今日ハ其數五千餘ニ及ベリ

元來土族ハ一島一部落毎ニ黨ヲ爲シ首長ヲ置キ兵ヲ貯ヘ各島互ニ争鬪ヲ事トスルヲ以テ島民等ハ他村ノ襲撃ニ對シ各自相互ノ救援防衛上便宜ノ爲メトシ又一方ニ於テハ滿島無木ニシテ薪炭ノ乏シキヨリ其温氣ヲ得ルノ爲メトシテ多クハ一大土屋ヲ築キ數家其内ニ群居スルヲ常トセリ故ニ露人ノ始メテ此島地ヲ發見セシ時モ土人ハ依然此土屋ニ住ミ居レリト抑此土屋ハ其舊跡及ヒ土人ノ模寫ニ依ルニ我農家ニ於テ芋苗杯ヲ培養スルニ用ウル暖室ノ如キ濕潤粗悪ノ廣大ナル土屋ニシテ只屋根ノ一方ニ設ケタル三尺四方ノ穴ヨリ昇降出入スルノ別アルノミ是等ノ土屋中其大ナル者ハ長サ二十五間ヨリ四十間ニ至リ幅十間ヨリ二十間ニ及ブ者アリ然レモ露人ノ此群島ヲ占領セシ後土民ヲ驅リテ之ヲ遠方ノ諸獵地ニ分遣シ漁獵ニ從事セシメシカバ爲メニ彼ノ各島相互ノ争鬪ハ全ク其跡ヲ絶チ從テ家屋ノ構造生活ノ様ヲ一變セリ爾來今日ニ至ルモ土人ハ土語ニバラヅキト唱フル狹隘ナル小屋内ニ各家分居セリ此家屋ハ十尺四方形ノ地面ヲ二尺ノ深サ

ニ掘リ窪メ板ヲ建テ四壁ヲ作り土塊ヲ積ミテ外部ヲ圍ミ屋根ハ木片柳條等ヲ以テ下地ヲ作り土ヲ以テ之ヲ塗リ其上ヲ草ニテ葺キ家ノ一方ニ小戸ヲ設ケテ出入ノ口ト爲シ他ノ一方ニハ小キ窓ヲ開キテ光線ヲ導ク家内ハ二夕間ニ分レ其戸口ニ次ク所ヲ物置トシ奥ノ間ヲ勝手兼寢所ト爲ス床ハ元來堅ク滑カニ打チ固メタル土間ナリシカ白人ノ渡航後ハ本地ヨリ木材ノ輸入アルカ故ニ床ハ勿論家内百般ノ構造多クハ板ヲ用ウ其家産ノ裕カナル者ハ獨リ家屋ノ木造ナルノミナラズ四壁ニ種々ノ圖畫ヲ掲グ或ハ珍奇ノ介石ヲ飾リ小窓ノ内ニハ二三ノ盆栽ヲ並置シ以テ居室ノ風趣ヲ増ス杯此邊隅島人ノ嗜好ヲ徴スベシ土人ハ夏季海獵期節ノ外ハ重モニ此小屋ニ籠城シ露製ノ銅壺ニ絶ヘズ茶ヲ煮テ終日之ヲ飲ミ或ハ我山川造ノ如キ自製ノ濁酒ニ昏醉シ頗ル懶惰ニ其日ヲ送レリ是等ノ土屋中乾燥清潔ノ者少ナカラスト雖モ其多クハ濕潤不潔一種ノ臭氣ヲ帶フ又タセントポールセントデヨルジノ兩セール島及ヒオンアラスカ灣ヲンガベルコースケ等ニ於ケル土人ニシテアラスカ貿易商會ノ獵夫タル者一家ニ限リ會社附屬ノ小奇麗ナル木造ノ洋屋ニ住ムヲ許サレ家中生活ノ様日用ノ器具衣服等毫モ白人ト異ナルヲナ

シ是レ會社カ土人ヲシテ舊來ノ半木半土ナル不健康ノ粗屋ニ住居セシムルキハ
身體爲メニ健全ヲ失ヒ漁獵上充分ノ勞働ニ堪フル能ハザルニ至ルヲ憂ヒ夙ニ此
點ニ着目シ上ニ揭ケタル各部落ニ四坪程ノ家屋數百ヲ作り之ヲ其獵夫ニ無賃貸
與セリ

當初露人ノ此島地ニ上陸セシ頃ハアルーチャン島民ハ極テ大胆不敵ノ蠻族タリ
シカ今日ニ於テハ其風俗習慣上之ヲ半開ノ良民ト云フノ外更ニ舊時野蠻ノ遺風
ヲ存スルコトナシ之ヲ比較シテ云ヘハ毫モ我都會ノ良民ニ異ナラズ一體土族ハ露
人ト交通以來夙ニ西教ヲ信仰シ頑愚ナル夷狄ノ風習亂暴ナル邪道ヲ棄テ、之ヲ
耶蘇教ノ純粹善良ナル聖教經典ニ代ヘタリ故ヲ以テ北米ノ諸蠻族中實際耶蘇教
ヲ奉スル土民ヲ舉ルキハ獨リ此アルーチャン族アルノミ而シテ其思想性質ニ至
ルマデ其北隣ナル「エスキモ」族及ヒ東隣トリンケット族ト類似セサルナリ以上
ノ二族ハ頑愚ニシテ教化シ難シト雖モアルーチャン人ハ銳意自化ノ性ヲ帶ブ
アラスカ州面積廣ク其人口モ亦四万人餘アリト雖モ彼ノ沿海ニ出沒シ傍若無人
ニ其獸類ヲ漁獵スル白人ノ行爲ヲ怒リ堂々之レカ非ヲ政府ニ訴ヘタル者ハ獨リ

此アルーチャン族アルノミ彼等ハ曰ク我々ハアラスカノ本土ニ生レ本土ニ住ス
ル合衆國政府ノ一民ニシテ我等ノ今日依テ以テ僅カニ獨立ノ生計ヲ保ツ所以ノ
途ハ只此海獸漁獵ノ一事アルノミ然ルニ近來不法ナル白人ハ故ナク我獵地ニ侵
入シ剩サヘ火器ヲ用ヒテ濫リニ動物ヲ獲殺シ我々ノ職業ヲ滅殺スル妙ナカラズ
法令ノ今日之ヲ禁止スルコトナクンバ此狡猾獵シ難キ動物ハ何時生産ノ地ヲ代ヘ
我々土着ノ住民ヲシテ生路ヲ失ハシムルヤ圖リ難シ云々ト宜ナル哉政府ハ法令
ヲ發布シテ土人ヲ除クノ外アラスカ州ニ於テ獸類ヲ獵スルコトヲ禁セリ

アルーチャン族ノ過半ハ能ク歐文多クハ露語ヲ解スト雖モ其智識ノ度極テ狭ク
其思想ハ甚タ變シ易シ性質極テ謙遜鄭重主人ニ從順ニ同族ニ厚シ男子ハ沈黙ニ
過キ女子ハ多言ニ傾ク土人ハ久シク露國ノ配下ニ在リシヲ以テ其感化ノ風習寧
ロ米風ニ遠ク露風ニ近シ其奉スル所ノ宗教禮法誕生祝幼兒ノ命名方ノ如キ凡テ
露ヲ倣フ加之土人ハ非常ニ茶ヲ嗜ミ咖啡ヲ用ウル者稀ナリ又タ輸入ノ木材石炭
ノ外全島一木ヲ生セズ其日用ニ供スル薪炭ハ重モニ枯柳或ハ僅少ノ漂木ノミ故
ニ日々ノ食物ハ成丈ケ割烹ヲ避ケ重モニ堅麵麩ソーダクラツカ及スイートクラ

ツカノ類ヲ用キ麥粉ヲ買テ自ラ麩類ヲ製スル者少ナシ此輸入ノ食品ノ外沿海亦魚介鳥類ニ富ミ之ヲ得ルニ易シ故ヲ以テ「アルーチャン」人ハ其隣族「エスキモー」或ハ「トリンケット」ト反シ滋養成分多量ノ食ヲ取り海獸巨鱗ノ脂肪ヲ用ウル極メテ少量ナリ

「アルーチャン」族父母一般ノ通風トシテ其子弟等ノ八九才ニ至ル迄テハ之ヲ養育スル法甚タ寛容姑息ナリト雖モ一旦年齢ノ此期ヲ過クルニ至レバ其取扱ヒノ法俄カニ變ジ獨リ之ヲ驅役使用スルノ過度ナルノミナラズ其長者ニ對シテ尤モ從順ナラシム

扱テ是レモ未開人ノ通弊トシテ「アルーチャン」婦女ハ極メテ衛生ノ道ニ暗ク其小供ヲ養育スル甚タ拙ナリ其養フ所ノ食物ノ量ヲ限ラズ又夕時ヲ定メス身體衣服ヲ清潔ニセズ加之幼兒養育中自ラ屢々濁酒ニ沈醉スルガ如キ其惡結果ハ獨リ自己一體ニ限ラズ其乳房ニ生活スル小兒ニ迄テ及ボシ完全ノ發育ヲ妨害シ遂ニ死亡ヲ招クト尠ナカラズ

土人ハ元ヨリ醫術ヲ知ラズ他ノ蠻族ノ如ク法者巫女ニ依頼スルノミ故ニ一度疾

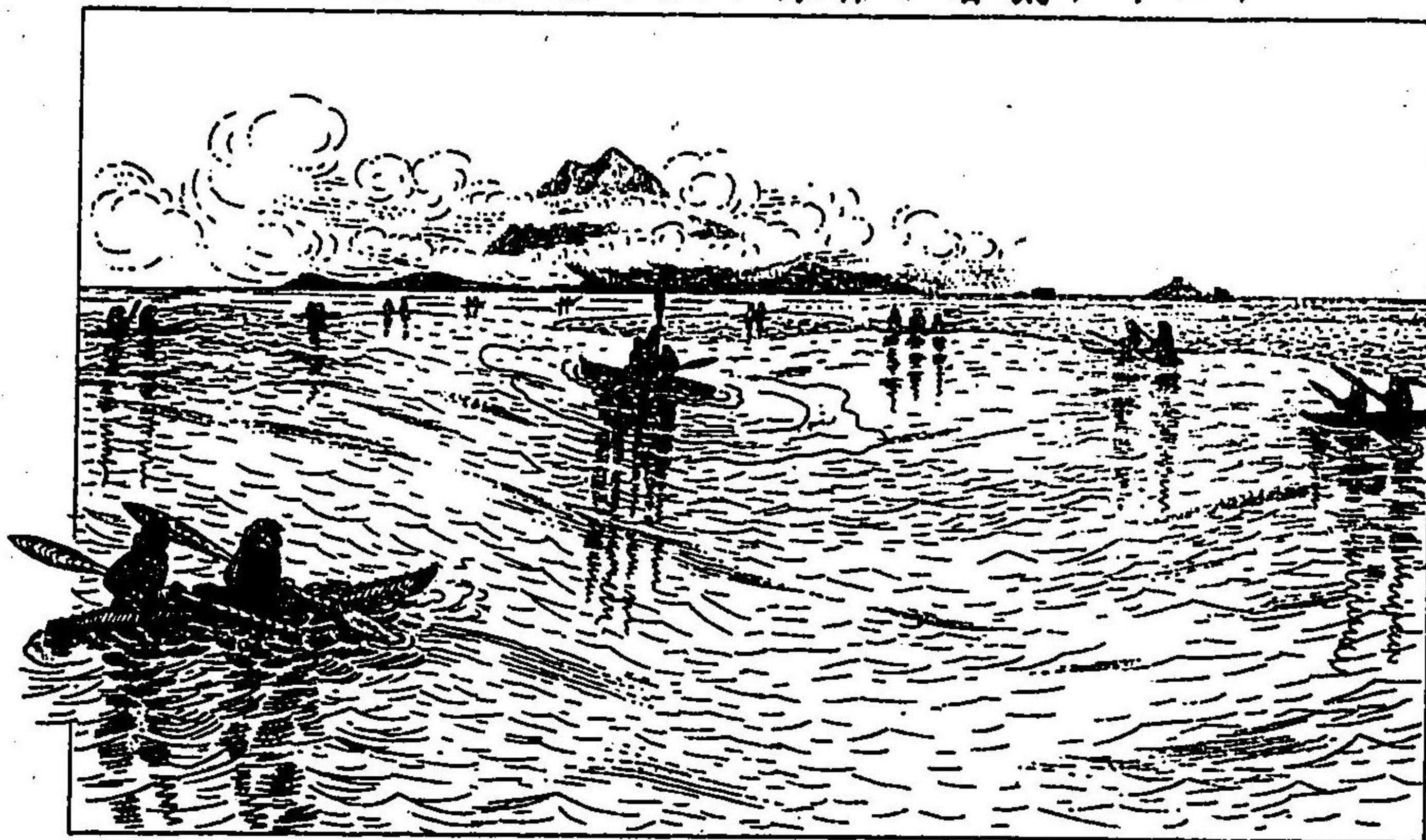
病ニ罹レハ其苦惱ヲ忍ンデ自然ノ平癒ヲ僥倖スルノミ尤モ此土族ニ限リ各部落ニ老婦ノ灸術按摩ノ如キ手術ヲ行フ者アレモ是レトテモ敢テ人身ノ構造ヲ會得シ病ノ起因ヲ察シ其手術ヲ行フニ非ズ基ク所ハ唯言ヲ神託靈夢ニ假リ無暗ニ其術ヲ施ス者ノ如シ恰モ乳母カ泣兒ノ痛所ヲ擦リテ泣啼ヲ止ムルト同然ナランカ土族亦早婚ノ弊アリテ男女十三四才ニ至レバ婚嫁セリ而シテ夫婦相撰ブノ權ハ其父母ニ在リテ男女自ラハ更ニ相互愛憐ノ情無キカ如シ

「アルーチャン」壯年輩ノ其妻ヲ娶ル後ハ行爲自然ニ勇氣忍耐ヲ増シ多クハ大膽不敵ノ獵者ト爲ル是レ即チ余ノ前項ニ述ヘタル如ク此島民ハ纒カニ妻ヲ養ヒ子ヲ育ツルノ活路ハ只海獵即チ臘虎臘鹿ヲ獵スルノミニシテ妻帶者ハ其生計ノ競争上勢自ラ忍耐大膽ナラサル可ラサルニ依ル故ニ此漁獵ノ一點ニ於テハ白人ト雖モ遠ク及ハザル者アリ今其模様ヲ記サンニ「アルーチャン」獵者ハ土語ニ「ビダーケ」ト唱フル皮製ノ細長キ小輕舟ニ乗ジ不意ニ動物ニ近寄り投鎗ヲ以テ之ヲ突ク其進退迅速ニシテ音ナク毫モ他獸ヲ恐怖擾亂セシメズ又小兒ヨリノ練習能ク其妙ヲ得動物ヲ狙テ一度鎗ヲ投スルキハ必ス命中ス其他一握ノ食一掬ノ水一葉

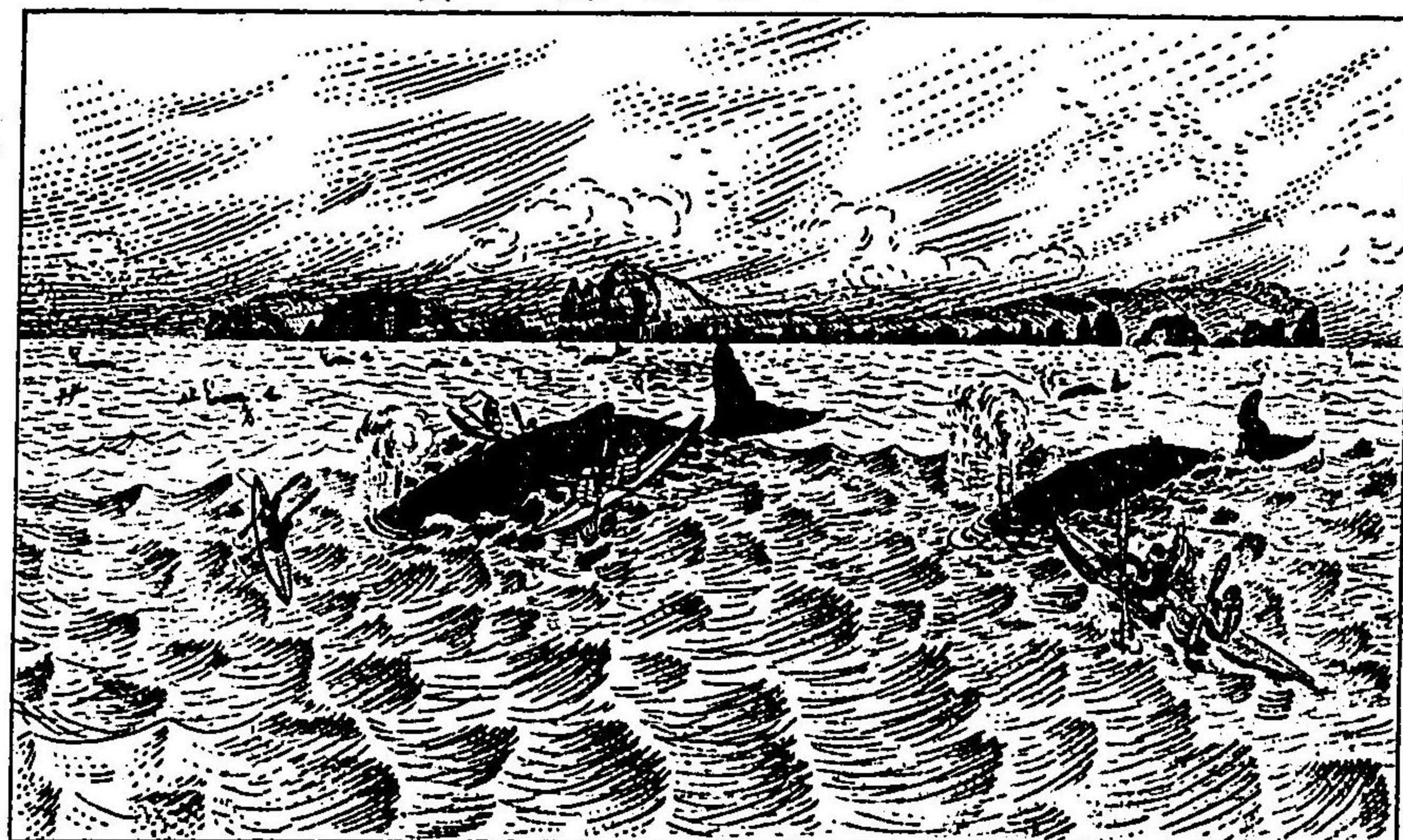
ノ輕舟ヲ頼ミテ大膽ニモ海上數里外ニ乘リ出シ時ニ或ハ颶風ト戰ヒ波浪ト相闘
 キ更ニ恐怖セサル者ノ如シ白人ノ獵者ハ全ク之レト反シ其端舟ノ木製ニシテ重
 ク燒ノ長クシテ之ヲ動カス毎ニ水ヲ打ツノ響及ビ銃聲硝烟遠近ノ獸類ヲ恐怖シ
 テ再ヒ之レニ近ク能ハサラシム是レ白人ノ其漁獵上大ニ土人ニ及サル所以ナリ
 臘虎ヲ獵スルノ法ハ土人今以テ堅ク舊式ヲ守リ投鎗弓矢ヲ用キテ敢テ火器ニ頼
 ラズ獵期ハ毎年六月ヨリ九月ノ間ヲ以テ好時ト爲ス而シテ其期ニ至レバ獵者ハ
 部落毎ニ二人乗ビダーケー四隻以上二十隻ヲ集メテ一隊ヲ組ミ部落ヲ去ル數十
 里或ハ百里以外ノ獵地ニ赴キ暴風強雨ノ海上荒クシテ舟ヲ出タスヲ能ハザル時
 ノ外毎日海上ニ出テ、漁獵セリ此團隊中必ス一人ノ能ク氣象ヲ解スル者アリテ
 絶ヘズ變動ニ注意シ以テ船隊ノ出入ヲ指揮ス其好日ニ遇ヘハ獵夫一同ハ天幕ヲ
 出テ水邊ニ至リ身ヲ清メ天ニ祈リ甚タ嚴カニ舟ヲ出シ其岸ヲ離ル、ニ當テハ笑
 談諧語以テ互ニ好意ヲ表シ銳氣滿々海上ニ進ム然レモ舟ノ其岸ヲ遠サカルニ從
 ヒ全隊次第ニ沈黙ニ赴キ途ニハ手撓ノ音スライト靜カナリ船隊ノ指揮者ハ尤モ
 熟練ナル獵者ニシテ毎ニ手撓ヲ動カシ各舟ニ進退ノ合圖ヲ行ヒ各舟ハ之ニ應ジ

其位置ヲ變ジ隊形時ニ或ハ半圓形ト爲リ或ハ一直線ト爲リテ各自ノ視線ハ四方
 ニ注射シ水面臘虎ノ現出ヲ窺フ隊中第一ニ認ムル者ハ撓ヲ揚ケテ他舟ニ其方向
 ヲ示ス之レト同時ニ全隊ハ舟ヲ其方向ニ進メ動物ノ潜水セル邊ヲ間近ク圍繞シ
 テ其再出ヲ待ツ然レモ此動物ハ性質尤モ狡猾ニシテ用心深ク一度潜水セハ水底
 ニ方向ヲ變ジ遠ク船隊ノ圍線外ニ脱出スルヲ屢々ナリ斯ノ如キ場合ニ於テハ獵
 者ハ以前ノ隊列ヲ解テ再ビ新線ヲ作ルヲ其運動尤モ迅速ナリ
 斯クテ動物繞圍線内ニ再出セハ其最寄ノ獵夫ハ鎗ヲ投ジテ之ヲ突ク投鎗命中セ
 ハ其鎗頭ハ柄ヲ離レテ動物ノ體内ニ止リ再ヒ抜ケ去ラズ動物ハ第一傷ヲ受クル
 ヤ直チニ潜水スト雖モ鎗傷ハ動物ヲシテ長ク水中ニ留マラシメズ瞬時ニシテ再
 現スルヤ第二第三等ノ鎗頭ヲ受ケ途ニハ死シテ潛入セサルニ至ル斯クテ天氣ノ
 許ス限リハ終日巡獵ス其獵者ノ使用スル投鎗頭ニハ豫テ自己ノ名號ヲ彫ミアル
 カ故ニ後日首實檢ノ節支配人ハ死體負傷ノ輕重ニ依リテ其鎗術ノ巧拙ヲ評シ又
 タ誰レノ鎗ハ致命傷ヲ來タシ誰レノ鎗ハ輕傷云々ト鑑定區分シテ其第一番鎗及
 ビ致命傷ヲ與ヘタル者ヘハ會社ハ一頭毎ニ金二弗ヨリ十弗迄ノ賞金ヲ與フ此ノ

圖ルス猯ヲ虎臘ミ組ヲ隊舟小者獵チルア



圖ノ鯨捕族チルア



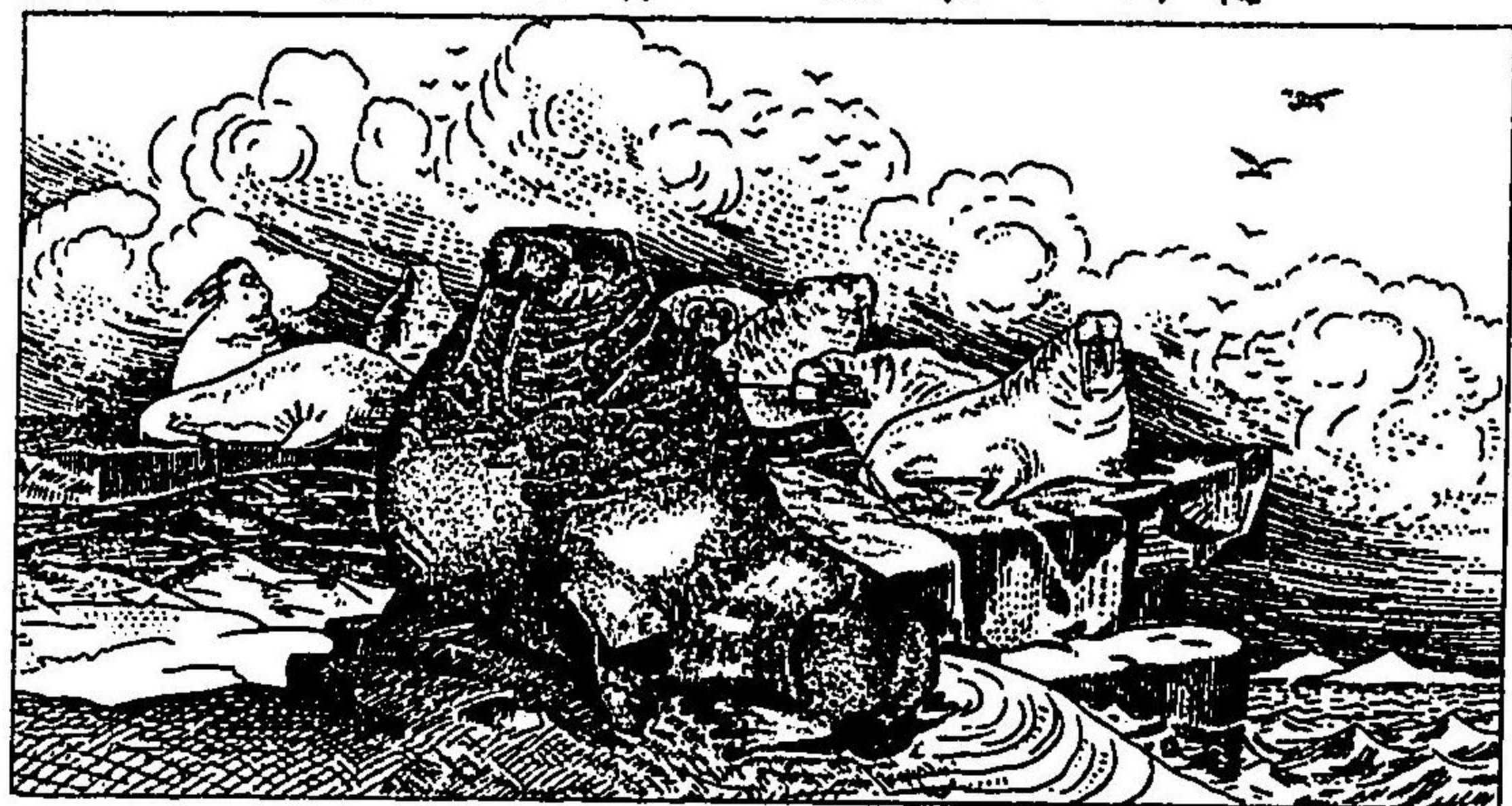
第九圖

第十圖

外會社ハ全隊ニ向テ捕獲一頭毎ニ金五十弗ヲ拂フ
 今ヨリ十數年前迄テハ北太平洋ニ面スル諸島地ノ日本潮流(黒潮)ノ注ク所ハ此高
 價ナル柔毛海獸ノ繁殖多カリシカド彼ノ活眼銳利ノ白人カ一度良獸ノ所在ヲ知
 リシ以後ハ競フテ此獵ニ從事シ數年ヲ出テズシテ遂ニ我千嶋沿海ヨリ此アル
 チャン嶋邊殆ント動物ノ跡ヲ絶チシ如ク今ハシヤマジン群嶋ノ周邊纔カニ其繁
 殖ヲ見ルノミ故ニ熟練ナルアルーチャン獵夫ト雖モ一季十頭ヲ捕殺セハ以テ最
 上ト爲セリ

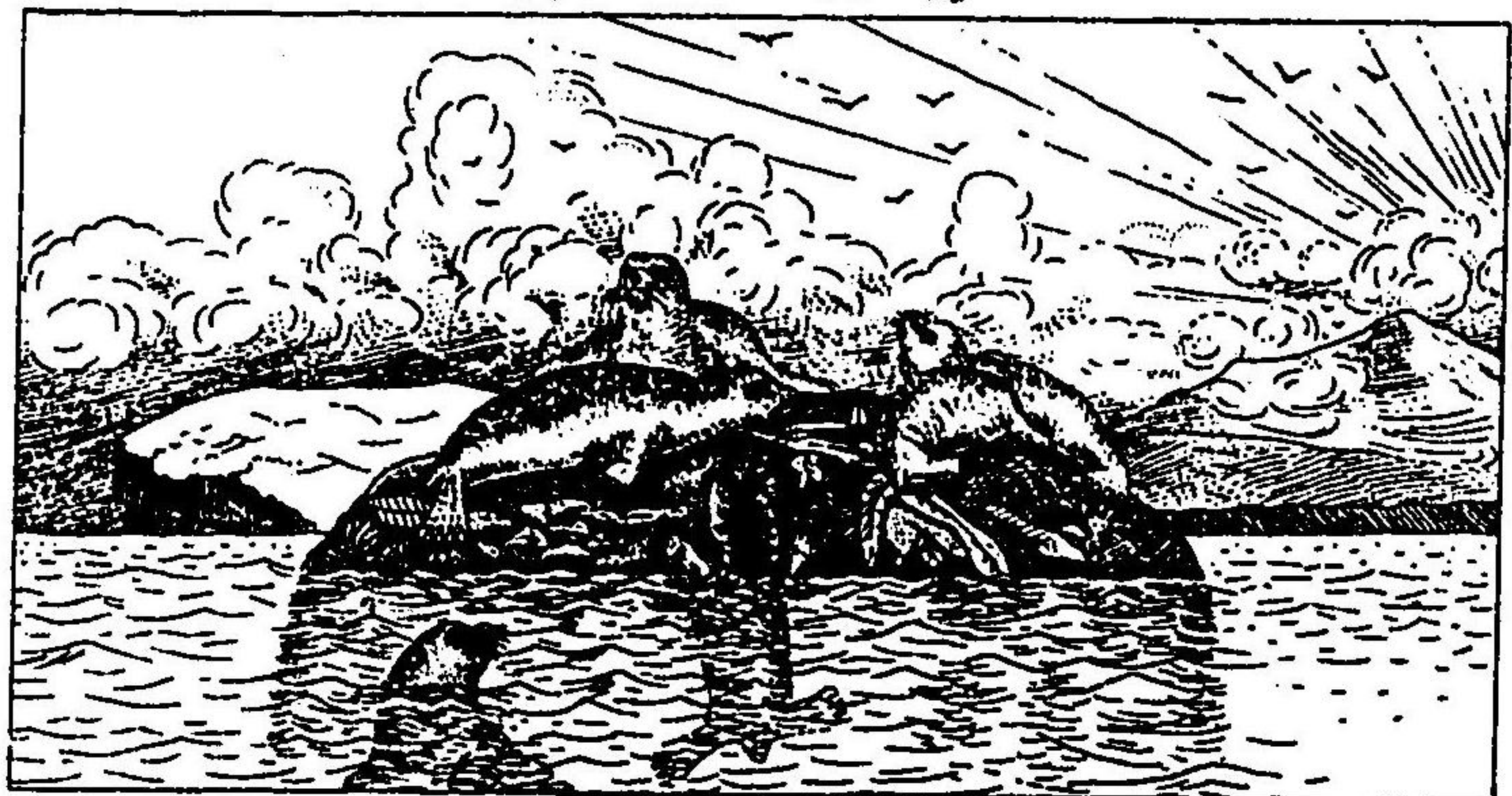
近來歐米市場ニ於テ臘虎皮一枚ノ價ハ其大小及毛色ニ依リテ差等アレ上
 等皮ハ金二百弗ヨリ三百弗中等ハ百五十弗ヨリ二百二三十弗下等ハ七十弗ヨリ百五
 十弗迄テニシテ其用法ハ婦人用ノ温暖手套及ヒ被服ノ飾等ニ用テ殊ニ露國ニ於
 テハ貴顯紳士ノ冬服ヲ裝飾スルノ料トシテ非常ノ價格ヲ有シ其需用モ亦甚タ多
 シ
 アラスカ産ノ海獸皮ニシテ其毛皮ノ臘虎ニ次テ當今大ニ歐米女装ノ時樣服トシ
 テ嗜好セラル者ハ柔毛臘獸外裘ナリ此柔毛海獸モ亦アラスカ沿海ノ二小嶋

圖ノ息休ニ上氷ノ馬海



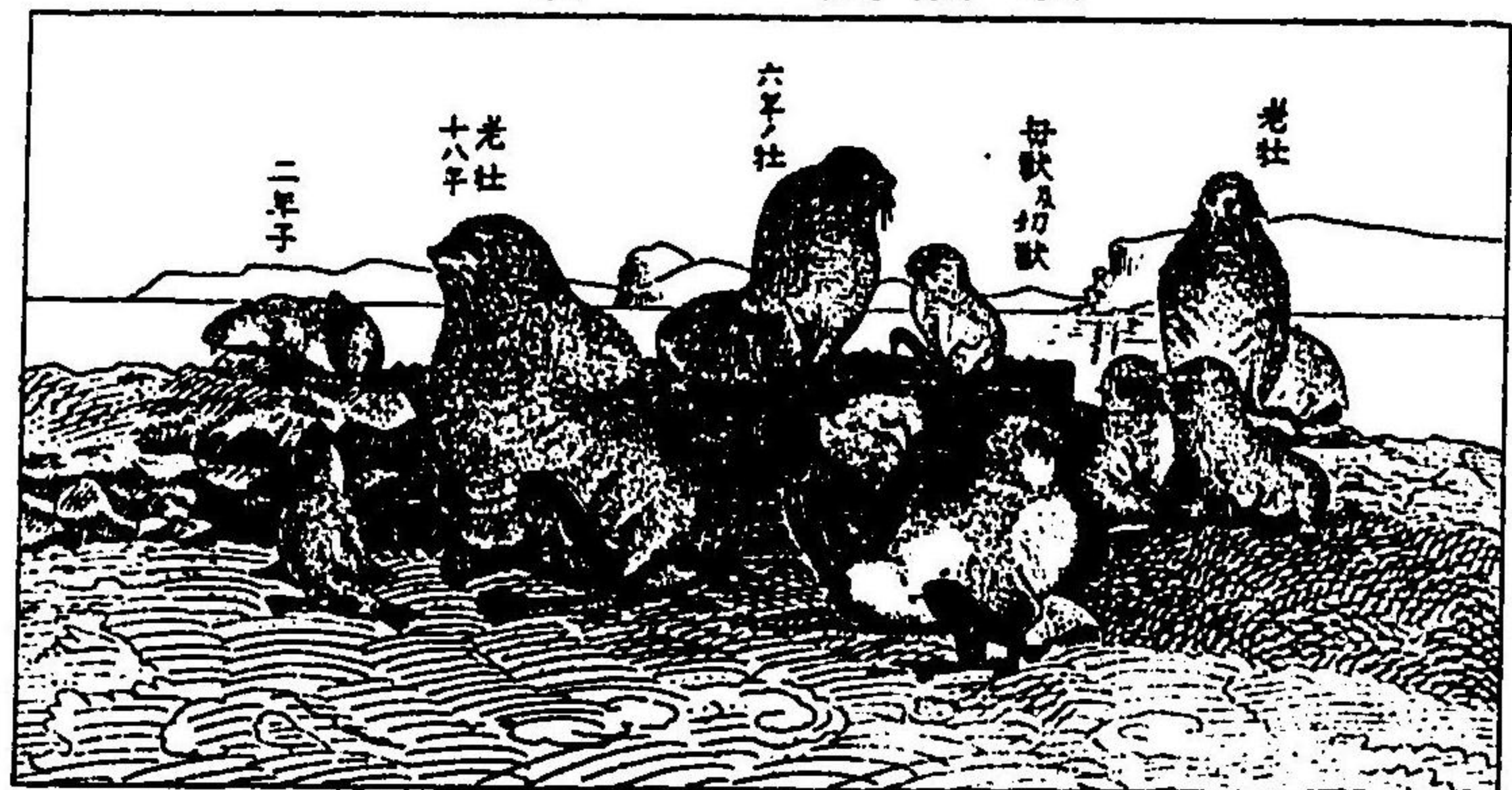
第十一圖

群一ノ豹海



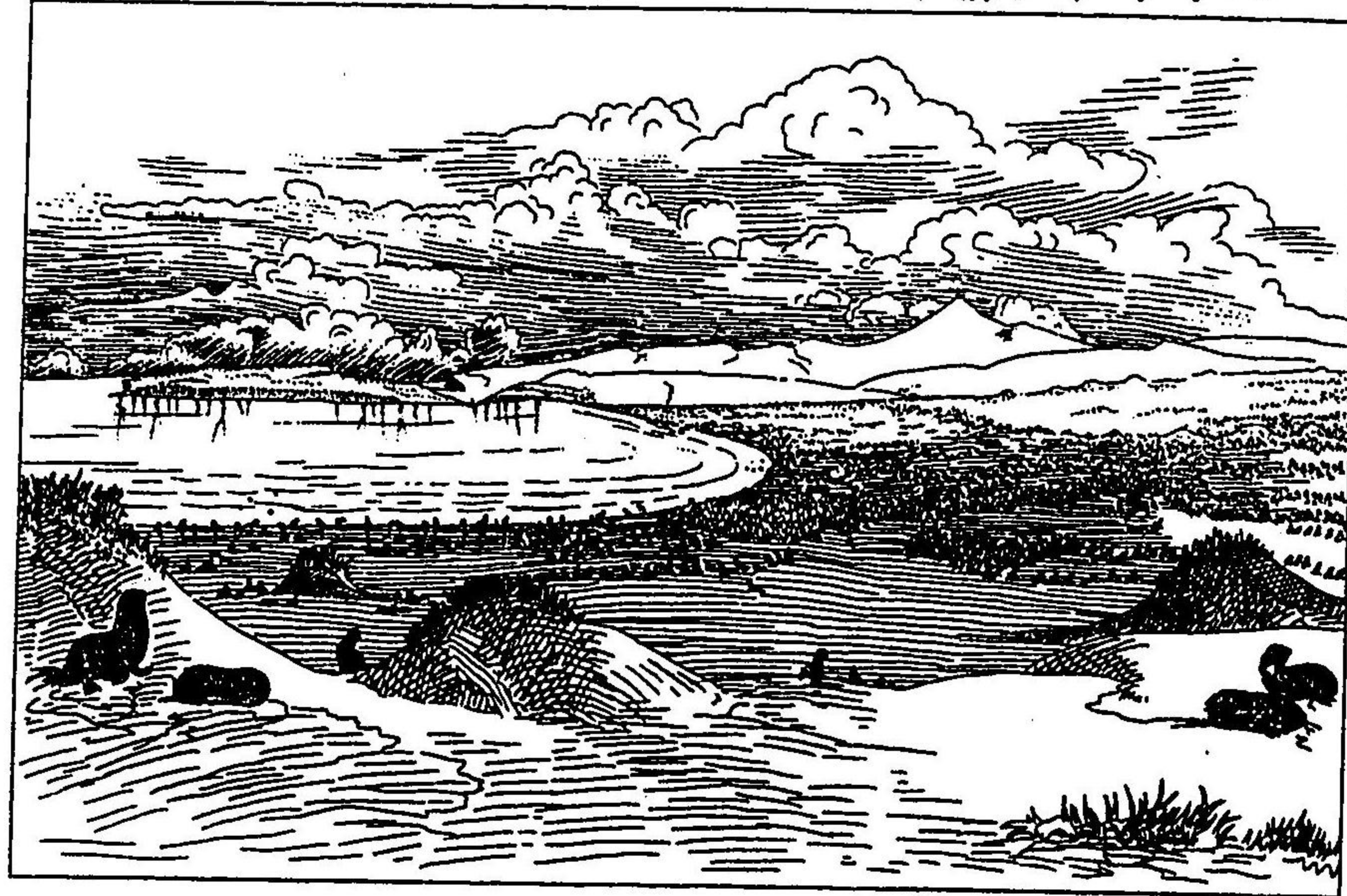
第十二圖

家一ノ獸胎膺



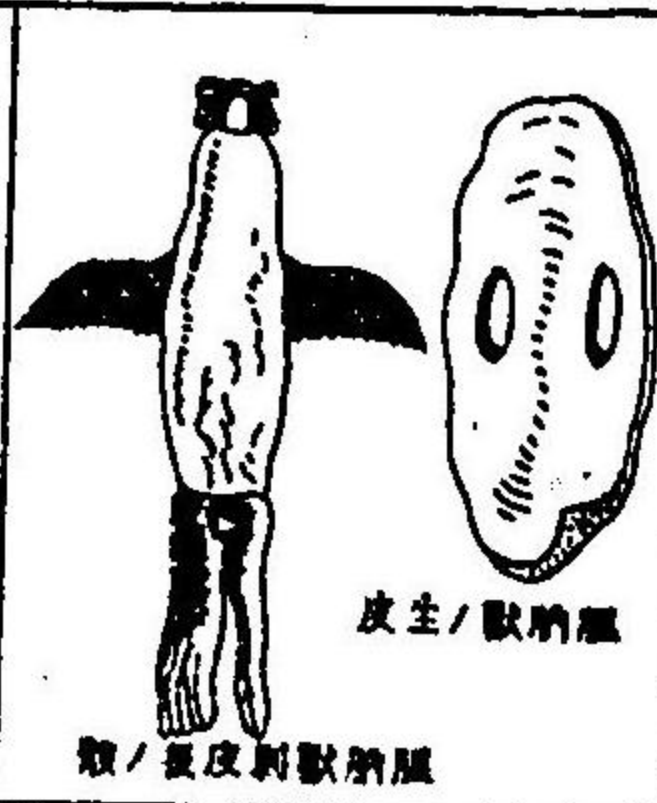
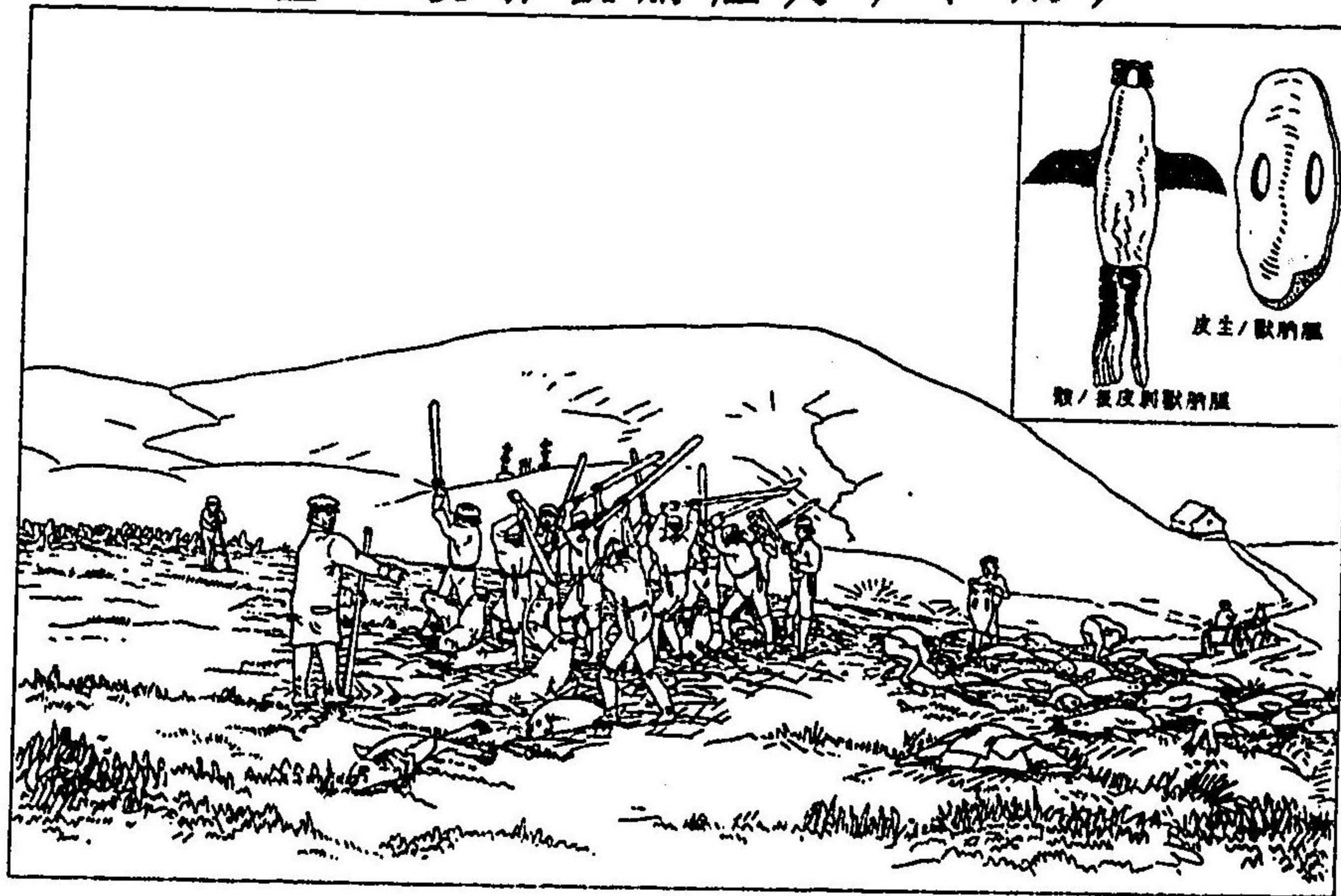
第十三圖

圖ノ場息括獸胎胆島十ロビロブ中海グンリイベ



第十四圖

圖ノ殺打獸胎胆人チールア



第十五圖

ニ繁殖シ米國ノ所領ニ屬セシ後ハ今日ニ至ル迄テアラスカ海產物ノ第一トシテ
大ニ政府ノ保護維持ニ注意スル所ノ者ナリ而シテ此漁業ハ米國一私立會社ニ於
テ之ヲ管轄スト雖凡其業ハ獨リ「アルーチヤン」人ノ手ニ執行セラル、ヲ以テ余ハ
茲ニ其海獸ノ性質及ビ會社ノ土人ヲ使用シテ漁業ヲ執行スルノ模様其他之ニ關
スル諸般ノ事實ヲ詳述シ以テ近時大ニ歐米ト其時様流行ヲ與ニスル我讀者ノ參
考ニ供スベシ

アルーチヤン島ノ海獸

有志者カ一度千嶋探檢ヲ爲シ其開發ヲ説キ移住ヲ唱へ出タセシ以來世上ノ耳目
ハ一直線ニ同地方ニ傾射シテ勇氣アル者資力アル者ハ既ニ危險ヲ冒カシテ同島
ニ進發シ又開發ニ熱心ナルモ事情ノ已ムヲ得サルナリテ自ラ同地ニ赴ク能ハザ
ル者ハ該島ニ關スル状態ヲ知ランコトヲ熱望シツ、アルノ時ナリ是ヲ以テ之ニ關
スル百般ノ事實ヲ調査シ出來キ得ベキ丈ケノ報告ヲ爲シ開發熱心者ニ向テ適宜
ノ助力ヲ與フルハ現今有志者ノ尤モ務ムベキ緊要ノコトナリ余ノ久シク米國北氷

洋巡邏艦ニ乘リ込ミ今日ニ至ル迄テ巡見セシアラスカ州アルーチャン群島及ビ露領カムサツカ沿海ハ其緯度コソ少シク北ニ位スト雖ドモ其地勢風土ノ如キニ至テハ全ク我千島ト相似タルノミナラズ其太平洋ニ面スル部分ハ共ニ同一條ノ日本遼潮ニ俗シ其海中ニ於ケル鳥獸魚介ノ多クハ其種類ヲ同フセリ特ニ現今米國及ビ加奈侘ノ密獵者ガ垂涎スル所ノ北海産ナル臘虎及ビ臘肭獸ノ繁殖上ニ就テハアルーチャン群島ト千島ト實ニ唇齒ノ密着ナル關係ヲ有スル者アリ是レ余カ茲ニ殊更ニアルーチャン群島近海産出ニ係ル二三ノ海獸及ビ魚類ニ就テ其所見ヲ略述セントスル所以ナリ

英佛兩國間ニ於ケルニユーファウンドランド漁業葛藤ト比肩シテ世ニ知ラレタル英米兩國間ノベールリング海(臘肭獸密獵)ノ紛議ハ昨年假リニ其局ヲ結ベリ此漁獵地ハ余ノ北氷洋巡航中數々足ヲ留メシ所ニシテ余ノ乘リ込ミタルベイヤ號ハ此漁地保護艦ノ一タリシ故ニ余ハ此臘肭獸ニ就テ少シク研究スルヲ得タリ抑當今世界無比ノ富饒ナル臘肭獸産地トシテ有名ナルハ此ベールリング海中ノプロビロウ島ニシテ此嶋ハアルーチャン群島ノオンアラスカ港ヲ距ル北方三百里北緯

五十七度西經百七十度ノ邊ニ在リ群島ハ僅カ四箇ノ小島ヨリ成リ其大ナル者ニニシテ一ヲセントホルト云ヒ一ヲセントジョルジト云フ而シテ小ナルモノモ亦ニアリテ一ヲウラルスト云ヒ一ヲラツタト云フ全島ノ氣候ハ殆ントアルーチャン諸島ト同シク一樹木ヲ生ゼス又全ク耕作ニ適セズ地勢前諸島ニ比シテ大ニ平坦ナリ沿岸諸所ニ天然ノ假山アリテ夏季數萬ノ臘肭獸此所ニ群集シ兒ヲ産ミ之ヲ生育ス冬期近ツキ幼兒ノ稍生長シテ自ラ能ク水中ニ運動スルヲ得ルノ頃ニ至リ悉ク同島ヲ去リテ南海ニ赴キ冬間滿島復タ一頭ノ影ダモ見サルニ至ル

通例世ノ海豹(Seal)ヲ區別スルニ二種ノ名ヲ以テシ一ヲ海豹(Fur-Seal)ト云ヒ他ヲ臘肭獸(Fur-Seal)ト云フ動物學者ハ此二種ノ海豹ヲ尙ホ其産殖ノ地所、體ノ形狀、毛皮ノ性質、着色ノ差等ニ依リテ數種ニ細別シ海豹族ノミニテ五六ノ種類アリ然レモ皆是レ魚體獸頭ヲ有スル一種ノ肉食海獸ニ過キズ而シテ海豹ハ其毛ノ荒疎ニシテ皮膚ノ堅キニ過クルヲ以テ市價常ニ極メテ低廉ナレバ余ハ茲ニ詳述セズ

臘肭獸即チ(Fur-Seal)ハ海馬、龜等ノ如ク水陸兩部ニ生活スル海獸ニシテ體ハ魚族ノ如ク只魚鱗ノ代リニ柔軟綿密ノ毛皮ヲ以テ覆ハレ頭ハ陸獸ト等シク面ハ鼠ニ彷彿

佛タリ一生ノ中大部分ハ海中ニ在リ其兒ヲ産ミ之ヲ養育スル時ハ必ス陸地ニ來
リ住ム成長後ノ牡獸ハ其體ノ長サ六尺ヨリ七尺ニ至リ胴ノ太サモ亦恰モ相等シ
而シテ初夏牝獸ノ出産前ニ於テハ其體重三百ポンドヨリ五百ポンドニ及ブ尤モ
牡獸ハ出生後七八ケ年ヲ經ザレバ完成ノ期ニ達セズ牝獸ハ出生後四ケ年ニシテ
完成シ體ノ長サ四尺胴ノ周圍ハ僅カニ二尺五六寸ニシテ其體重ハ八十ポンドヨ
リ百ポンド迄テトス全體ハ長短即チ内外二重ノ柔毛ヲ以テ覆ハレ牡獸ニ在テハ
其外毛疎ニシテ濃蔭色ヲ帶ビ背部ハ其色稍々黒ニ近シ而シテ綿密ナル内毛ハ外
毛ノ下ニ覆ハレ其質強ク且ツ柔カニシテ薄茶色ヲ帶ビ其光澤甚タ良シ牝獸ノ外
毛ハ背部ニ於テ其色鼠ニ近ク腹部ハ孰レモ灰色ヲ呈セリ面貌ハ恰モ木鼠ノ如ク
頭ハ圓クシテ只其口角ノ餘リ長カラザルト耳ノ極メテ小ナル差アルノミ眼ハ大
ニシテ炯々光リアレドモ愛ヲ含ミ其狀實ニ憐レムベキノ趣アリ年古キ牡獸ハ口
角ノ左右ニ強クシテ彈力性ヲ有スル灰色ノ長鬚ヲ帶ブ此長鬚ハ(Sea-Tion)ノ長鬚
ト與ニ支那人ノ爲メニ大ニ嗜好セラル蓋シ阿片煙管ノ楊枝ヲ作ル爲ナリ膈膈獸
ノ尾ハ海豹ト同ジク其體ニ比シテハ不釣合ニ小ナリ若シ輕忽ニ體後ヲ一看シ去

レバ其後端左右ノ兩鰭ヲ以テ鱗族ニ於ケル魚尾ト同視シテ更ニ其間ニ在ル所ノ
眞ノ尾ヲ見失フ一無キニ非ラズ凡テ魚類ハ其尾ヲ以テ柁ト爲シ其方向ヲ自在ニ
回轉スルモノナレバ獨リ膈膈獸ハ其後足ヲ用キテ柁ト爲シ前足ヲ用キテ棹ト爲
シ更ニ其尾ノ用途ナキカ如シ併シ造化ハ無用ノ者ヲ造ラズト云ヘバ此動物ノ極
短ナル小尾モ亦彼レニ取リテ必要ノ所アラシカ又其前足ハ後足ニ比シテ短カケ
レバ幅廣クシテ且ツ厚ク大ニ力アリ水ヲ泳クニハ之ヲ以テ槳ノ用ヲ爲シ陸ニ在
テハ後足ト與ニ歩行ノ用ヲ爲シ能ク體ヲ運轉ス海中ヲ旅行スルハ毎ニ全體ヲ
水面下ニ沈メ時々高ク首ヲ舉ゲテ鼻息シ且ツ四面ヲ警視ス其物ニ驚キ或ハ遊戯
ノ時等ニハ前足ヲ用ヒテ水上ニ飛跳シ時ニ體ノ水面ヲ抜ク一八九尺ヨリ一丈二
三尺ニ及ブアアリ陸地ニ在テハ他ノ海豹ノ如ク前後ノ四足ヲモガキ腹部ヲ地ニ
附ケテ匍匐スルヲ爲サズ常ニ四足ヲ用キテ歩行シ尾脛ハ緩カニ地ニ觸ルノ外
頭部胸腹全ク高ク地ヲ離ル尤モ四足獸ノ如ク四脚交々運行シテ身體ヲ前進セシ
ムルニハ非ス前部ノ二足即チ二鰭同時ニ動キテ體ヲ前方ニ運ビ去ルノ後後鰭之
ニ次ギ恰モ小兒ノ高バヒヲ爲スニ似タリ人ノ若シ之ヲ逐フハ一足飛ビニ跳ネ

出シ其速力ハ人足ノ疾行ニ匹敵ス然レモ僅カ五六分ヲ經レバ體熱シ氣息涸レ地上ニ悶絶スル者多シ視覺ハ銳敏ナラズ風下ヨリ進ムルハ其一二間ニ達スルモ敢テ難カラズ然レモ鼻覺ハ頗ル敏捷ニシテ若シ風上ヨリ近クハ如何ニ靜カニ歩ムモ半里ノ距離ニ至レバ熟睡セル者モ醒覺シテ直チニ起立ス聽覺モ亦極メテ鋭敏ニシテ微少ノ音響ヲ聞クモ直チニ驚起警戒ス

牡獸ハ牝ニ先タチ五月ノ中頃ヨリ假山ニ上陸ヲ始メ追日來着スベキ家族ノ爲メニ好キ場所柄ヲ撰ビ之ヲ守ル故ニ後着ノ牡獸ニシテ其場所ヲ奪ハントシ兩獸ノ間ニ鬭ヲ起スヲ數々ニシテ二ノ者其孰レノ獸カ死ニ及ブ迄テハ互ニ噛ミ合フテ相離レズ牝ハ六月上旬ヨリ集リ來リ上陸後數日ヲ經テ分娩ス牡獸ハ常ニ其側ラニ在リテ家族ヲ守リ若シ我々人間ノ如キ強敵ノ襲撃ニ遭ヘバ先ツ家族ヲシテ退去セシメ然ル後己レ之ニ次グ然ラズンハ其幼兒ヲ救護センカ爲メ自ラ敵手ニ斃ルハニ至ルセルハ長キ四ケノ鱗ヲ有シ之ヲ用ヒテ能ク地上ヲ歩行ス然レモ他ノ陸獸ノ如ク速ナラズ之ニ反シ水中ニ在テハ其進退ノ迅速ナル電光ノ射ルカ如ク又海豚ノ如ク能ク水上ニ飛跳ス陸上ニ在ルキハ常ニ水邊ヲ守リテ決シテ陸地

深く入ルヲナシ又タ能ク睡眠シ牡獸ハ能ク吼ヘ其聲憤ノ鳴クニ似テ殆ント里餘ニ達ス故ニ船舶ノ濃霧中ニ陸地ヲ求メテ之ヲ得ザル者ニハ其岸ニ近キシヲ注意セシムル警報ト爲ル

今ヨリ二十四五年前米國ノ此屬地ヲ露國ヨリ買ヒ受ケタル當時ニ在リテハ政府ノ新屬地ニ及ボス保護力甚タ微弱ナリシカ故ニ冒險ノ輩ハ相競フテ同地ニ航シ無暗ニ毛獸ヲ屠殺シテ數年ノ後ハ全ク獸類ヲシテ跡ヲ同地ニ絶タシムルニ至ルノ慮アラシメタリ故ヲ以テ時ノ國會ハ之ヲ國內ノ有力會社ニ貸下ケ遂ニ此富裕ノ產物ヲ安全ニ保護スルヲ得タリ

此有力會社ハ桑港ニ起レルアラスカ貿易會社ニシテ向ケ二十ケ年ヲ限リ群島中ノ生産物占用ノ權ヲ許可セラレタリ然レモ政府ハ尙ホ此獸類永存ノ主意ヲ以テ年々其屠殺高ヲ制限シ牝種ハ勿論牡種ト雖モ其三才以上ノ者ヲ殺スヲ禁ジ只牡種ノ一年種二年種ノミヲ殺スヲ許ルセリ而シテ政府ハ常ニ大藏省ヨリ監督官ヲ駐在セシメ嚴ニ此成規ヲ實行セリ生皮一枚ノ價ハ金五圓ヨリ十圓迄テニ達シ染上手入ノ者ハ十五圓ヨリ四十圓迄テニ至ル而シテ其用途ハ婦人用ノ外套襟巻暖

手套又男女兩服ノ襟袖先及ビ帽子等ヲ製スルニ用フ婦人用ノ外套一箇ノ價ハ百五十圓ヨリ五百圓ニ至ル

會社ハ借受料トシテ政府へ五萬五千圓ノ年賦金ヲ上納シ且又捕殺ノ臘虎一頭毎ニ金二圓五十錢又其レヨリ製出ノ油一ガロン毎ニ金六十五錢ツ、ヲ上納セリ而シテ會社年々ノ屠殺高ハ十萬頭ニ及ベリ會社ハ又各島所屬ノ土人ニ相當ノ家屋ヲ給シ學校ヲ設ケテ子弟ヲ教育シ醫ヲ置キテ病者ヲ施療シ土人ノ臘虎獵ニ從事スル者ニハ重ク賃銀ヲ拂ヘリ又別ニ露領ベールینگガツバーノ二臘虎島北緯五十四度東徑百六十八度ヲ借受ケ盛ニ同漁業ニ從事ス此會社ハ斯ノ如ク巨額ノ賦金ヲ拂ヒ且ツ土人保護會社出張所其他附屬船舶等ニ又巨萬ヲ費スニ拘ハラズ廿年ノ間ニ於テ全ク濕手攫粟ノ利ヲ占メタリ是レ同會社カ世界ニ向テ暗々裡ニ最上ノ臘虎獸皮專賣ノ權ヲ壟斷スルニ依レハナリ是レカ地主タル政府モ年々三十萬圓ノ收入ヲ得テ之ヲアラスカ土族ノ不時ノ變動ニ向テ常ニ同地ニ屯在セシムル海陸軍ノ維持費ニ充テリ政府ハ又々年々大藏省附屬ノ巡邏艦二隻ヲ送リテ此群島ヲ保護シタリアラスカ貿易商會ノ漁獵地借用期ハ一昨年七月ヲ以テ終ル

ト同時ニ北米商會ナル新會社現ハレ舊會社ニ代リテ此漁業ヲ占有セリ之レト同時ニ政府ハ同島駐在官ノ上申中臘虎獸ノ近年夥シク其數ヲ減シ來レリト云フニ依リテ新會社ニ命ジテ當分六萬頭以上ヲ殺スヲ禁ジタリ然ルニ近年英領カナダ盜船ノベールینگ海ニ出沒シテ此毛皮獸ヲ亂殺スルノ夥シキヲ加ヘタルヨリ英米兩國間ノ葛藤ヲ引キ起シテ其危險ヲ増シ米國會ハ熱心ニ此毛皮獸保護說ヲ唱ヘ政府ヲシテ再ビ會社屠殺ノ高ヲ僅カ七千頭ニ減殺セシムルニ至レリ是レヨリ先キ未タ露政府ノアラスカ州ヲ米國ニ讓與セザル前ハベールینگ大海ヲ以テ自國ノ小池ノ如ク外國船ニ對シ其入海漁獵ヲ禁ジ剩サヘ北太平洋ニ於テ北緯四十五度以北即チ千島ウルツブ迄ニ閉鎖ノ權ヲ主張セリ而シテ同政府ハ之ヲ決行センカ爲メ常ニ堅牢ノ兵船ヲ浮ベテ外國漁船ヲ容赦ナク砲擊沈沒セリ之レカ爲メ露國猛政府ノ此アラスカヲ領スル間ハ彼ノ海王ノ名ヲ有スル英國スラ口ヲ閉ヂテ其大膽無法ヲ傍觀セリ之ニ反シ着實平和ノ合衆國カ此全土ノ主ト爲リシ以來ハ現ニ臘虎皮ヲ積ミ居ルカ或ハ之ヲ屠殺スルヲ認ムルニ非ズンバ敢テ船舶ヲ差押ヘ相當裁判所ノ下ニ懲罰セザリシガ故ニ無暗ニ屠殺主義ノ盜船ハ其刑罰ノ

七六
輕キト柔和與シ易キトノ兩方ヨリ年々ベールング海ニ入込ム者多ク千八百八十
年ヨリ昨年ニ至ル僅カ十有餘年間ニ於テ米國稅關巡邏艦ノ手ニ差押ヘ相當法律
ノ下ニ附セラレタル者十有餘隻ニ及ベリ現ニ余ノ桑港ニ於テ相識ル日本人中ニ
ハ横濱ニ於テ外國臘虎船ニ雇ハレ我千島邊ヲ巡獵シテ後ベールング海ニ入りテ
ロピロトフ島邊ニ於テ銃獵ノ際遂ニ米艦ノ爲メニ差押ヘラレ船長運轉手等ハ刑
罰セラレ水夫ナル日本人等ハ無罪放免セラレタリト米國ノ此盜船差押ニ對シ英
國ハ萬國公法中國權ハ其海上只三里以内ニ及ブノミトアルヲ根據トシテ米政府
ノ所置ヲ不當ト爲シ其談判ハ久シク兩國間ニ跨リテ落着セザリシガ遂ニ昨年ニ
至リ假リニ其局ヲ結ベリ而シテ英國政府ハ三年前ヨリ二三隻ノ軍艦ヲ派出シ米
艦ヲ助ケテ自國ノ盜船ヲ差押ヘツ、アリ是レ英國ハ多少米國ニ讓テベールング
海ヲ閉鎖海ト見做シタルニ依ルナランカ
ベールング海既ニ此ノ如クニ至リタレバ無數ノカナダ臘船ハ他ニ獵地ヲ發見シ
其口ヲ糊スル職業ヲ繼續センコトヲ務ムルハ疑ヒナキ所ナリ假リニ之ヲ露領ノ諸
島ニ於テセンカ其懲罰ノ嚴酷恐ルベシ或ハ唯之ヲ從來ノ北太平洋北部ニノミ限

七九
ランカ其收利ハ入費ヲ償ハザルベシ然ラバ我備ヘナキ北門ノ千島群島ニ入り込
ムヤ必然ノ勢ナリトス之ヲ聞ク活眼利ヲ見ルニ倣ナル外國人等ハ我横濱及ビ小
笠原島邊ニ於テ小船ヲ舩シ我北海道近海ニ漁獵シテ利ヲ得ルノ密獵船二十餘隻
ニ及ブト獨リ之レノミニ限ラズ太平洋ヲ橫斷シテ北米諸國ヨリ千島ニ赴ク者數
多アルニ於テヲヤ即チ左ニ記スル二三ノ實談ノ如キ亦タ以テ其狀況ノ如何ヲ窺
フニ足ルベシ先年余ト與ニアラスカポイントバロー避難所ヲ管理スル米國人
ハ元ト日本海ヲコーヅク海等ニ捕鯨ヲ試ミシ船長ニシテ其談話ニ依ルニ曰ク余
ノヲコーヅク海ニ鯨獵セシハ今ヲ距ル二十年前ノ事ナリ我數十ノ鯨船ハ年々ヲ
コーヅク海ニ赴クノ途上千島ニ於テ臘虎臘獸等ヲ屠殺スルコト夥シ云々又タ曰
ク千島ハ日本政府ニシテ露米兩政府ノ如ク注意ヲ加ヘナバ後來相當ノセール殖
産地ト爲ルベキ箇所數多アリ云々曰ク西南部二三島ヲ除クノ外ハ滿島一ノ住民
ナシ只稀レニ露領ヨリ僅カノ漁人ノ來リテ夏間滞在スルノミ云々ト又今ヲ去ル
七ヶ年前米國密獵船ニテ千島ヲ經テ桑港ニ來リシ一日本人ニ就テ當時ノ有様ヲ
聞クニ曰ク余ハ横濱ニ於テ他ノ日本人六名ト與ニ外國密獵船ニ乘リ込ミ北海千

島諸島ヲ巡獵シテ其レヨリアラスカニ赴キ同所ニテ米國軍艦ニ捕拿セラレ遂ニ桑港ニ放免セラレタリ余ハ巡視セシ島中ニハ無人ノ地多ク稀レニ政府派遣ノ番人アリシカド我船長ハ一二本ノ洋酒ヲ送リテ島邊ノ銃獵ヲ默許セラレ數日ニシテ百餘ノ捕獲ヲ爲セリ島岸諸所ニアラスカ臘肭獸上陸地ノ如キ假山ノ有ルヲ見受ケヌ云々又一昨々年五月頃發兌ノ桑港新聞ハ横濱通信ナリトテ左ノ如キ報ヲ掲ケリ日本水産會社ノ船ハ北海ニ於テ臘虎臘肭獸熊等ヲ獵シ來リ之ヲ同國市場最低價ニ賣捌キタルモ九千圓ノ額ニ至リタリ云々以上ノ數件果シテ眞實ナリトセハ今尙ホ多少ノ臘虎等ノ我北海諸島ニ生殖スルヤ疑ヒナシト雖モ我政府ニシテ是等亂暴ノ盜船ニ對シ同島ヲ保護スルノ術ヲ施サズンバ日ナラズシテ同地方ニ是等動物ノ跡ヲ絶ツニ至ルヤ必然ナルベシ好シ政府ハ既ニ官吏ヲ派シテ其產地ヲ監督セシメタリト云フモ前ニ述ブル所ノ番人ノ如キハ寧ロ門戸ヲ守ル番犬ニモ劣ル者ト云フベシ又々我北海道拓殖ニ熱心ナル人々ハ只本道開作シ易キ所ニノミ全力ヲ注カスシテ其幾分ヲ千島諸島中ニ分タバ或ハ意外ノ利ヲ得ルヲアラン加之一尺ノ土一寸ノ水ナリトモ之ヲ保護開作スルノ力アリテ之ヲ試ミズ見

スミズ外人ノ他クナキ腹中ヲ充タヌガ如キハ我國産業ノ爲メ遺憾ナキヲ得ズ然レモ有志者既ニ之ヲ試ミテ利益ナシト認メタルナラバ余ハ謹ンデ其失言ヲ謝セシノミ

北海道臘肭獸獵ニ關スル卑見

本篇ハ余ガアラスカニ在ル日我國水産業家ニ警告セントノ微意ヲ以テ起草セシ者ニシテ其調査ハ一昨年七月ノ事ニ係ル故ニ篇中往々過去ニ屬シ又既ニ世人ノ知悉セル事項モ少ナカラズト雖モ第八期ノ帝國議會ハ將ニ此事ヲ議セントスルヲ傳聞シ至情默シ難ク乃チ舊稿ヲ把テ明治二十八年一月八日ノ時事新報ニ投ゼシモノナリ本書編述ノ本旨ト關係スル所深キヲ以テ再ビ茲ニ掲グ近年外國臘肭獸密獵船ガ頻リニ徘徊出沒シテ以テ其好獵場トナスノ地ハ主トシテ我が帝國ノ版圖ナル千島群島中新知島ト捨子古丹嶋ノ間ニ散布スル無人嶋八九嶋ノ附近ナリ昨今兩春同地方ニ於ケル米國及ピカナダ密獵船ガ其本國ノ船主ニ送リタル報道ニモ未ダ五月上旬ニモ至ラサルニ二十有餘艘ノ獵船ハ平均百五

六十頭ツ、ノ捕獲ヲナセリ特ニ昨年ノ如キハ一船尙ホ能ク一期間ニ二千餘頭ヲ捕獲セシモノ五六艘アリトアリ此ハ桑港ニ於テ是等獵船ノ多數ヲ所有スル富裕ノ皮商リーベス氏ガ余ノ知人某船長ニ物語リタル實際談ナリ

以上ノ事實ニ據リテ臘臘獸ノ千嶋近海ニ出沒スルノ時期ヲ察スルニ每歲四月中旬ヲ以テ其初期トナスモノ、如シ蓋シ毎年密獵船ノ繞リ米國海岸ニ解クハ早キハ三月ノ初メヲ以テシ遲キモ必ズ下旬ヲ越ヘズ風波ノ強弱順逆ニヨリテ多少遲速ノ差異ヲ免カレズト雖ドモ北太平洋ヲ橫斷シ直進千嶋ニ着スルハ概テ三十日前後ヲ要スト云フ而シテ此時期即チ獵船ノ千嶋ニ三々五々集合スルノ日ハ恰モ亦タ海獸ノ東南方ヨリ同嶋近海ニ群遊スルノ初期ナリト云ヘバ彼ノペーリング海ニ於ケル米國所屬ノプロビロー嶋海獸生産地ニ先ツコト全ク一箇月露領カツハ嶋ニ先ツコト約ソ二三週間餘ナルヲ知ル

斯クノ如ク三處ニ於ケル海獸ハ各其群集ノ時期ヲ異ニスルヲ示スノ後チ余ノ最モ注意シテ説明スベキ要件ナリト思惟スルハ此三處ニ於ケル貴重ナル海獸ノ種族ハ皆同一ナリヤ否ヤ又毎夏三處ニ集合スルノ前即チ冬間屯集ノ栖息地區ニ異

同アリヤ否ヤノ問題ナリ蓋シ此疑問ヲ攻究スルハ異日三處ノ海獸ニ増減ヲ生ジタル際其源因ヲ調査スルニ當リテ最モ必要ナリトス

余ガ北太平洋ヨリ北氷洋間ヲ巡航ノ際多年調査セル結果ニヨリテ之ヲ判断スルニ以上三處ニ於ケル海獸ノ種類ハ全ク同一ニシテ冬間屯集ノ栖息地區モ亦同一ナルモノ、如シ加之三處ノ栖息地區中ソノ一方ニ頭數ヲ減ズル時ハ他方ニ於テ必ズ其數ヲ加フルノ觀ヲ呈スルヲ知ル余ハ是ヨリ二三ノ證據ヲ舉ゲ以テ余ガ推測ノ果シテ其當ヲ得タルヤ否ヤヲ讀者ニ示サント欲ス

(第一例) プロビロー群島ニ於ケルアラスカ貿易會社ハ米國政府ノ特許ヲ受ケ凡ソ二十四五年前ヨリ每歲七八ノ兩月ヲ以テ島上生産場ニ栖息ノ臘臘獸雄獸十萬頭ヲ屠殺シ島民モ亦食肉トシテ毎期間一萬頭ノ一年雄獸ヲ屠殺シ來リシニ拘ハラズ八九年前マデハ群集ノ數ニ於テ更ニ減少ノ兆候ナカリシニ其後逐年減少ノ徵ヲ呈シ來リシカバ貿易會社ハ政府ニ稟申スル所アリ共ニ力ヲ盡シテ深ク其源因ヲ究メシニ是ハ全ク密獵船ノ絶エズ北太平洋及ピアルーチャン群島近傍ニ出沒シ海獸ノペーリング海殖産地ニ往還スル通路ヲ遮斷シ苟クモ高貴ノ獸ト見ル

時ハソノ老幼雌雄ヲ問ハズ之ヲ濫殺セル結果ナルコトヲ發見シ次デ此等大膽ナル盜船ノ若干ハ毎夏巡邏艦及ビ島守ノ隙ヲ窺フテ潛ニフロビロー島近海岸マデ進行シ栖息獸ヲモ亂殺スルコトヲ確認セリ此ノ探究ハ端ナクモ彼ノベールング海漁獵葛藤事件トシテ一時世人ノ注意ヲ惹ケル英米兩國間交渉事件ノ導火線トハナレリ

實際ニ上臘胸獸ハ年々太平洋暖水ヨリ北上シテアルーチヤン群島間ヲ過ギ五月ヨリ六月ニ至ル間ニフロビロー島ニ集合シ四五日ヲ經此處ニテ幼獸ヲ生産ス而シテ暫ク之ヲ哺乳養育シタル後十月中旬ニ至リ同島ヲ去リ始メ北上ノ時ト同方向ヲ取り再ビ太平洋ノ暖流ニ歸ルヲ常トス是レ即チ同島ニ來集ノ海獸ハ冬期太平洋中ニ徘徊游泳スルモノト同一種族ナルヲ證スルモノナレバ其冬季栖息ノ地域及ビアルーチヤン群島附近ニ於テ初夏北上スル所ノ海獸ヲ濫殺スルトキハ隨テ夏時殖産地ノ頭數ヲ減ズルヤ疑ヲ容レズ

(第二例) 露領カツバ島ノ海獸殖産地モ同ジクアラスカ貿易會社ニ於テ之ヲ借受テ年々雄獸三萬頭ヲ屠殺シ來レリ始メ會社ガ同島ノ業務ニ着手スルヤ來集ノ獸

數極メテ少ナカリシヨリ露國政府ハ殖産上ノ衰滅ヲ來サンコトヲ憂ヒ會社ニ向ツテ一時屠殺數半減ノ事ヲ議セリ然ルニ其翌年即チ今ヨリ八九年以前ニ至リ俄然群集獸數ヲ増シ漸次多キヲ加フルノ光景ヲ呈シタルヲ以テ目今ニ至リテハ殆ンド當初約束ノ三倍ヲ屠殺スルモ益々ソノ數ヲ増シ殖産愈々盛大ニ赴キタリ是レ他ナシ先ニ米領フロビロー群島ニ栖息スル海獸ノ一部ハ貪慾厭クナキ密獵者ノ亂擊ニ驚カサレテ其保護ノ極メテ嚴重ニシテ且ツ安全ナル露領殖産地ニ轉棲避難セルノ結果ニ外ナラズ(露米兩政府ノ臘胸獸殖産場ヲ保護スルノ方法及ビ施行ノ大略ハ二十六年三月ノ時事新報ニアリ)而シテ此地ニ聚合スル海獸ハフロビロー島ニ先ツコト二週間餘ニシテ上陸ヲ始メ十一月末ニ至リテ再ビ太平洋ノ狂波怒濤ノ間ニ其影ヲ隱ス嘗テ其來往ノ路線ヲ檢セシニ同ジク北太平洋中ヨリアルーチヤン群島ノ西部ヲ通過シ來ルモノナリト云フ故ニ夏季ハ勿論春秋二季間ニ是等海獸ヲ來往ノ途上ニ要擊濫殺スルハ是亦異日島上群集ノ頭數ヲ減ズルノ一源因タリ

(第三例) 千島群島近隣ニ出沒スル臘胸獸ハ是亦フロビローカツバ兩殖産地ニ群

集スルモノト同族ニシテ每春四月ノ下旬東南方ヨリ來集シ十二月ノ始ニ至ルマ
 デ島邊ヲ去ラズ而シテ其去ルヤ同ジク東南方ニ向フトハ彼地ニ數年間出獵スル
 余ガ知己某米人ガ實驗セシ確説ナリ然ルニ露米兩國ノ如ク政府ヨリ特ニ堅牢完
 備ノ官船ヲ送り其術ニ熟練ノ技師ヲ派シテ四季共ニ專心海陸ノ產出物ヲ探檢調
 査セシコトアラザレバ今日ニ至ルモ未ダ千島近邊ニ出沒スル海獸ガ果シテプロ
 ビローカツバ兩島ニ於ケル如ク一定ノ上陸地生育場ヲ有スルヤ否ヤヲ確ムル能
 ハズ又タ我國諸新聞紙上ニ於テ水産業熱心家ノ報告意見等ヲ閱讀スレドモ北海
 ノ此貴獸ニ富ムコトヲ警告シテ以テ前途多望ナル所以ヲ説キ之ガ移住者及ビ出獵
 者ニ最モ肝要ナル海獸群集ノ上陸地ヲ調査報告スル者ナキハ實ニ斯業上ノ一大
 瑕瑾ト云ハザルヲ得ズ實驗上臘膈獸ハ元ト其族ノ海獸タルニ似ズ鯨族或ハ其他
 ノ海獸ト相反シ其子ヲ産ムガ爲ニ每歲遅クモ六月ノ下旬マデ陸地ヲ求メテ茲ニ
 上陸シ而シテ幼獸ノ成長シ自カラ洋中ヲ游泳スルニ至ルマデ殆ンド三箇月間ハ
 陸地ニ滞留スルモノナリ是レ同獸ノ每夏必ラズ島地ニ上陸ヲ求ムル所以ナリ故
 ニ初夏我千島附近ニ見ル所ハ臘膈獸ニシテ彼ハ太平洋中冬籠リノ場處ヨリベ

リング海ノ殖產地、旅行ノ途上出沒スルモノニアラズトセバ同島數十ノ群島中
 必ズ每歲定期ニ上陸シテ以テ幼獸ヲ生育スル一定ノ場所アラン

余ハ臘膈獸ニ就テ洋中運動ノ來歴ヲ略述スル後茲ニ揚言シテ以テ吾ガ水産事業
 熱心家ニ望ム所ノ緊急事件ハ凡ソ動物學ニ又水産事業ニ實際ノ經驗ヲ有スル技
 師ト完全ノ器具トヲ備ヘタル堅牢ノ官船ヲ千島ニ派出シ專心以テ同島周圍ノ水
 産物ノ有無若シ之アラバ其所在種別水深淺海底ノ種類マタ適當ノ餌料ノ有無
 等ニ至ルマデ巨細ニ調査シ茲ニ早春時候ノ許ス限リハ能フベクダケ早ク同島ニ
 渡航シテ此主眼タル臘膈獸去就ノ實況其寄栖地ノ有無上陸後ノ動作ヲ探究スル
 コト是ナリ其一タビ同類ノ栖息蕃殖場ヲ發見シタランニハ爾後之ガ保護法ヲ制
 定スルコト甚ダ肝要ナリ其方法タル余ガ曾テ報道セシ一昨春ノ時事新報アラス
 カ記事ヲ一讀セル人ノ知ルガ如ク非常ノ難事ニアラズ而シテ該紙上ニハ如何ニ
 露米ノ兩政府ガ年々其四面沙漠タル大洋島地ニ貴重動物ヲ群集蕃殖セシメ以テ
 巧ミニ巨萬ノ財源ヲ維持シ來リシヤヲモ論述セリト記臆ス
 今ヤ露米兩國ハ英國ト結合シテ益々嚴密ニ密獵船ヲ驅逐スルノ策ヲ講ジ政府特

許ノ會社ヲ除キ他ハ一切アル。チヤン群島以北ニ獵スルコトヲ禁ジ同時ニ三國政府ハ十有余艘ノ巡邏艦ヲ北洋ニ浮ベテ其密獵犯則者ノ搜索ヲ事トセリ此結果トシテ現ニ我千島ハ先ニ以上三箇處ニ浮獵セシ密獵船ノ全部集合スル場所トナリ兼テ同地ニ事業ヲ經營シ始メタル我國有志ハソノ職ヲ奪ハレ而シテ我帝國ノ威信亦蹂躪シ去ラレントス豈ニ輕々看過スベキノ秋ナランヤ知ラズ世間余ト感ヲ同フスルノ士幾人カアル

「エスキモ」族(北氷洋住民)

「エスキモ」族ハ西半球ニ於テ北緯六十度以北ノ土地ニ住居スル大族ニシテ他ノ二大族ト共ニ「モンゴリヤ」人種ノ一タルハ蓋シ世ノ知ル所ナリ然レモ其祖先ハ何族ニシテ何ノ時何ノ所ヨリ來リシヤハ土人間ニ一ノ文字ナク記號ナク且ツ計數ノ能力甚タ微弱ナルガ故ニ之ヲ探知スルノ途ナキナリ尤モ土族中ニハ其口碑ニ傳フル種々ノ昔話多シト雖モ彼等ハ二十年前ノ往事スラ之ヲ追算指示スルノ力ナキヲ以テ其土族通歴ノ時代ノ如キハ素ヨリ之ヲ知ルニ由ナシ故ニ余ハ歐米學

水洋洲ポイントパーロー年長工人(右手ニ小刀ヲ持チ左手ニハ海豹獵ニ用イル投鎗ヲ支ヘ居ル)圖(口角ノ左右ニ穴ヲ穿チ裝器ヲ着ク)



第十六圖



第二十圖



第十七圖

エスキモーノ青年。鯨獵ニ用ル射鎗ヲ持テ居ル圖



第十八圖

水洋洲ポイントパーロー土人ノ捕鯨銃ヲ手ニセル圖(年二十三歳程身長五尺一寸五分)



第十九圖

狼ノ長毛ヲ以テ頭巾ノ周圍ヲ飾レル土婦

額ニ三本ノ入墨ヲ爲セル土婦

者等ノ最近ノ探見所説ヲ借リテ之ヲ左ニ述ブベシ
今ヨリ九年前獨逸ノブレーメン地學雜誌ハ學士リントク氏ノ東部グリーンランド
人ト他ノ「エスキモ」人トノ關係ト題シテ論ゼル尤モ信ズ可キ且ツ耳新ラシキ説
ヲ記セリ其大要ニ曰ク
輓近世ノ熱心ナル學者等ハ北氷洋洲住居ノ土人ニ就テ銳意獨立ノ實地視察ヲ試
ミ其足跡ハ西方ニ於テハアラスカ洲東方ニ於テハグリーンランド及ビラブラドア
海岸ニ迄テ達セリ唯マキンジ河地方ヨリバツヒン灣ニ至ルノ間海岸諸所疎ラニ
散布セル枝葉ノ所ニ至テハ之ヲ輕忽ニ附スルカ如シ然ルニ吾人ハ近頃キヤビラ
ン、ホルム氏カ東部グリーンランド、ブラザクラウス及ビヂヤコブソン兩氏ガアラ
スカ、又エフボラー氏ガバツヒンランドノ内地等ヨリ探索蒐集シ來レル莫大ノ證
據物品、土音、昔話等ヲ基礎トシ彼ノ區域ノ茫漠タル「エスキモ」全土ニ就キ始テ明
瞭ナル人種學上ノ觀察ヲ爲シ得タリ今ドクトル、リントク氏ハ以上ノ參考物ト先輩
ノ説トヲ參酌シテ意見ヲ述ベ大ニ世ノ疑點ヲ解ケリ此説タルヤ固ヨリ其本源ヲ
欠失シタルノ憾ナキニ非ザレモ彼ノ人種ノ通歴散布ノ方向及ビ其相互ノ間ニ於

ケル進化技術ノ來歴上大ニ光明ヲ放テリ即チ氏ハ論シテ曰ク
 此莫大ナル人種ノ根據ノ地ハベーリング海ニ面セルアラスカ海岸ノ最モ西北端
 ノ一部ニシテ其後物移リ星代リ漸々人口増加シタルノ結果ハ近隣山海漁獵ノ利
 ヲ減シ去リ茲ニ始メテ土族ノ遍歴ヲ起シ而シテ此土族ハ恐ラク其近隣内地ニ繁
 殖セルアタバスカン土族ヨリ彼ノ河海ノ舟航漁業山獵等ヲ見習セル者ナルベシ
 其レヨリ彼等ハ海岸ニ沿ヒ南下シテアラスカ半島ノ咽喉ヲ横斷シ西經百四十度
 邊ナルアラスカ東南部カツバ河口マデ其區域ヲ擴メタリ然レモ同河以東ハ彼ノ
 兇猛ナルトリンケット族ニ遮キラレ其内地ニ在テハアタバスカン山族ノ爲メニ
 妨止セラレテ東南ノ遍歴ハ此所ニ止マリシモ魚鳥ヲ逐フテ漂流生活スル彼等ノ
 風習ハ止ム時ナク新タニ北及ビ東ニ向テ蔓延シ全ク此無人ノ氷洋沿岸ヲ通ジテ
 東岸バツヒン灣ニ達シ爰ニ又遍歴ノ新線路ヲ發見シ南ハラブラドア東ハグリー
 ンランドノ東西兩岸ニ及ベリ人或ハ云ハン論者ハ何ヲ以テ此遍歴ノ針路ヲ判斷
 セシカト余ハ之ニ答ヘテ云ハン余ハ實地探檢者ノ得タル諸方ノ器具土音習慣昔
 話等ヲ精密ニ參照調査シ以テ此結果即チ針路ノ端緒ヲ明カニセリト加之余ハ又

西部グリーンランド人ノ語音ヲ標準トシテ北氷洋洲東西南北ニ散在ノ土音ニ比
 較シ左ノ如キ同根ノ土音ヲ發見セリ

アラスカ	五十三	マキンジ河邊	三十一
バツヒン灣邊及ビ中央部二十		ラブラドア	十五

此西部グリーンランド即チバツヒン灣沿岸ノ土音ガ南部中央部ヨリモ西北部ア
 ラスカ土音ニ多ク相似タルノ證例ヲ得ルヲ以テ見レハ其遍歴ノ線路カ西北部ヨ
 リ導カレタルヲ知ル可キナリ云々ト

地學雜誌記者ハ猶モドクトルリンク氏ノ引用シタル證例數十件ヲ示シアレモ皆
 前説ノ枝葉ニ過キズ故ニ之ヲ略ス

以上述ヘタルリンク氏ノ説ハ甚タ明瞭ニシテ尤モ信ズベシト雖モ氏ハ第一ノ主
 眼タル土人ノ祖先ハ何族ニシテ何時何レノ邊ヨリアラスカ西北端ニ出現殖民セ
 シヤヲ世ニ示スヲ能ハザリシハ實ニ遺憾ナリ余ノ氷洋航海中シベリヤ土人ノベ
 トリング海峽沿岸ニ住ム者ヲ目撃スルニ其面貌土音器具風俗等大ニアラスカ土

族ニ類似スレドモ孰レカ其祖先タルヤハ余ノ斷言スル能ハザル所ナリ或者又説ヲ爲シテ曰クシベリヤ内地ノ土人ヨリ分離セシ者ナラント是レ敢テ信ヲ措クニ足ラズ何トナレバ此海峡地方ニ殖民スル所ノ土人ハ其内地ニ住スル土族チヤクチ「馴鹿ヲ飼フト云フ意」ニ比シテハ實ニ僅少ノ區域内ニ住シ全ク異ナル容貌ヲ備ヘ別根ノ土音ヲ用ヒ異様ノ生活ヲ爲セリ而シテ此チヤクチイ族ハ自家ヲ以テ舊族ト爲シ「エスキモー」土人ヲ蔑視擯斥シ更ニ交通セザルニ於テヲヤ

「エスキモー」族

外貌

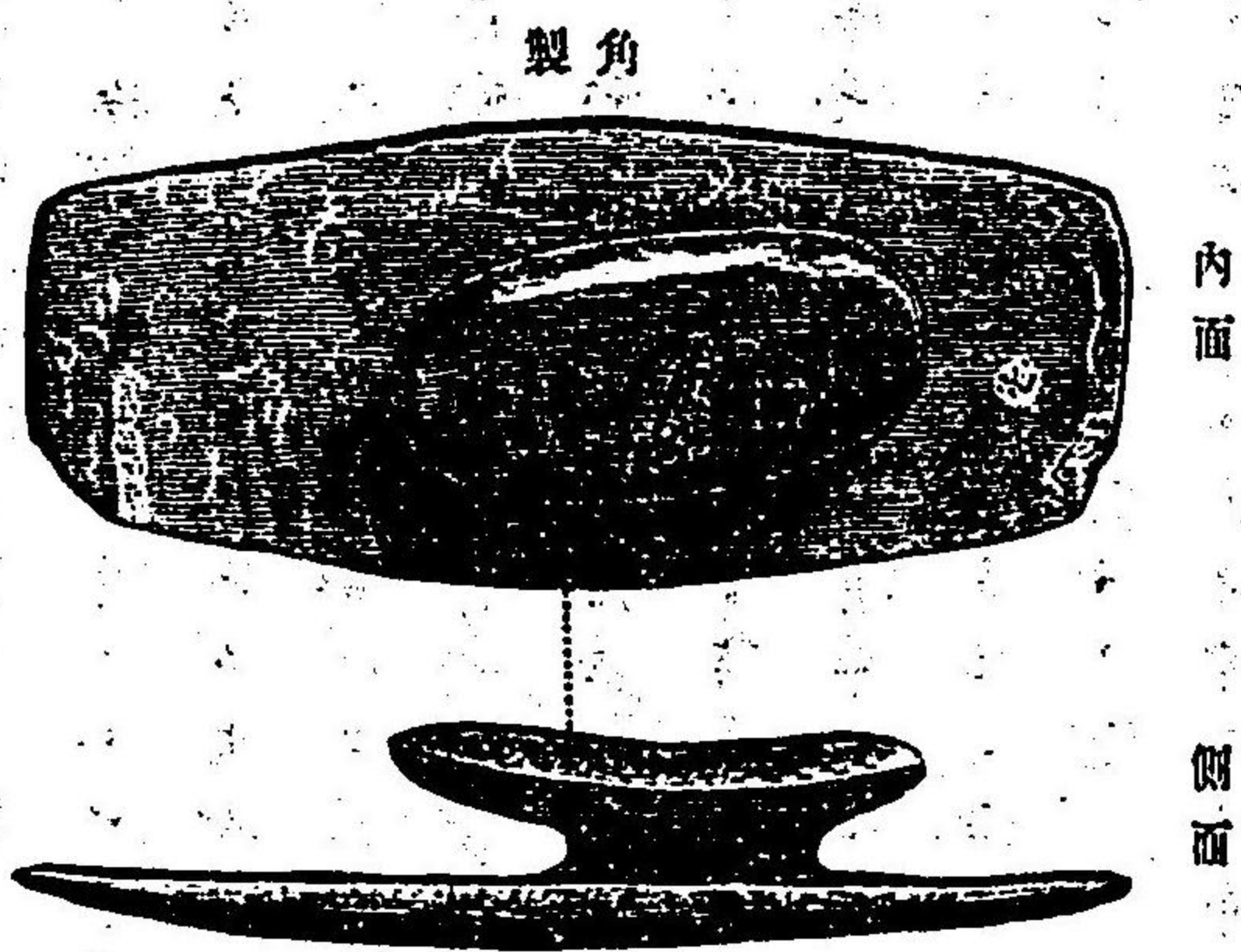
「エスキモー」人ノ身體ハ世ノ傳フル如ク短小ナル者ニ非スシテ多クハ其高サ五尺二三寸ヨリ六七寸ニ至リ稀ニ六尺ニ及ブ者無キニ非ズ之ヲ我邦人ニ比スレハ其平均ノ身ノ丈ケハ相同キガ如シ只彼等ノ着用スル毛衣皮服ノ異様ナルヨリシテ矮人ノ觀ヲ呈スルニ過ギサルノミ男女共ニ筋骨逞ク動作亦タ活潑ナリ特ニ年少ノ輩ハ身體肥滿シテ豚ノ如キ者尠ナカラズ性質甚タ輕意快活ニシテ中ニハ顔貌

左マデ醜カラズ些少ノ事ニモ容易ニ笑顔ヲ作り轉タ可憐ノ狀アル者無キニ非スト雖モ其全體ヨリ云ヘハ顔面幅廣クシテ頬高ク額扁平ナリ眼小クシテ目皆斜ニ上方ニ釣リ眼球淡褐色ヲ帶ヒテ眸光亦至テ明カナリ鼻ハ短クシテ且ツ廣ク兩眼ノ間更ニ丘隆ヲ爲サズ頭ハ割合ニ大ニシテ絶頂高ク尖リ毛髮ハ荒勁ニシテ其色甚タ黒シ男子ハ腦天ヲ廣ク剃リ廻ハシ前髪ヲ切り縮メ餘ハ其儘後方ニ垂ル多クハ生來櫛ノ齒ヲ入レタルトナシ女子ハ中央ニ於テ之ヲ左右ニ分チ三ツ組ニ編ミテ再ビ其兩端ヲ頂上ニ集メ渦卷ト爲ス者アリ或ハ左右ニ分チタル後雜色ノ南金玉ヲ以テ根本ヨリ之ヲ一束ニ卷キ付ケ長ク耳邊ニ垂ル者アリ此外更ニ一頭飾具ナシ

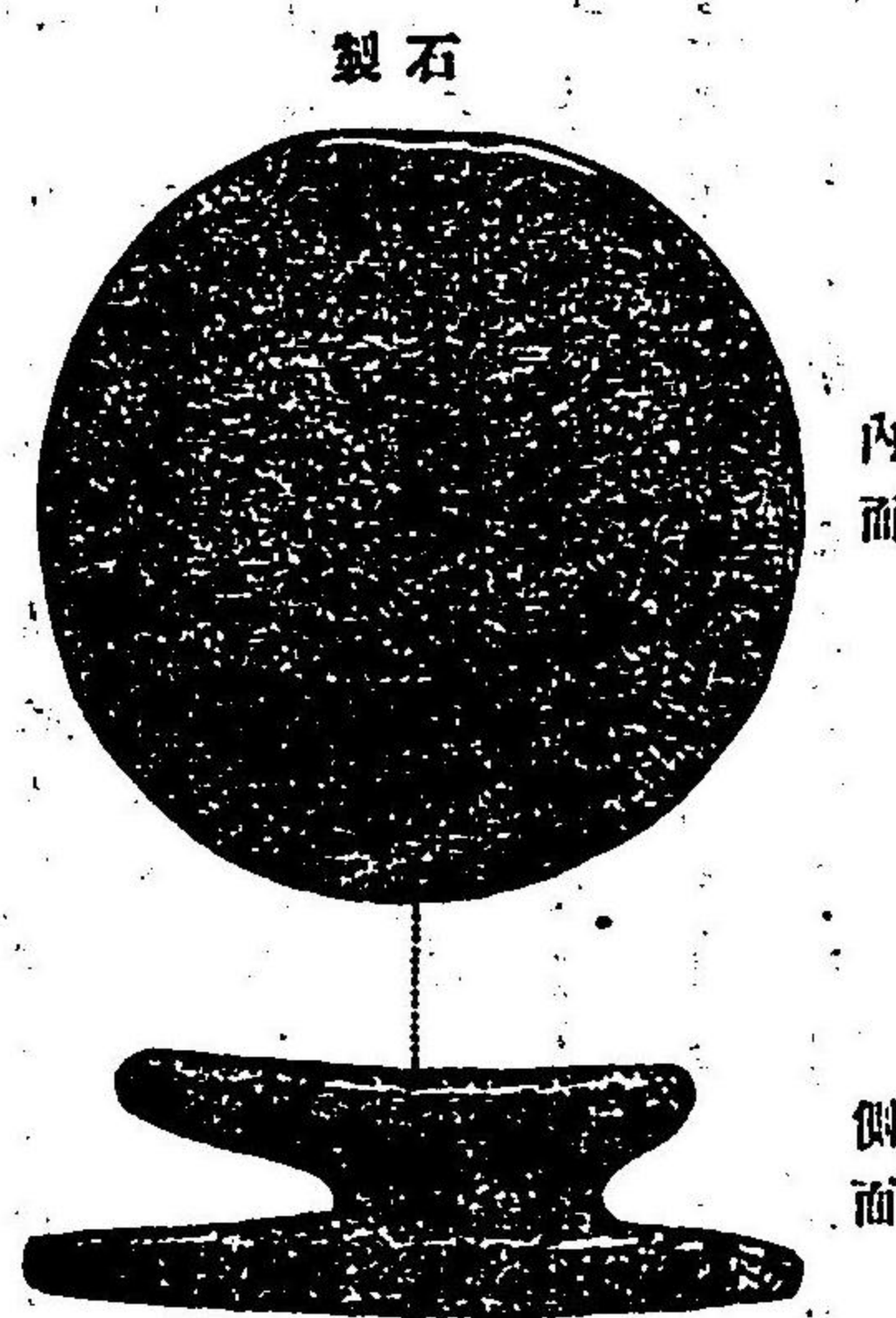
頭蓋ハ前頭部ニ於テ著シク丘隆ヲ起シ其高サ幅ヨリモ少シク長シ土人ノ言ニ依レバカルツピサウンドニ注ク河流ノ上畔ニ棲ム一群ノ土族ハ其赤兒ノ出産後ニ於テ皮緒ヲ以テ前額ヲ壓搾シ故意ニ之ヲ扁平ト爲スノ風アリト現ニ余ノベイヤ號ニ於テ北太平洋巡航中ワシントン州西北岸フラッタリー岬近傍ニ於テ目撃セシ土族ハ悉ク扁頭ニシテ米人ハ之ヲ名ケテ扁頭印度人ト云ヘリ彼等ハ土地ノ風

習トシテ赤兒ノ頭部ヲ壓搾器ニ挾ミテ斯クハ扁平ト爲ス者ナリト
 土人ハ身體ノ醜惡不完全ナルニ反シテ口中整正美麗ノ齒ヲ有セリ然レモ其平常
 食スル物質ノ尋常ナラサルカ爲メ齡四十才ニ近ケハ齒頭磨滅シテ殆ント齧肉ノ
 ミトナル殊ニ婦女子ハ靴底ノ變ヲ造ルニ當テ強硬ナル海豹ノ皮類ヲ咬ムカニヘ
 齒列ニ凸凹ヲ生スル毎ニ鏢ヲ用キテ之ヲ平滑ニ爲スヨリ婦人ノ齒ハ男子ニ比シ
 テ其磨滅ノ期一層速カナリ男子ハ鼻下稀レニ髭ヲ蓄フル者アレドモ甚々疎ニシ
 テ短シ總ベテ土族ハ鬚髯ニ乏シ男子ハ又二十才ニ至レバ左右ノ口角ヲ隔ツル五
 分許リ下部ニ穴ヲ穿テ角牙奇石等ヲ以テ造レル釘様ノ裝唇具ヲ帶グ女子ハ下唇
 ヨリ腮ニ掛ケ三條ノ黑線ヲ刺文シ又耳朶ニハ小孔ヲ穿テ角牙或ハ南金玉等ニ
 テ造レル耳環ヲ着ク手足ハ一般小形ニシテ格好甚々良シ皮膚ノ固有色ハ淡黃ナ
 レトモ只五體ヲ一見セシノミニテハ寧ロ之ヲ暗褐色ト云フ方適當ナリ蓋シ土人
 ハ身體ヲ洗フナク全身垢油其他ノ有ラユル汚物ニテ塗抹セラレ居ルカ爲メナ
 リ故ニ吾人ノ故サラニ温湯石鹼等ヲ與ヘ之ヲ洗濯スルニ非ズンバ其眞色ヲ知ル
 ニ由ナシ尤モ小兒或ハ年頃ノ婦女ニ於テハ頰面纒カニ紅色ヲ呈スルヲ見ルベシ

裝唇器ノ圖



第二十一圖



第二十二圖

讀者或ハ疑ハシ土人ハ何故ニ湯ヲ以テ手足ヲ洗ハザルカト此レ一應尤ノ疑ヒナ
レ下ノ數言ヲ見バ之ヲ了解セラルベシ即チ土地ノ寒氣甚シキト樹木ノ乏シキ
ガ爲メ湯水ヲ得ルニ便ナラズ日常ノ食物スラ生肉氷凍ノ儘之ヲ食スル程ナルガ
ユヘ沐浴ノ如キハ之レヲ欲スルモ能ハズ常ニ異様ノ臭氣ヲ帶ブルハ敢テ怪ムニ
足ラサルナリ

住家

夏時ニ在テハ皮製ノ天幕内(土語トツベク)ニ住ス近來ハ白人ト交通ノ頻繁ナルヨ
リ帆切或ハ布巾等ヲ貿易スルノ便利ヲ得多クハ之ヲ用キテ天幕ヲ造レリ冬ハ大
半地下ニ築キタル土屋(イグロ)ニ住ス之ヲ築クノ法ハ地ヲ掘ル一深サ四尺幅六尺
奥行二間餘其床四壁及ヒ屋根ハ漂木或ハ難破船ノ木片等ヲ集メ用キテ巧ニ之ヲ
圍ミ外部ハ屋上ノ窓戸ヲ除クノ外土塊ヲ以テ悉ク包被ス窓戸ニハ海馬或ハ海豹
ノ臟腑ヲ乾シ縫合セル者ヲ以テ張ル其質甚ダ堅固透明ナラザレモ日本製油紙ノ
如ク能ク水氣ニ耐ヘ且ツ日光ヲ導クニ足ル入口ハ土屋ノ床下即チ地下ニ在リテ
墜道様ノ廊下ヲ經テ外部ト相隔ツ此廊下ハ寒風及ビ吹雪ノ屋内ニ侵入スルヲ防

ク爲メニシテ大概長サ一丈餘地ヲ斜ニ掘リ行キテ屋内ノ板間ニ穿テル直径二尺
許リノ穴ノ下ニ通ゼリ故ニ人ノ土室ニ入ラントスルハ先ツ井桁ノ如キ廊下ノ
入口ヲ下リ其レヨリ腰ヲ屈メ狹隘ノ廊下ヲ通過シテ板ノ間ニ設ケアル穴ノ下ニ
至リ更ニ此穴ヲ押上リテ始メテ屋内ニ至ルヘシ屋内即チ居室ハ奥ノ一方ニ廣キ
堅固ナル棚ヲ設ケ寢所及ビ椅子ノ用ニ供ス而シテ棚上容易ニ四五人ヲ容ルヘシ
夜具ハ冬季ニ於テ得タル鹿皮ニシテ一枚ヲ下ニ敷キ他ノ一枚ヲ上ニ覆フ一枚ノ
皮下家族四五人ノ雜臥スルヲ見ルモ敢テ怪事ニ非ズ板ノ間ノ左右兩側ニハ粘土
ヲ以テ作レル扇形ノ淺キ器物アリ此レニ油ヲ盛り能ク乾キタル蘇苔ヲ燈心ト爲
シテ油ニ浸シ器物ノ周縁ニ搔キ寄セ點火シテ燈火爐火ノ兩途ニ兼用ス又絶ヘズ
油ヲ添フルノ勞ヲ省ク爲メニ爐火ノ上部ニ當リ壁ニ細キ棒ヲ打附ケ其一端ニ鯨
或ハ海豹ノ脂肪一片ヲ掲ケ置ク時ハ油ハ火熱ノ爲メニ脂肪ヨリ分離シ點々灯器
ノ内ニ滴下ス其法甚ダ輕便ト云フヘシ

室内多クハ空氣拔キノ用意ナキカ故ニ爐火ノ熾ンニシテ家族ノ群集セル時ニ於
テハ空氣臭惡人ヲ窒息セシムル程ナリ然レモ土人ハ股引ノ外悉ク裸體ト爲リテ

平氣談笑ス屋外其背後ニ接シ高架ヲ設ケ獵具小舟棧其他百般ノ器物ヲ貯フ又タ土室ニ添フテ深ク倉窖ヲ掘リ内部ヲ堅氷ニテ壘ミ魚鳥獸肉及脂肪等ヲ貯フ尤モ廊下内ノ兩側ニモ日用ノ食物器具ヲ排置セリ土人ハ部落毎ニ評議室ト名クル一箇ノ大土屋ヲ共有ス室内ハ幅員六坪程ニシテ四方ニ腰掛臺ヲ築キ中央ニハ火爐ヲ設ケ出入スルニハ復タ墜道様ノ長キ廊下ヨリス彼ノ長夜間ノ舞蹈狂言其他ノ遊戲他村人トノ交易物品糶賣諸般ノ評議悉ク此土室内ニ於テ行ハル

又冬期ニ於テ山獵ノ出先キ旅行ノ途上其他一時假寓ヲ爲スニ當テハ費用ヲ要セザル雪屋ニ住ス此雪小屋ハ鋸ヲ用キテ雪ヲ手頃ニ切り之ヲ積ミ重ネテ半圓形ノ小屋ヲ作り入口モ亦土屋ノ如ク廊下ヲ造リテ寒風吹雪ヲ防キ小屋ノ上部ニ尺餘ノ穴ヲ穿テ氷ヲ以テ之ヲ覆ヒ硝子ノ代用トス内ニハ鹿皮ヲ敷キ重ネテ寢所ヲ設ク其外形恰モ本邦ノ瓦燒塙ノ釜ニ彷彿タリ丁寧熟練ナル土人ノ手ニ成リシ雪屋ハ甚タ清潔温暖ニシテ土室ヨリモ健康ナリ然レトモ春暖ニ遇フヤ水滴點々頭上ニ落チ來リ不快極リナシ故ヲ以テ四月ノ末頃ニ至レバ多クハ之ヲ立退キ天幕内ニ移住ス尤モ土室ヲ有スル者ハ六月ノ中旬地下ノ解氷ニ至ルマデ其内ニ留マル

ト雖モ七月ノ始メニ至レハ氷雪溶解シテ室内ニ侵入シ復タ居住スヘカラズ是レヨリ初冬地ノ再ビ凍ル期節ニ至ルマデ天幕内ニ住ミ多クハ鳥獸ヲ追フテ海岸諸所ヲ漂泊ス故ニ夏間船舶ニ於テ北氷洋沿岸ヲ巡航スル人々ハ部落ノ穴屋概テ空虚ニシテ滿岸所々ニ天幕ノ散布スルヲ見ルヘシ

衣服

被服ハ甚タ單簡ニシテ鹿皮ヲ以テ製シタル二枚ノ短衣ヨリ成ル下着ハ毛ヲ肌ニシ上着ハ之ヲ外ニ現ハス襟ニハ縫附ケノ頭巾アリテ頭ヲ覆ヒ纒カニ顔面ヲ露ハスノミ内外兩服腹背共ニ開ク所口無キユヘ之ヲ着スルキハ頭ヨリ打チ被ムルナリ股引モ鹿皮ヲ以テ製シ纒カニ膝下ニ至ル盛冬ノ頃ニハ上着ノ如ク内外二枚合セノ股引ヲ着クレモ近來白人ト物貨交易ノ便ナルヨリ單股引ノ上ニ金巾等ノ上被ヲ着ク靴ハ海豹ノ皮ヲ以テ底ト爲シタル鹿皮ノ長靴及ヒ鹿皮犬皮等ノ靴足袋ヲ用ヒ帶ハ狼或ハ熊ノ皮ヲ細斷シテ造レル一重卷キノ物ニシテ之ヲ前ニ結ビ後ロニハ狼ノ尾ヲ結ヒ垂ル其様甚タ奇ナリ手袋ハ鹿皮或ハ狼熊等ノ脚皮ヲ以テ作ル其毛ノ強硬ナルカ故ナリ女服ハ男服ヨリ長クシテ殆ント膝下ニ垂ル而シテ頭

巾モ亦男子ノモノト比シテ其張出殆ント二倍ス是レ小兒ヲ負フカ爲メナリ帶ニハ狼毛ヲ附セスト雖モ其爪ヲ以テ周圍ヲ飾ル又雜色ノ南金玉ヲ連結シテ美麗ナル胴卷ヲ造リ之ヲ帶ブル者アリ股引ハ鹿ノ脚皮ノミヲ縫合シテ造リ靴ト一所ニ縫附アリ男女兩服共狼皮等ノ長毛部ヲ以テ盛ニ其袖口裾襟肩等ヲ飾ル特ニ婦女中裁縫ニ長ケタル者ハ南金玉或ハ地染ノ柔皮等ニテ甚ク巧ニ裾ノ周邊頭巾胸部袖先等ヲ繡箔ス總ジテ土婦ハ華美ヲ好ミ全力ヲ奮ヒ意匠ヲ凝ラシテ皮服ニ形樣文飾ヲ盡スト雖モ如何セン雪野氷海家計貧クシテ其需用ヲ充タスノ途ナク日々ノ常食スラ且ツ之ヲ欠クノ場合アリ況ンヤ虚飾ヲヤ故ニ已ムヲ得ス夏時鯨船ヨリ其皮類鯨骨等ヲ以テ漸ヤク交易シ得タル雜色ノ南金玉及ビ疎製ノ花布(キヤラコ)ノ如キヲ以テ其望ヲ充タセリ

去レド垢附キ油ジミ其染地ノ見ヘサルニ至ル迄テ之ヲ着用シ其新奇ノ者ト交換スル後ハ之ヲ抛棄シテ更ニ洗ヒ繕フヲ爲サズ又一體ニ土人ハ皮ノ何タルヲ問ハズ寒威ヲ防グ爲メニ毛ヲ其儘ニ存シ唯裏ノミヲ柔メシ用ウ其皮ヲ柔メスノ法モ至テ迂遠ノ古法ニ依レモ土地人智ニ相當シテ其用ヲ充タセリ即チ器具ハ燧石

ノ碎片ト白墨(アラスカ内地ノ丘陵ヨリ出ツル者)ノ二種ノミニシテ燧石ハ皮ヲ摩擦柔軟スルニ用ヒ白墨ハ艶ヲ増シ質ヲ滑カニスルニ供セリ夏ハ海豹ノ柔皮ヨリ成レル不透水質ノ長靴ヲ穿テ雨時ニハ海馬海豹ノ臟腑ヲ以テ造レル雨衣ヲ着ケ以テ皮服ノ濕潤ヲ防ク又夕屢々水禽ノ皮服ヲ裝フ所ノ土人ヲ見受クルコアリ海豹毛皮ハ其質甚ク強硬ニシテ且ツ水氣ニ堪ユレモ鹿又ハ狐狸其他ノ山獸ノ毛皮ノ如ク暖カナラサルカ故ニ氷洋土人ノ冬服ニ適セズ只夏時ニ於テ上靴股引等ニ使用スルノミ

食物

氣候ノ寒冷其度ニ過キ土地一切耕作ニ適セザルカ故ニエスキモ一族モ亦自餘ノ「アラスカ」土族ト同ジク年ノ三分ハ陸ニ獵リ七部ハ海ニ漁スル所ノ人民ナリ彼等日常ノ食物ハ重モニ之ヲ海中ヨリ得ル所ノ者ニシテ海豹(Hair Seal)第一ニ居リ海馬(Walrus)鯨族(Whale)鴨雁(Ducks and Geese)之ニ次ク冬中又海水ヲ穿チテ小魚(Tonn Cod)ヲ釣ルト雖モ其捕獲ノ小量ナルカ故ニ臨時副食物トシテ味フニ過キズ其他河流ヨリ白魚(White Fish)ヲ網シ平野ヨリハ鹿ヲ狩ル是レ亦常食ノ一部分タリ鹿

肉魚肉ハ決シテ之ヲ料理スルコトナク凍體ノ儘之ヲ食シ海豹海馬及ビ鴨雁ハ冬時ニ在テハ其肉ヲ除クノ外臟腑一切又凍體ノ儘食用ニ供シ鯨族ノ如キニ至テハ其捕獲切入リノ際流出スル多少ノ血液ノ外寸毫モ失フ所ナク其外部ノ黑皮ノ如キハ土人無上ノ珍味ニシテ恰モ吾人ノ鯛ノ刺身鯉ノ膾ニ於ケルニ異ナラズ肉ハ常食ノ一トナリ脂肪ハ炬火燈光ノ用トナシ或ハ凍肉ヲ食スル際醬油ノ代理トナス鯨齒ハ之ヲ白人ニ賣テ火器彈藥麥粉其他ノ必要物ヲ得ルノ原資トシテ大ニ珍重セラレ鹿ハ其肉ヲ食シテ皮ヲ衣服ニ製シ其筋維ヲ糸及ヒ緒ニ用ウ海豹ハ年中近海ニ棲息シテ容易ニ土人ノ手ニ落ツルカ故其肉ハ常食ノ七部ヲ占メ皮ハ衣類網舟履ヒ靴等ヲ製シ脂肪ハ薪炭燈火ノ材料ニ充テリ

世上、エスキモー人ノ事ヲモノスル記者中ニハ土人ノ寒氣ヲ凌クカ爲メニ大量ノ脂肪ヲ食シ油ヲ飲ムナト記スレモ是レ自ラ實況ヲ目撃セシテ鯨獵船夫ノ虛談僞説ヲ偏信スルニ依ルナルヘシ彼等ハ固ヨリ脂肪ナレハ其種類ノ何タルヲ問ハズ之ヲ得ンコトヲ欲スルハ事實ナリ然レモ其之ヲ好ムハ日常ノ食物ニ供センカ爲メニ非スシテ之ヲ貯ヘテ以テ冬期ノ燈光炬火ニ用ヒントスルノミ尤モ此土人ハ

暖帶地方ノ住民ニ比シテ多量ノ脂肪質ヲ要スルハ其近寒ニ對シテ體温ヲ保持増加センカ爲メ自然ノ理勢ナレドモ故サラニ脂肪ヲ食シ油ヲ飲ム等ノ事ヲ爲サ、ルハ皆實地目撃者ノ知ル所ナリ蓋シ夏時鯨船ノ近海ヲ巡航スル際土人ノ船艙ヲ訪フテ鯨族海馬等ノ脂肪ヲ貰ヒ去ルヲ見テ無心ノ船人等ハ之ヲ食用ニ供スルナラント思ヒ歸航後之ヲ世上ニ流傳セシニ過キズ實ニエスキモー國ハ獨リ植物質ノ食物一切ヲ欠クノミナラズ獸肉鳥肉ヲ料理シ或ハ近寒ヲ防クノ薪炭ヲサヘ生セサルカ故ニ夏間氷雪ノ融解流失スル頃南方ヨリ潮流ニ伴レテ海岸ニ漂着スル僅少ノ漂木ヲ蒐集シ諸般製造ノ材料及ビ薪炭ノ用ニ供セサルヘカラズ故ヲ以テ土人ノ木片ヲ集ムルニ意ヲ用ウルコト甚シク楫小舟及ビ土室ノ如キ多量ノ木材ヲ要スル者ヲ製作セント欲スル者ハ五六年前ヨリ之レカ用意ヲ爲サ、ルベカラス事情斯ノ如キヲ以テ彼ノ恐ルベキ冬期ニ至リ氷雪海陸ヲ覆フテ滿岸復タ一木片ノ目ヲ遮キル者無キ時ニ於テ獨リ海獸ノ脂肪ニ依賴シ辛クモ嚴冬ノ長夜ヲ照ラシ併セテ近寒ヲ防クアルノミ

土人ニシテ運能ク春期一頭ノ鯨ヲ漁獲シ得タル者ハ夏時鯨船ニ其齒骨ヲ賣リテ

圖三十二第



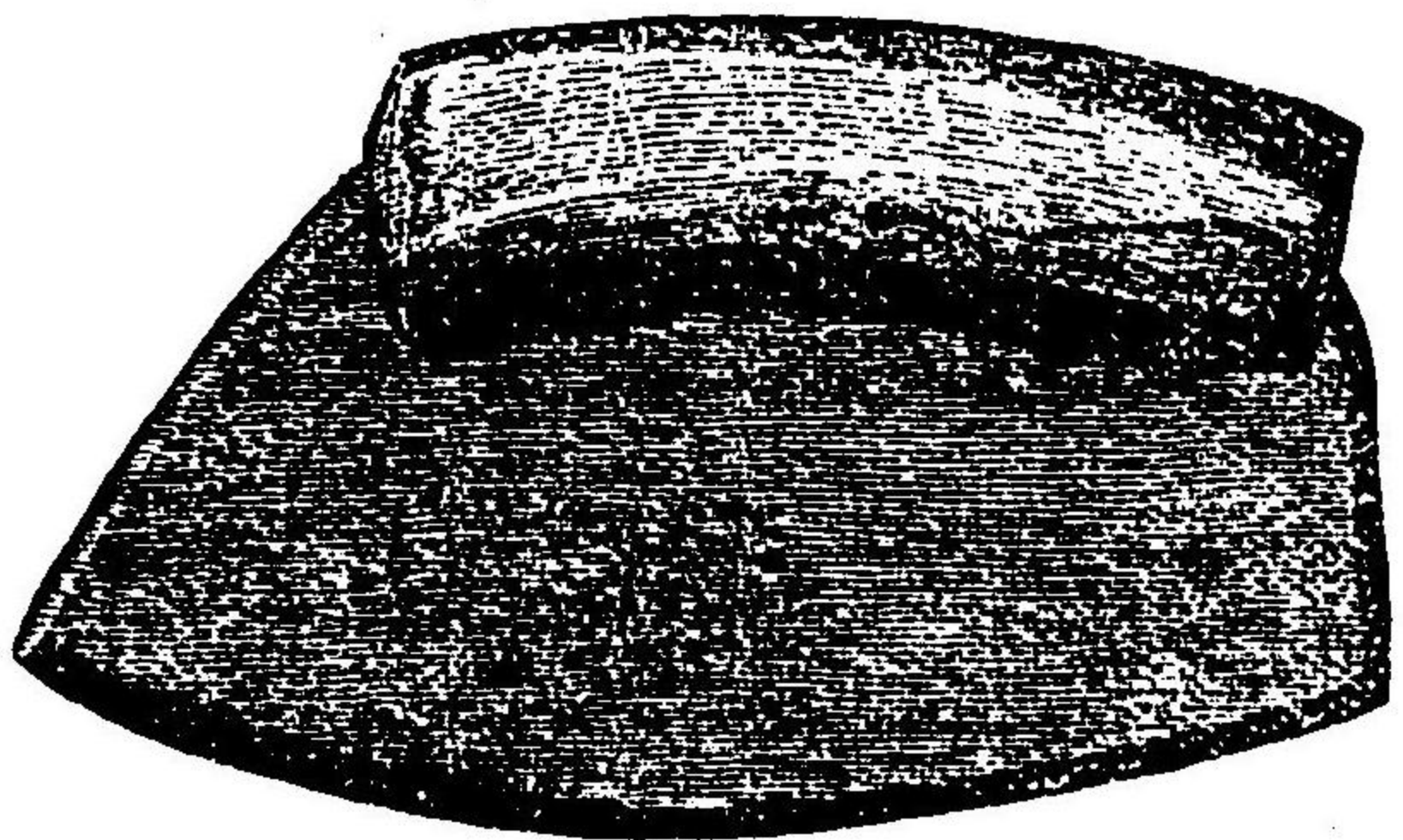
刀小

圖四十二第



杓栝

圖五十二第



刀庭用人婦

麥粉、糖水、茶、堅麵、麩等ノ舶來物ヲ得酒ヲ造リ(酒ノ事ハ下項ニ詳カナリ)天浮羅ヲ煮テ時々贅澤ナル生活ヲ爲シ且又彼ノ貧困ナル隣人ヘモ振舞ヒ而シテ自家又夕暴食強飲更ニ山海ノ獵ヲ願ミサレバ嚴冬ノ未タ全ク退去セザルニ先チ食物ハ既ニ盡キ去リテ家ニ殘ルハ家族ノ飢色ト室内ノ凍霜ノミ中ニハ泥醉狂亂ノ餘世ヲ疎シシ鬼神ヲ恐レテ自殺ヲ行フ者アリ縊死ハ土族間自ラ死ヲ遂グル唯一ノ法ナリ此土族モ亦他ノ蠻民ト同シク家ニ貯ヘノアラン限リハ如何ナル好機會アルモ更ニ出獵ヲ爲サズ家々同族相迎ヘテ開宴饗應ニ日ヲ消シ中ニモ家産ニ富ミ出獵ニ好運ノ輩ハ饗應ノ度數招客ノ多キヲ以テ自負スルニ至ル是レ亦安坐徒食ノ一宿弊ノミ

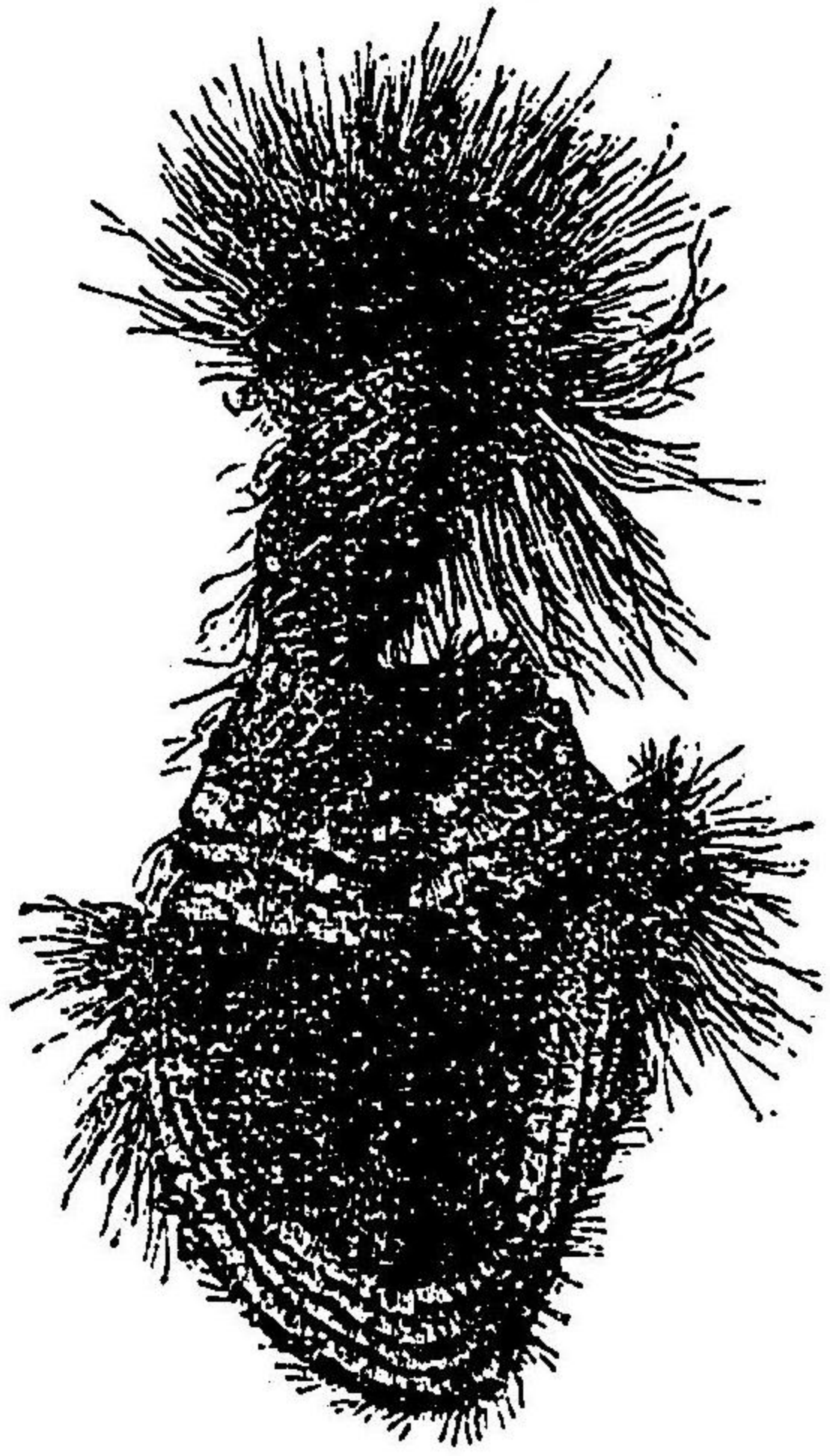
昔時白人ノ未タ此近海ニ出沒セサル頃ニ於テハ土人ノ食物ヲ煮ルニ用ヒタル器物ハ我飯櫃ノ如キ流木ヨリ造レル曲ケ物ニシテ之ニ水ヲ盛り肉ヲ入レ數々熱石ヲ投ジテ料理ヲ爲シ來リシガ近來ハ白人ト交通ノ便アルヨリ鯨齒皮類ト交易シテ土人ノ多クハ鐵製或ハ錫製ノ鍋ヲ有セリ中ニハ其富メル者ハ小形ノ料理用鐵爐及ビ石油燃燒ノ小爐ヲ使用スル者アリト雖モ薪炭ノ供給ニ乏シキカ故ニ肉類

ノ多クハ依然之ヲ生食セリ特ニ元來鹽ト野菜ヲ食セサルカ故ニ血液病皮膚病ニ
 惱ム者多ク病痕重モニ小兒ノ間ニ見ユ
 食器ハ甚タ單一ニシテ流水製ノ曲ケ物益掘リ拔キ(山羊ノ角ニテ作レル柶杓ノ三
 種ノミ食物ハ總テ庖丁或ハ小刀ヲ用ヒテ之ヲ切り五指常ニ箸肉又ノ代理ヲ務ム
 殊ニ一種異様ノ風ハ食物ヲ喰フニ當リ之ヲ盆内ニ適宜ニ細斷スルヲ爲サズ五指
 ニ之ヲ受ケ其一端ヲ口ニ啣ヘ他端ヲ左指ニ握リ右手ナル庖丁ヲ用キ唇ニ接近シ
 テ肉ヲ切り放ツ一片喉ヲ過クレハ他片モ同様之レニ次キ食事全ク終レハ五指ハ
 舌面ニテ美事ニ嘗メ去リ口頭鼻端ニ塗レタル鮮血油汁ハ滿腹ノ記號トテモ云フ
 如ク其儘存シ置キテ得意顔スルモ笑止ナリ
 土人一般ニ酒ト煙草ヲ嗜ミ酒類ノ如キハ其種類ノ如何ヲ問ハズ以テ頭腦ヲ昏迷
 セシムルカアレバ足レト爲ス故ニ之ヲ得ント欲スルニ當リテハ妻子モ其資ニ
 充ツルヲ辭セザルナリ其一度之ヲ得ルヤ暴飲流連泥醉ニ至ラズンバ満足セズ故
 ヲ以テ政府ハ人ノ酒類ヲアラスカ全州ニ輸入スルヲ禁スルノミナラズ州内又人
 ヲ醉ハシムルニ足ルヘキ總テノ飲料物ヲ製造スルヲ禁シタレモ捕鯨船及ビ貿易

圖六十二第



エスキモー人所用ノ煙管及煙草入

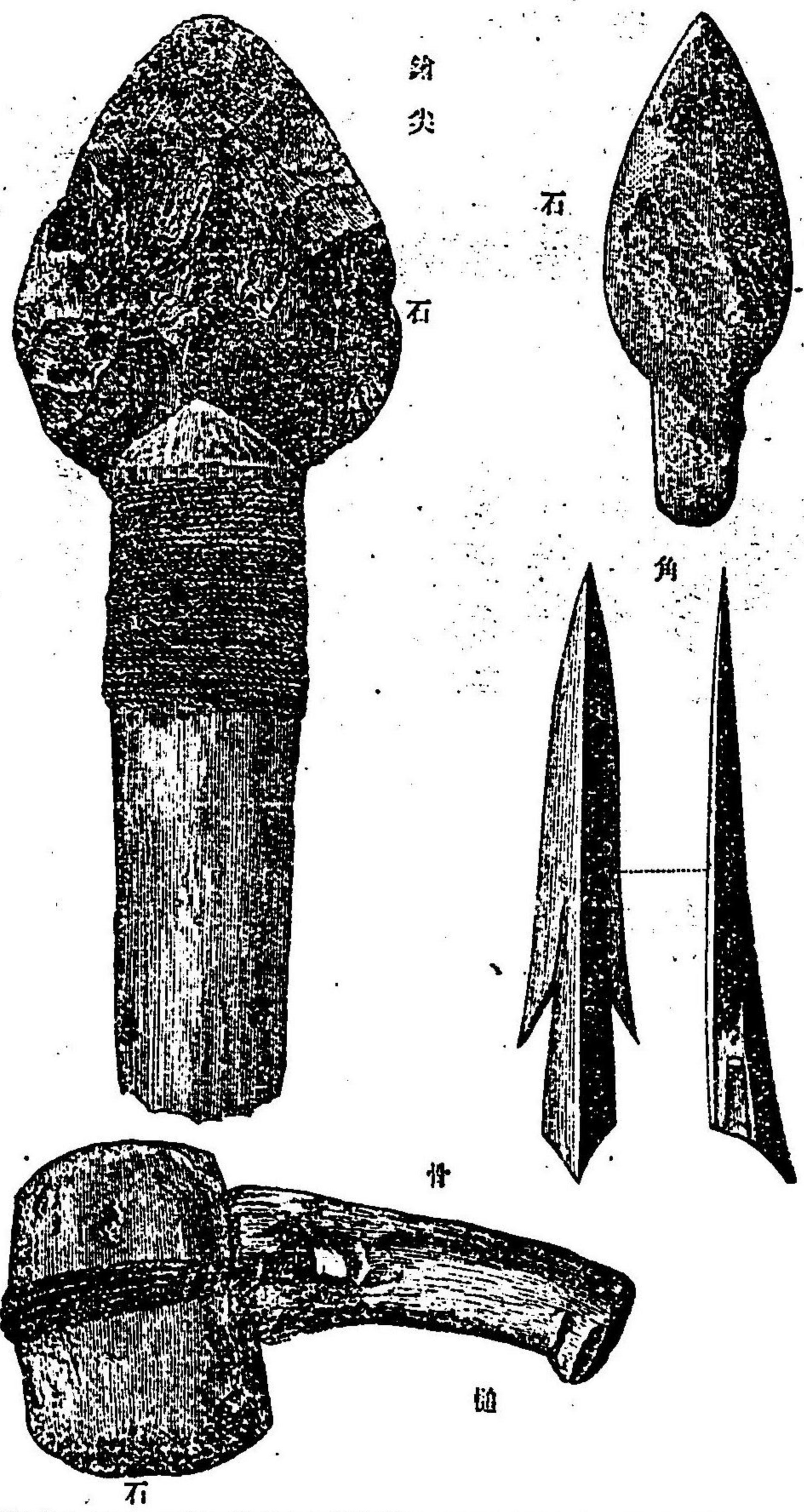


船ハ毎歲多量ノ粗惡酒ヲホノル、港ヨリ密輸シテ皮類鯨齒ト交易スルヲ以テ土人ノ嗜好ヲ充タシ其依テ起ル所ノ害毒ハ名狀スヘカラザルニ至レリ近來土人ノ飲用スル酒類ハ獨リ白人ノ密輸ニ係ル腐敗酒精ノミナラス土人自ラモ白人ノ傳習ニ依テ麥粉ト糖水ヲ用ヒテ恰モ我濁酒ノ腐敗物ニ類スル者ヲ釀造飲用シ中ニハ之ヲ自製ノ蒸餾罐中ニ精選シ最モ多量ニ之ヲ飲メリ其酒精ノ強キヲ我焼酎ニ勝リ其味ノ臭惡ナル之ヲ名狀スルニ辭ナシ又々暴飲飽ク無キノ酒徒ハ之レニ煙草ノ汁液ヲ加ヘテ尙ホ一層ノ臭味ヲ添フ其愚味實ニ驚クニ堪ヘタリ

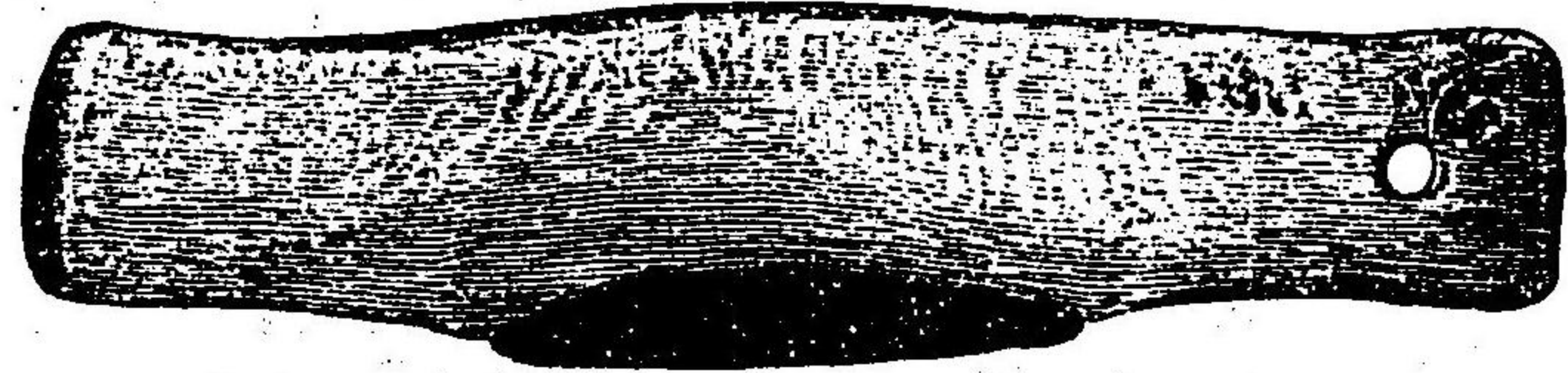
政府ハマタ土人ニ向テ後裝銃及銃包(ハヤゴ)ノ使用ヲ禁ジタレドモ又酒類ト同ジク捕鯨船ノ密輸ニ依テ全土ノ土族一般之ヲ使用ス故ニ馴鹿ノ如キハ年ヲ逐フテ其數ヲ減ジ去レリ彼等舊來ノ獵具ハ弓矢投鎗ワナ網ノ類ニシテ水上ヲ渡ルニ皮製ノ小舟ヲ用キ土語ニ之ヲ「ミヤクト」云フ其形我河舟ノ如ク骨組ハ漂木鯨骨ヲ以テ造リ接ギ合セノ箇所ハ釘ヲ用キズ單ニ鯨骨ヲ細ク裂キタルモノヲ用キテ之ヲ結着ス而シテ底及ビ側面ハ總ベテ大海豹或ハ白鯨海馬ノ皮ヲ以テ張リ之ヲ漕グニ短キ手棹ヲ用ヒマタ支那風ノ帆ヲ用ウレドモ船底ノ扁平ナルガ故ニ風波ニ

圖七十二第

エスキモー人所用ノ什器



圖八十二第
器什ノ用所人 | モキスエ



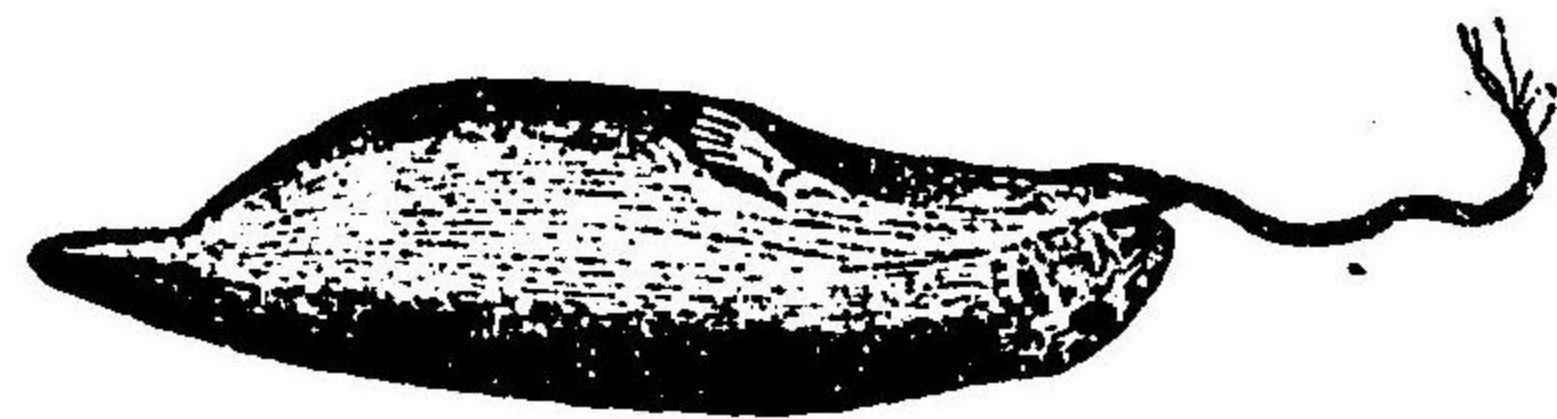
火打道具



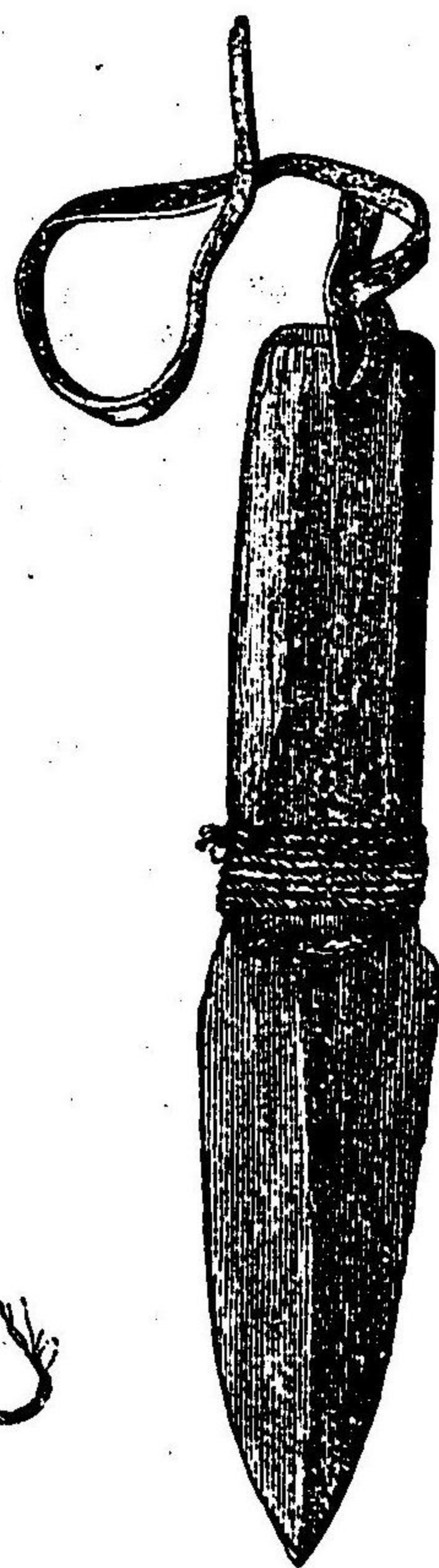
鹿ノ製角



馬海ノ製角



豹海ノ製角



劍

堪ヘズ船體ニ大小アリ其大ナルモノハ殆ト四噸ヲ荷フベシ陸上ノ旅行ニハ楫ト
 犬ヲ用ツ犬ノ形ハ我國ノ犬ト殆ト其外貌ヲ等フシ只其毛ノ少シク長キノミ力強
 クシテ能ク寒氣ニ堪フ故ニ土人ハ意ヲ用ヒテ之ヲ飼養スルコト吾農家ノ牛馬ヲ
 養フニ異ナラズ之ニ反シシベリヤ内地ノ土人ハ多ク馴鹿ヲ使用ス
 眠食ノ外一生涯中他ニ望ミナキ此エスキモ一族ノ風習中其奇癖ニ就テハ本書既
 ニ枚擧スル所多シト雖モ尙モ余ヲシテ其習慣ノ奇ナルニ一驚セシメタル一事ア
 リ
 頃シモ十月ノ半バ過ギナリシ此地方ニアリテ冬期中最モ多ク雪降り從テ吹雪ノ
 起ル節ナルニ此日ハ別シテ夜來ヨリノ東北風愈増其勢ヲ逞フシ其速度ハ一時間
 五十哩ニモ近カルベク人ノ飄然戶外ニ停立セバ屏風倒シニセラル、程ノ有様ナ
 リ之ニ連レテ東南ニ横ハル廣野ヲ席卷シ來ル吹雪ハサハラノ颶風ニモ勝リテ朦
 朧咫尺ヲ辨セズ路行ク人ハ其目ノ球ヲモ卷キ去ラル、ノ思アリテ凍風ノ衣ヲ掠
 メ吹雪ノ顔面ヲ打ツ時ハ銳刀ヲ以テ脾肉ヲ裂クガ如クマタ熱鐵ニ觸ル、ニ似タ
 リ抑々斯ノ如キ險惡ノ日ニアリテハ彼飢餓ニ逼レル熊狼ハイザ知ラズ我々ハ家

内ノ暖室ニ籠居シテスラ尙ホ戰慄ヲ防ク能ハズ如斯ナレバ假令ヒ互寒ノ地ニ生育スル「エスキモー」人トテモ據ナキ事故ノアルナクンバ好デ外出ヲ爲サハルベシト思ヒノ外番所近傍ノ土人二三人ハ早朝ヨリ出デ、雪ヲ切り土屋ノ外面四方ニ雪堤ヲ築キ互寒烈風ノ土屋ヲ吹クヲ防グニ多忙ナルヲ見ントハ恰モ盗人ヲ捕ヘテ繩ヲ作ルニ異ナラズ二三日以前ハ快晴無風ノ好日續キ地上積雪ノ堅固ナリシニ一人ノ戶外ニ出デ雪堤ヲ築キ或ハ氷上ニ赴キ海豹ヲ獵スルモノナク室内ニ安臥シテ喫煙笑談ニ消光セシニ非ズヤ予ハ實ニ不思議ニ勝ヘザリシ其後日ヲ經テ以前ノ土人ヲ見シ時余ハ彼ニ問テ曰ク過日斯ル暴風嚴寒ノ日ヲ選デ戶外ノ勞働ヲ爲スハ他ニ何かノ理由アリヤト彼曰ク過日ハ思ヒ掛ナキ互寒ノ烈風ト吹雪ノ爲ニ土屋内寒サニ堪エサレバ出デ、雪堤ヲ築キ之ヲ防ギタルノミ他ニ理由ノアルナシト依テ余ハ彼ニ説テ曰ク過日ノ如キ烈風吹雪及互寒ハ此地冬期ノ免レザル常事ナレバ積雪ノ充分ナル以上ハ豫メ好日ヲ選ビ雪堤ヲ築キ以テ後日ニ備フル時ハ何ノ日暴風吹雪ノ來ルモ土屋内ノ寒氣ヲ増スノ憂ナクマタ戶外ニ出デ風雪ニ身ヲ苦ムルノ厄ナカラシ是レ我々外人ノ習慣ナリ云々ト然ルニ彼等ノ頑迷

ナル曰ク我々「イニヨク」(人民ニ云ふ)ハ其天日ノ如何ニ快良ナルモ鳥獸魚介ノ如何ニ夥多ナルモ其時ノ需用ニ不足ナキ以上ハ更ニ身ヲ勞シ思ヲ煩ハスヲ爲サズ反之需用其日ニ充タズンバ如何ナル惡日タリトモ出デ、之ヲ求ムルハ我が祖先ノ遺風ナリ今日我等子孫ノ斯クスルハ單ニ其遺風ヲ守ルニ過ギズト余ガ二三ノ青年ヲ訪フテ學校ニ赴クノ美事ナルコトヲ説キシ時モ以前ト同一ナル理由ヲ述ベリ曰ク我々ノ父兄ハ生來一丁ノ英字ヲ解セザルモ能ク海ニ漁シ山ニ獵シテ今日尙幸福ニ生活セリ我々子弟ノ就學セズバトテ現在未來共何ゾ父兄ニ異ナルノ理アラン之レ我々ノ今日學校ニ赴クノ必要ナキ所以ナリト是ニ至テ余ハ呆然口ヲ黙シ只ダ斯ル無知矇昧ノ人民ヲ誘導スルノ任ヲ以テ布教ニ盡力セル傳導師ノ勞ヲ察シ氣ノ毒ニ堪ヘザルナリ

「エスキモー」人ノ間ニモ其風俗ノ「トリンケツ」族ト相類似スルモノ多ク彼婦女ノ春氣發動期ニ達シ未タ婚嫁セザルモノハ其身體不淨ニシテ物ノ用ニ立タザルモノトナスノ弊習アルヨリ是ニ伴フ所ノ奇異ナル習慣亦妙シトセズ尤モ「トリンケツ」族間ニ於ケルガ如キ小女ヲ數月間暗室ニ蟄居セシメ或ハ戶外ニ出ヅルニ當

テ深く其顔面ヲ覆フテ日光ヲサヘ見ルヲ得セシメザルガ如キノ虐待ニ至ラザルモ虚誕ヲ信ジテ小女ヲ疎略ニ取扱フニ至テハ彼此相等シ今其一ニヲ舉グレバ夜間眠ニ就ク時父母其他年長ノ家族ガ衣服ヲ脱シ鹿皮ト夜具ヲ用ウルニ係ラズ未婚ノ女子ハ口中着ケシ所ノ衣服ノ儘鹿皮或ハ床上ニ臥ス之レ女子ノ身體不淨ナレバ家中タリトモ被服ヲ脱シテ他ノ目ニ觸レシムルヲ忌ムガ故ナリ尤モ上着ヲ脱スル如キハ左迄甚シキ忌事トナサレドモ股引ヲ脱シ腰部以下ヲ暴露スルニ至テハ其尤モ嫌忌スル所ナリ今此一例ヲ以テ察スルトキハ彼等蕃族ノ間ニモ亦タ愛スベキ禮法ノ存スルアリテ勉テ醜體ヲ厭フモノ、如シト思ヒノ外其基ク所ハ例ノ迷信ノ餘弊ニシテ彼ノ小女ノ身體穢レテ人目ニ觸ル、ノ價ナク且ツ之ヲ暴露セバ惡靈ノ爲ニ襲ハル、ガ爲ナリト

其他小女ノ頭髮ヲ櫛ルニ當テ抜ケ去ル頭髮ハ悉ク之ヲ集メテ屋外ニ持チ行キ人家ヲ離レタル所ニ地ヲ掘リ之ヲ埋ム蓋シ飛散シテ男子ノ衣服或ハ獵具ニ附着セバ惡魔ノ襲フ所トナリテ漁獵ニ不利ヲ來タスガ爲ナリトマタ小女ノ月經期ニ至レバ其期ヲ過グル迄ハ煙煤ヲ以テ兩眼ノ周圍ヲ塗ルヲ常トス甚シキハ其不淨ヲ

忌ミ小女ノ器物ニ手ヲ觸ル、事スラ之ヲ禁ズルニ至ル其頑愚ナル之ヲ營フルニ比ナキニ苦ム

女子ノ性質甚ダ謙退ニシテ狐疑深シ小女其齡十三歳以上ニ至レバ多クハ父母ノ保護ヲ受ケズ故ニ惡漢ノ勾引痴夫ノ強誘ニ遭フモ自ラ之ヲ防カザル可ラズ其他夫ヲ選ブニモ己ガ意ノ儘ニシテ若冠未ダ愛情ノ眞味ヲ知ラザルニ早ク婚嫁ス其一度嫁スルニ於テハ妻ハ百事夫ニ隨從シ夫ハ又妻ヲ保護スルガ故ニ復タ他ノ惡漢痴夫ノ虐待凌辱ヲ受クルノ恐少シ之レ即チ婦女早婚ノ重ナル原因ナリトス抑、男尊女卑一夫多妻ハ未開野蠻ノ免レザル惡弊ナリト雖モ余ハ此「エスキモ」社會ニ於テ最モ其甚シキヲ見ル其妻ガ犬ヲ飼養スルヲ怠リ或ハ夫ノ衣服ヲ製スルヲ疎畧ニセバ爲メニ痛ク打擲セラレマタ小兒ヲ撫育スルヲ忽ニシ或ハ妊娠中ノ幽閉辛苦ヲ避ケンガ爲メニ胎兒ヲ墮胎セシ時ノ如キハ打擲殆ト死ニ至ルコトアリ其他夫婦相伴フテ路ヲ行クニ當リテモ其持物ハ其妻之ヲ荷フヲ常トス故ニ妻ハ全ク男子ノ奴隸ニ過キズ土族ニシテ家産ノ富メルモノハ重ニ二婦ヲ貯ヘ第一婦ハ常ニ家ニ在テ家事ヲ整理シ第二婦ハ第一婦ヲ助ケテ衣服ヲ縫ヒ食物ヲ料理シ

夫ノ出獵スル時ハ之ニ伴ヒ衣服及食物其他犬ヲ使役スル事等ヲ司ル以上ニ述フ
 ルガ如ク妻ハ其夫ノ奴隸タルニ過ギザレドモ茲ニマタ夫婦間奇異ノ習アリ土族
 ノ物品交易ニ對シ婦女ノ意見ノ却テ男子ヲ制スルノ一事ナリタトヘバ夫ガ己ノ
 所持セル物品ヲ他人ト交易スルニ當リ其如何ナルモノト交易セント欲スルモ必
 ズ先ヅ其妻女ノ意見ヲ問ハザル可カラズ若シ夫ガ自己ノ了見ヲ以テ隨意ノ物貨
 ヲ交易賣買シ終リタル後ト雖モ其妻ノ意ニ適セズシテ故障等ヲ申出ヅルアレバ
 必ズ前約ヲ破リテ其物品ヲ取戻サルヲ得ズマタ奇癖ト云フベシ如斯習慣吾人
 ノ間ニ於テハ容易ニ行ハレザル而已ナラズ多クハ紛議争鬭ヲ招クノ源因タレド
 モ此土族界ニハ固有ノ通慣ナルガ故ニ此破約ヲ以テ双方容易ク相解シ更ニ意ニ
 介セザルモノ、如シマタ竊盜ノ如キモ土族間甚ダ稀ニ起ルモノニシテヨシ之ア
 ルモ發覺ノ後物品ヲ返償セバ敢テ其罪ヲ問ハズ然ルニ獨リ殺人罪ニ至テハ人ヲ
 殺セバ己レ亦殺サル、ノ法ヲ以テ之ヲ處置ス

結婚

結婚ニ關スル習慣ヲ述ブレバ男子ガ己ノ愛スル女ヲ娶ラント欲セバ先ヅ時々土

地ノ美味鹿ノ胸肉其舌海豹ノ肝等ヲ送リテ其歡心ヲ得ルヲ以テ常トシ愈々相親
 シムニ及デハ男子ハ財力ノ及ブ丈ノ美服(勿論皮)ヲ調製シテ之ヲ贈ル而シテ小女
 之ヲ着用セバ其戀情成就シ夫婦ノ約成ルナリカクテ偕老ノ契成ルヤ相伴フテ數
 度ノ旅行ヲ試ムルヲ以テ習トシ冬期ニアリテハ内地ニ鹿ヲ狩リ夏期ニ於テハ河
 海ニ漁獵ヲ試ム等其様恰モ歐米人ノ結婚後直ニ夫婦相伴フテ旅行ヲ爲スニ似タ
 リ

埋葬

埋葬トテモ婚儀ト共ニ甚ダ單一ニシテ彼ノトリンケツト族等ノ煩シキニ似ズ死
 者アレバ其死骸ヲ鹿皮ニ包ミ之ヲ橇ニ載セ犬ニ引カセテ二三ノ家族相伴ヒ郊野
 ノ埋葬地ニ持チ行キ之ヲ葬ル墓地ニ至レバ數箇ノ杭ヲ以テ造レル小高キ柵ノ上
 ニ死屍ヲ安置シ獸類杯ノ之ヲ犯スヲ防グ然レトモ其流木ニ乏シキポイントパー
 ロー邊ニ於テハ死骸ヲ其儘地上ニ横ヘ冬期ナレバ雪ヲ高ク積ミテ之ヲ覆ヒ更ニ
 穴ヲ掘リ死屍ヲ埋メ土石ヲ以テ之ヲ覆フコトヲ爲サズ故ニ犬ノ飢ニ逼リタル冬
 期ノ如キハ墓地ニ赴キ是等ノ死骸ヲ發キ腕骨脛骨等ヲ口ニシ來リテ部落ヲ徘徊

スルヲ見ル然ラズンバ其他ハ概テ野狐ノ餌トナルマタ死者ノ生時ニ使用セシ器
 物等ヨリ一二ヲ選ビ之ヲ死骸ト共ニ墓地ニ棄ルノ風習アリ此棄物中ニハ新造ニ
 シテ且ツ必用ノ物少ナカラズト雖モ土人ハ再ビ之ヲ使用スルコトヲナサズ之レ
 亦タ例ノ虚誕ヲ信ジ惡靈ノ器物中ニ附屬シ居レバナリト云フニアリ其器物中男
 子ナレバ重ニ獵具女子ナレバ裁縫道具或ハ厨具ナリ葬送後ハ家族ノ敢テ之ヲ歎
 キ悲ムコトナキガ如ク只其死者ノ生前ニ在テ有名ノ捕鯨者又ハ山獵者杯ニテア
 リタランニハ長ク土人ノ口碑ニ存シ家族ハ之ヲ子孫ニ傳ヘテ其勇氣ヲ鼓舞セリ
 彼等ハ家内ニ死亡又ハ出産ノ事アレバ忌ヲ帶ブ
 一家中死者アレバ其家族ハ次回ノ新月迄他家ニ赴キ又ハ山海ニ出獵スルヲ許サ
 ズ止ムヲ得ザル時ハ兩眼ノ周圍ニ烟煤ヲ塗ルヲ常トス之レ惡靈ノ其誰タルヲ分
 別シ能ハザレバナリト信ズルガ故ナリ甚シキニ至リテハ家中惡魔アリト爲シ新
 居ヲ求メテ之ニ住スルモノアリ
 流産ノ婦ハ三回ノ新月ヲ經ル間ノ忌アリ分娩ノ婦ハ夏期ナレバ新雪ノ至ルマデ
 冬期ナレバ雪ノ地上ヨリ消滅シ去ル迄ノ忌アリ産婦ハ其出産ノ前後ニ於テ別シ

テ丁寧ナル取扱ヲ要スルハ何レノ國モ同様ナルベキニ此「エスキモ」國ニ於テハ
 「ドリ」ケツト族ヨリモ甚シキ無慈悲ノ取扱ヲナス今其大略ヲ記サンニ産婦ハ總
 テ其出産二三日前ヨリ夏期ナレバ僅カニ身ヲ入ル、ニ足ル丈ノ天幕冬期ナレバ
 矢張り狹隘一身ヲ自由ニ運動シ難キ程ノ雪屋ニ別居セシメラレ多クハ寒衣微食
 決シテ餘人ト交通スルコトヲ許サズ時々其母親杯ノ食物ヲ送り來ルコトアレド
 モ是レトテ産屋ニ入ルヲ能ハズ故ニ嚴冬ノ候寒暖計奪下四十五度ニ降ルニ當ツ
 テハ此土族トテ爭テカ其寒威ニ堪ヘ得ベキ赤兒ハ多ク胎内ヲ出デズシテ凍死ス
 甚シキニ至リテハ母ト共ニ凍死スルコトナキニアラズ是ヲ以テ婦女ハ此厄難ヲ
 免レンガ爲ニ無分別ニモ嬢姪中暗ニ流産ヲ行フモノ多ク中ニハ其法ヲ過リテ病
 苦死ニ至ルモノ尠カラズ其所業惡シト雖モ虚誕邪教ニ起因スル産後ノ幽閉モ亦
 實ニ酷ナリト云フベシ是等ノ惡弊アルガ故ニ「エスキモ」族中年々出生ハ死亡ヲ
 償フニ足ラズ昔時ニ在リテ大族ト誇稱セル此土族モ次第ニ其數ヲ減ジ去リテ今
 ハ實ニ曉星ノ姿ヲ呈セリ今ヨリ十五六年ヲ經タランニハ余ハ沿岸ニ空虚ノ部落
 ヲ見ルヲ益多カラシク

死亡出産等ノ忌ヲ退ケ惡靈ヲ拂ヒ其他吉凶ヲ豫言シ、人身ノ苦惱氣候ノ不順、山海ノ不獵ヲ恢復スル處ノ法者アリテ、土族間ニ邪惡ノ元素ヲ増ス、此法者ノ依ル處ハ前項ニ述ベタルトリシケツト、族ノ法者ト同ジク共ニ虛誕ニ惑溺シ空漠ニ暗鬼ヲ審キ之ヲ奉スルニ過キズ、左ニ掲グル一二ノ例ヲ以テ之ヲ判斷シ得ベシ、惡鬼ノ屋内ニ入ルヲ防グノ法トシテハ、銳刀ヲ戸口ノ鴨居ニ釣リ之レニ細キ絲ヲ附ケ之ヲ垂レ置ク、若シ惡魔ノ戸口ニ入ラントスル時ハ此糸ニ觸レ刀落チ來リテ惡魔ヲ切ルトナス、土人ハ惡鬼ハ無現ノ精靈ナリト云ヒナガラ其形ナク見ル可ラザル、惡鬼ノ争デカ銳刀ニ觸レテ其身ヲ切り傷フノ理アルベキ是レ虛誕ノ一ナリ、其他自己ノ目ノ周圍ニ墨ヲ塗リ此レヲ以テ惡鬼ガ己ヲ分別セズト云ヒ、又冬夜ニ輝ク北光ヲ見テ惡鬼ノ戯レトナス、杯愚昧モ甚シト云フベシ、

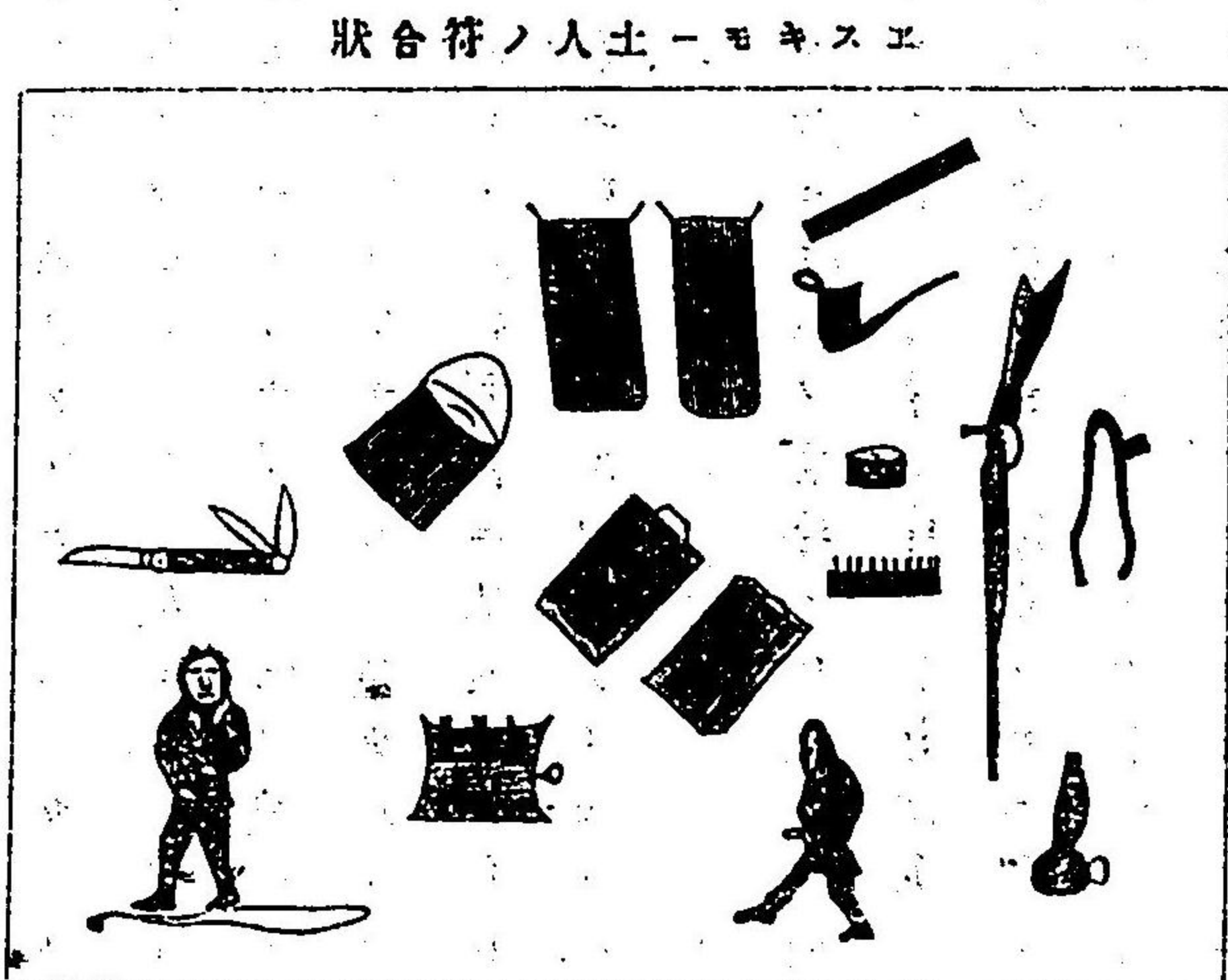
マタ彼等ノ口碑ニ傳フル昔話中、恰モ吾人ノ聖書ヲ尊敬信仰スル如ク至テ敬ヒ傳フル一話アリ曰ク、大古ニ在テ人畜ノ未ダ地上ニ生セザル以前、アーセルト呼ベル一ノ神アリ、一日其獨居ノ家シサニ粘土ヲ涅チテ二箇ノ偶像ヲ造リ、戯レニ之ニ氣息ヲ吹キケレバ、偶像ハ忽チ活動シテ人間トナレリ、是ヲ以テアーセルハ其不思議

ノ餘リ是ヲ人ト名ケ其旅行ノ伴トシテ、犬ヲ造リ共ニ地球上ニ住マシメ、其後人ノ乞ニ依リ鹿ヲ造リテ山ニ放テリ、然レトモ鹿ニ豺狼ノ如キ齒牙ヲ與ヘシヲ以テ人犬ヲ害スルコト尠カラズ、故ニ再ビ地上ノ鹿ヲ呼ビ集メ悉ク其銳牙ヲ拔キ去リタレバ、鹿ハ是ヨリ全ク蘇苔ノミ生食スル事トナレリ、マタ人ノ乞ニ依リ木片ヲ以テ河海ニ魚ヲ作り放テリ、其黄色ナルモノハ蛙トナリ、其白キハ白魚ト爲レリ、云々ホイント、パロー、避難所内ニ假設セル學校ノ教師ガ神畫等ヲ示シテ、耶穌ノ事歴ヲ説ケバ、彼等ハ曰ク、此モ亦タ我アーセル靈ガ造レルモノナリトテ却テ白人ヲ笑フモノ、如シ

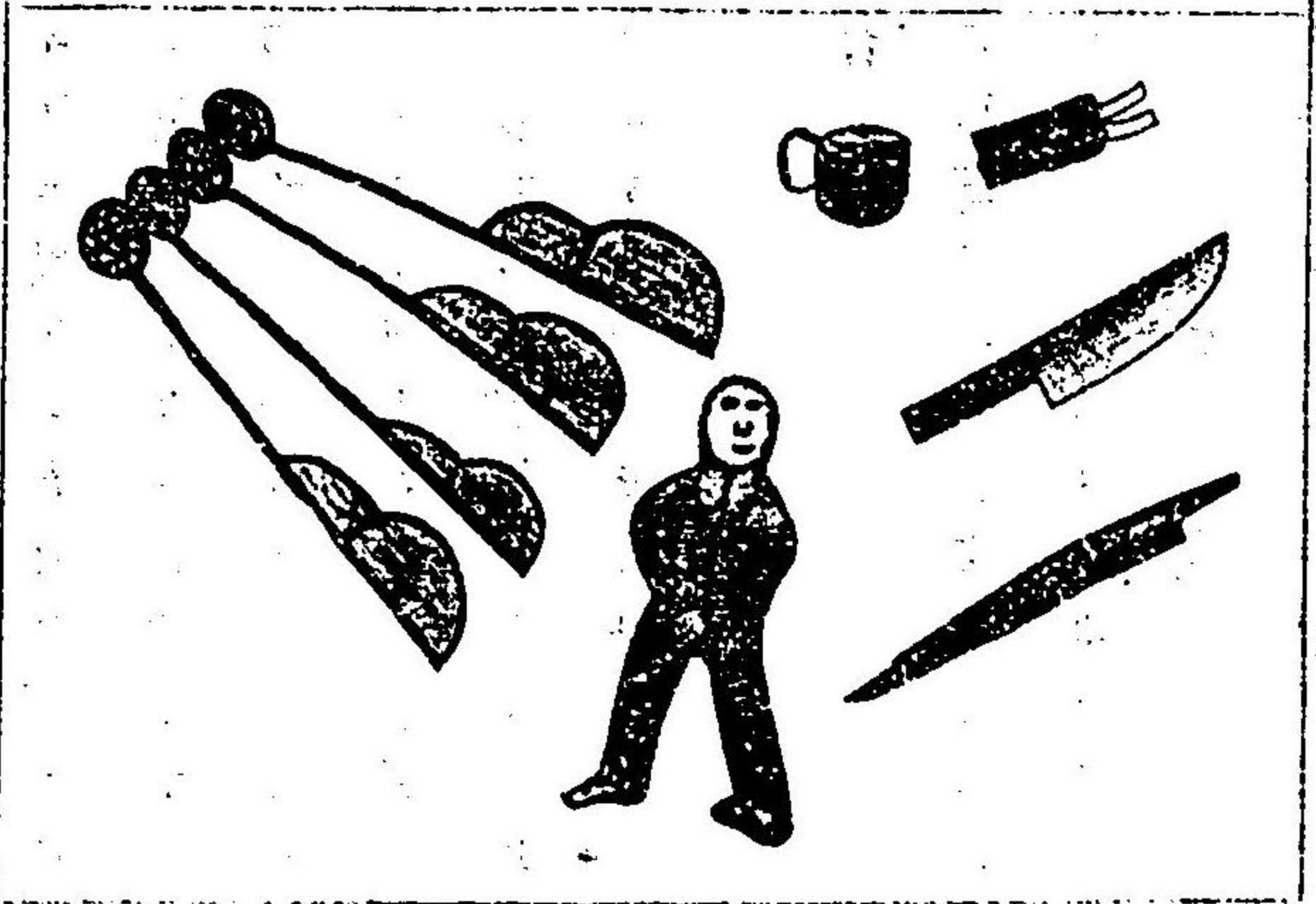
「エスキモー族ノ文字ニ代用スル符合」

「エスキモー族ハ元來文字ノ作用ヲ知ラズ、彼等ノ巧ニ人身動物其他彼等ノ使用ニ係ル百般ノ器物ヲ模寫彫刻スルニ係ハラズ、一モ文字體ノ記號アルヲ見ズ、是ヲ以テ彼等ノ古來通信ノ際ニハ其物體ノ形狀ヲ木片或ハ鹿角海馬ノ牙等ニ彫寫シテ、文書ノ代用ニ供セリ、タトヘバ獵者ノ内地ニアリテ音信ヲ己ノ部落ニ送リ、犬五匹ト楯一臺ヲ取り寄セント欲スル時ハ鹿角杯ニ犬五匹ト楯一臺トヲ模寫シテ此レ

第廿九圖



第三十圖



ヲ送ルヲ例トス第二十圖及ビ第三十圖ニ掲グル所ハ余ガ番所ニ在勤中番所雇ノ土人ガ内地ニ出獵中彈藥其他ノ欠乏ヲ生ジ音信ヲ番所ニ送リテ其供給ヲ乞ヒシ時ニ使用セル符合狀ノ寫ナリ

「エスキモ」族ノ言語

「エスキモ」土語ノ起因ハ土族自ラノ出處ト共ニ學者間種々ノ意見アリテ未ダ確定セズ古昔此土族ノ住所タリシシベリヤ東北岸ヨリ北米氷洋全岸及ビグリーンランド全州其他北米大西洋岸ラブラドニアニ至ルマデ其發音上只些少ノ異音ヲ呈スルノ外全ク同根ノ語ヲ用キ今日歐米人ノ蒐集ニ係ルモノ二千五百餘語ニ及ベリ余ハ今左ニ數十語ヲ掲ゲテ讀者ノ一覽ニ供セン

土人ノ談話スル際傍ニ在リテ其音聲ヲ聽クニ恰モ口中ニ物ヲ含ミナガラ發言スルガ如ク音調甚ダ重ク且ツ遲緩ナリ殊ニ男子ハ兩方ノ口角下端ニ穴ヲ穿テ飾唇器ヲ帶フルヲ以テ其飾器ノ内端口中ニ突出シ發音ニ際シ舌端ノ兩側ヲ壓推シ其音調ニ尙一層ノ濁音ヲ加フマタ語音中彼等舌動ノ能クセザルモノアリ(フト)デヨ(ジャ)ノ三音是ナリ試ミニ彼等ヲシテフネト云ハシメナバフネト云ヒ得ルモフネ

トハ發音シ能ハズ其他ジヨウキセンヲヨウキセント呼ビヂヤツキ(人名ヲヤツキト云ヒ如何ニモ正音ヲ發スルニ恰モ小兒ノ語ノ如ク舌動ノ自由ナラザルガ如シ一奇ト云フベシ

天	コウカ	川	コウホ	鹿	トツト	「エスキモ」	ムミンカ
地	メキ	男	イニヨク	海豹	チヤチク	酒	ケンガ
日	スキニヤ	女	テヘネ	鯨	ウカエハ	煙草	カチタ
月	グトカ	小年	チカツ	海馬	アイロハ	嚼煙草	ウチヤカラ
風	アノア	小女	チワキ	魚	アカル	鐵砲	シヨツボン
雨	シラルツク	麴	カツクラ	熊	ナヌク	鉛	サハ
火	イグナ	珈琲	ネゴ	犬	ケグマ	針	ミツコン
水	インマ	肉	ニケ	白狐	チカシヤ	水ヲ飲ム	イマカツドカ
雪	アホシ	血	アチ	赤狐	カヤク	物ヲ喰フ	カチカチ
氷	シコ	皮	フン	白人	カフナ	ヒモジエ御坐リマス	カウトガ

行ク去ル	アキヨク	來ル歸ル	カヘン	澤山	アヘラツト	大	レツネ
小	メケネ	重キ	チコマイトロ	強	キシロハサロ	長	キダロ
短キ	チシヨロ	熱キ	チナナト	堅	キウセロ	高	キダロ
汝	イルベ	彼	イラ	善	ナコラ	私	オハガ
白	カダクト	黒	モガクト	赤	カエクトロ	否	ナカ
諾	シヨクツトヨ	病	アチ	交易	アチアチ	與フ	アイトロ
死	モケ	殺ス	トコツカ	私ハ皮ヲ交易致シタク御坐リマス	チハガアヤナクトヨシヨクト		
船ガ大ソウ速ニ走リマス				汝ハ大惡人デ御坐リマス	チミヤツバムツクシヨカチアチ		
捕鯨業					イルベイニヨクアシシラナチ		

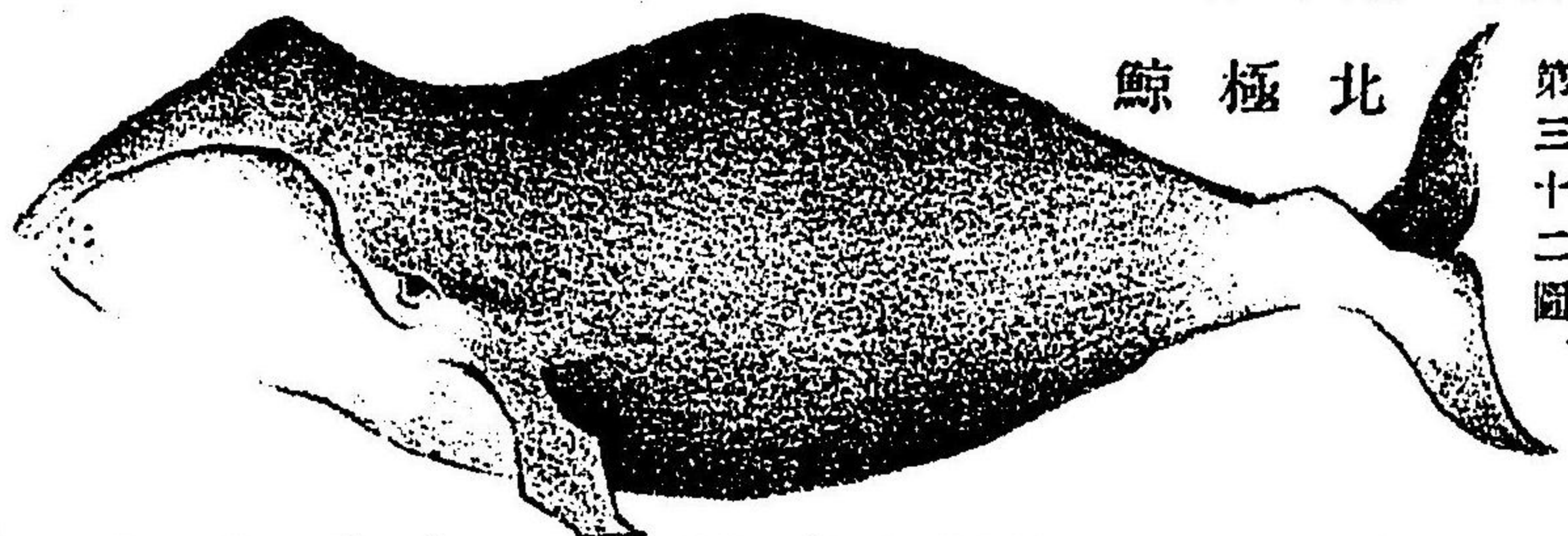
今ヨリ七八十年前マデハ極熱ノ地ヲ除クノ外地球上海トシテ多少ノ鯨族ヲ生セザル處ナク殊ニ西半球ニ於テハグリーンランドノ東西兩海及ビハドソン灣北氷

洋アラスカ近海ペーリング海ヲコーツク海及日本國ノ沿海ヲ以テ重ナル捕獲場トナシ東半球ニ於テハ那威國近海ハ勿論露國ノ最北端ノアゼンブラ近海ヨリ遠ク北極ニ向テスピッツベルゲン島アイスランド島近海等ヲ以テ重ナル漁場トナセリマタ亞弗利加南端喜望峰近海ヨリ南氷洋ニ及ボシ其ノ獵ヲ試ミ六十年前ノ頃ニ於テハ各國ノ冒險者ハ相競テ其業ニ從事セリ然レ共此鯨族タルヤ他ノ魚類ノ如ク繁殖ノ度多カラサレバ年々生育ノ數ハ其ノ捕殺ノ高ヲ償フ能ハザルトマタ此等ノ動物ハ敵手ヲ避ケテ遠ク船舶ノ航海危險ナル氷洋ニ移轉セシトニ依リ今日ニ至リテハ東半球ノ捕鯨業ハ全ク其跡ヲ絶チ彼ノ最上ノ鯨族育生地トシテ一時有名ナリシグリーンランド近海サヘ殆ト皆無ニ赴クノ姿ヲ呈スルニ至レリ之ニ反シ獨リ北氷洋アラスカ近海ハ今ニ至ルモ依然トシテ其好獵地ノ名ヲ保チペーリング、オコーツク及我日本近海ノ如キモ亦タ其業ヲ存セリ此アラスカ近海ハ只ニ多數ノ鯨ヲ産スルノミナラズ其ノ種類ニ於テモ最上ニ位セリ其名ハ米人之ヲ通稱シテボウヘッド(即チ北極鯨)ト云ヘドモ海中之ヲ一見シ去レバワコーツク及日本海(我東海ノ別種ノ物)ニ産スルライトホエールノ大ナルモノニ異ナラズ多量上位

ノ鯨骨ト油ヲ出スライトホエールハ一名グリーンランド稱シ其產生ノ骨量及質ハボヘッドニ劣レリ又北太平洋及ヒ我國東海ニ産スルモノハスパアムホエール(抹香鯨)及ヒハンバクク、ヒンバクノ三類ニシテ後ノ二者ハ鯨骨ヲ産セズト雖モスパアムハ鯨族中最上位ノ油ヲ生ズ今左ニ各種鯨族ノ産出スル骨及油ノ量目及價ヲ比較セバ左ノ如シ

種 類	鯨 骨	油	骨一ポンドノ價	油一ガロンノ價
北 極 鯨	二千ポンド	七千ガロン	米貨四弗	米貨二十五仙
ラ イ ト 鯨	千五百ポンド	六千二百内外	三弗半	全
マ ツ コ ウ 鯨	無	二千四百内外	無	一弗内外
ヒ ン バ ク ク 鯨	無	千八百内外	無	二十五仙
此量ハ成長セル鯨ヨリ産出セルモノト知ルベシ				

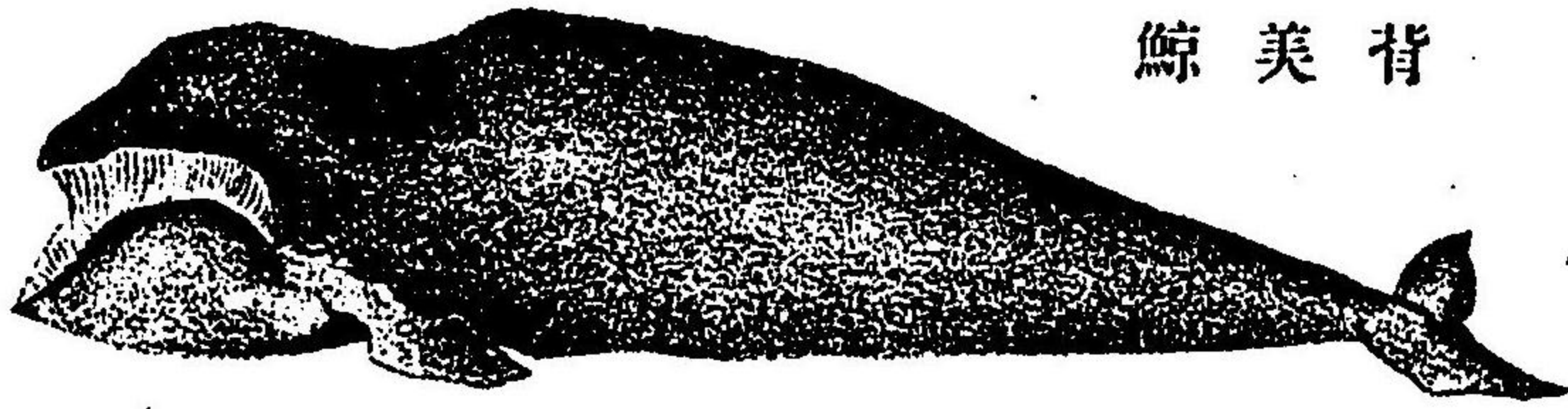
近年米國捕鯨船ノアラスカ近海ニ航スルモノ其數三十餘隻其オコーツク及日本海等ヘ赴クモノ十餘隻アリテ二十年以來今日ニ至ルマデ世界ノ全市場ニ散布ス



鯨極北

第三十二圖

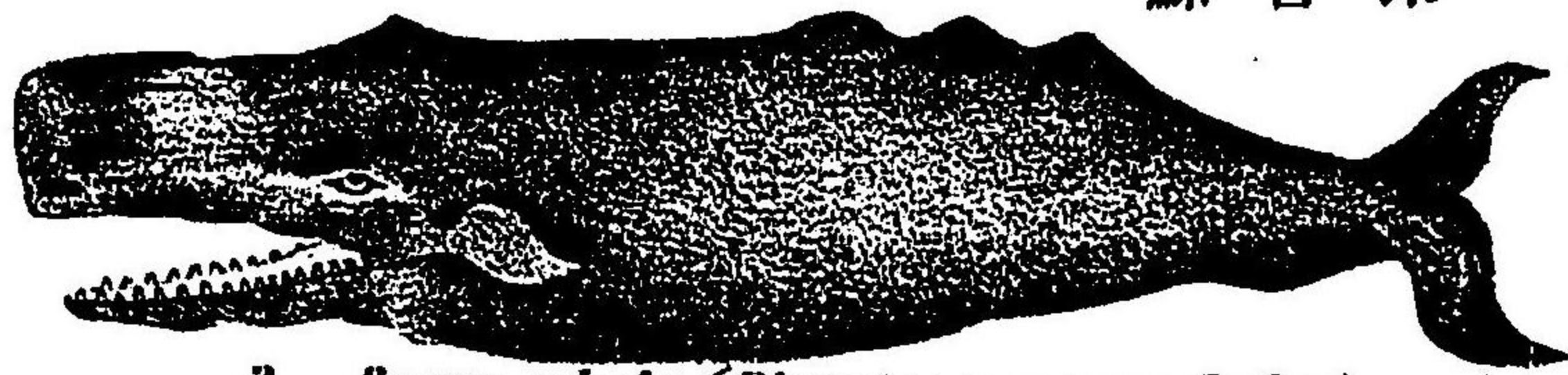
1 *Greenland or arctic right whale (Balaena mysticetus)*



鯨美背

第三十三圖

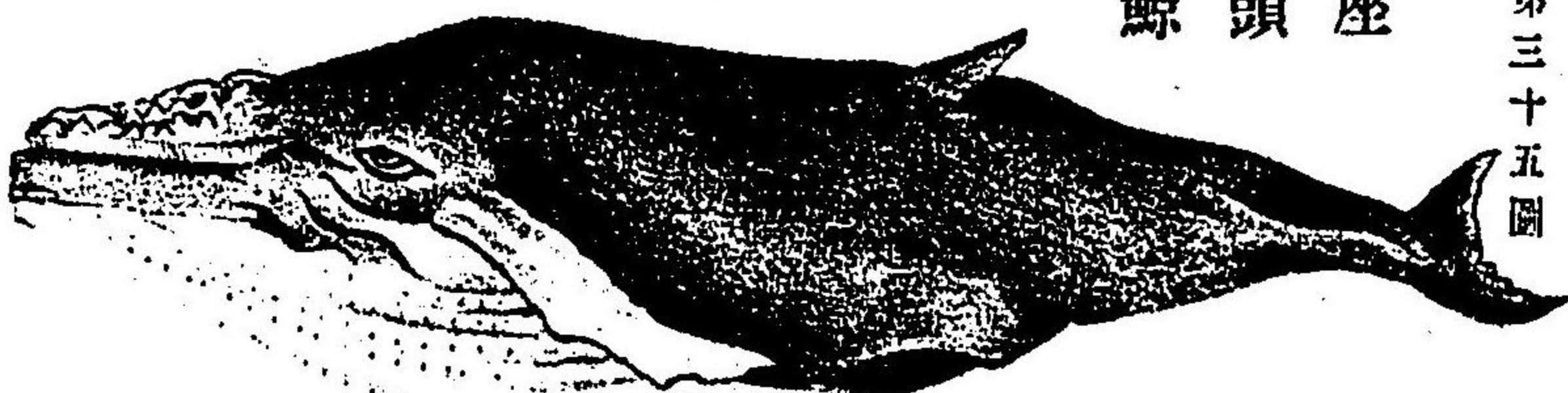
2 *Southern right whale (B. Australis)*



鯨香抹

第三十四圖

3 *Sperm whale (Physeter macrocephalus)*



鯨頭座

第三十五圖

4 *Humpbacked whale (Megaptera boopo)*



鯨須長

第三十六圖

5 *Fin or Common porpoise (Balainoptera musculus)*

ル鯨骨及鯨油ハ重ニ此米國鯨船ノ供給セルモノナリ故ニ此等ノ漁場ニシテ他ノ漁場ノ如ク鯨族ノ繁殖ヲ絶タズンハ米國ハ今後世界ニ向テ彼ノアラスカ臘轔獸皮ト共ニ鯨骨鯨油ノ專賣者タル疑ナシ農産物ニ礦物ニ海産ニ斯ノ如ク富貴ナル米國ノ其富力ガ國力ト共ニ須臾ニシテ萬國ニ超越セルモ亦宜ナリ

余ノペーヤ艦ニ於テ北氷洋ノ捕鯨場ヲ巡廻セシハ千八百八十八年ノ夏期ヲ以テ第一回トシ夫ヨリ每期同地ニ航シ千八百九十一年八月同艦ヨリ轉ジテ北氷洋アラスカポイントパローナル合衆國政府設立ノ避難所ニ在勤ヲ命ゼラレ三ケ年間同地ニ留マレリ此四ケ年ノ間ニ於テ數十ノ鯨船中一流船ガ一漁期ニ於テ其捕殺セル鯨數ハ北極鯨大小五十三頭ヲ以テ最高ノモノトス今之ヲ金額ニ改算セバ殆下三十一萬弗ナリ其收穫ノ巨大ナル世上又々之ニ比スルノ事業ナカルベシト雖凡其ノ業ノ危險ナル亦々世上之ニ比スルモノナカルベシ併シ此業ニ從事スル所ノ船悉ク斯ノ如キ大漁ヲ爲スニアラズ其每船年々ノ捕獲高ヲ平均セバ一船二三頭ニ過キズ今此收穫ニ對スル鯨船一期間ノ費用ノ見積高ヲ示サンニ帆船ナレバ其大小形ニ依リテ別アリト雖モ三千弗ヨリ八千弗ニ過ギズ汽船ナレバ一萬弗ヨ

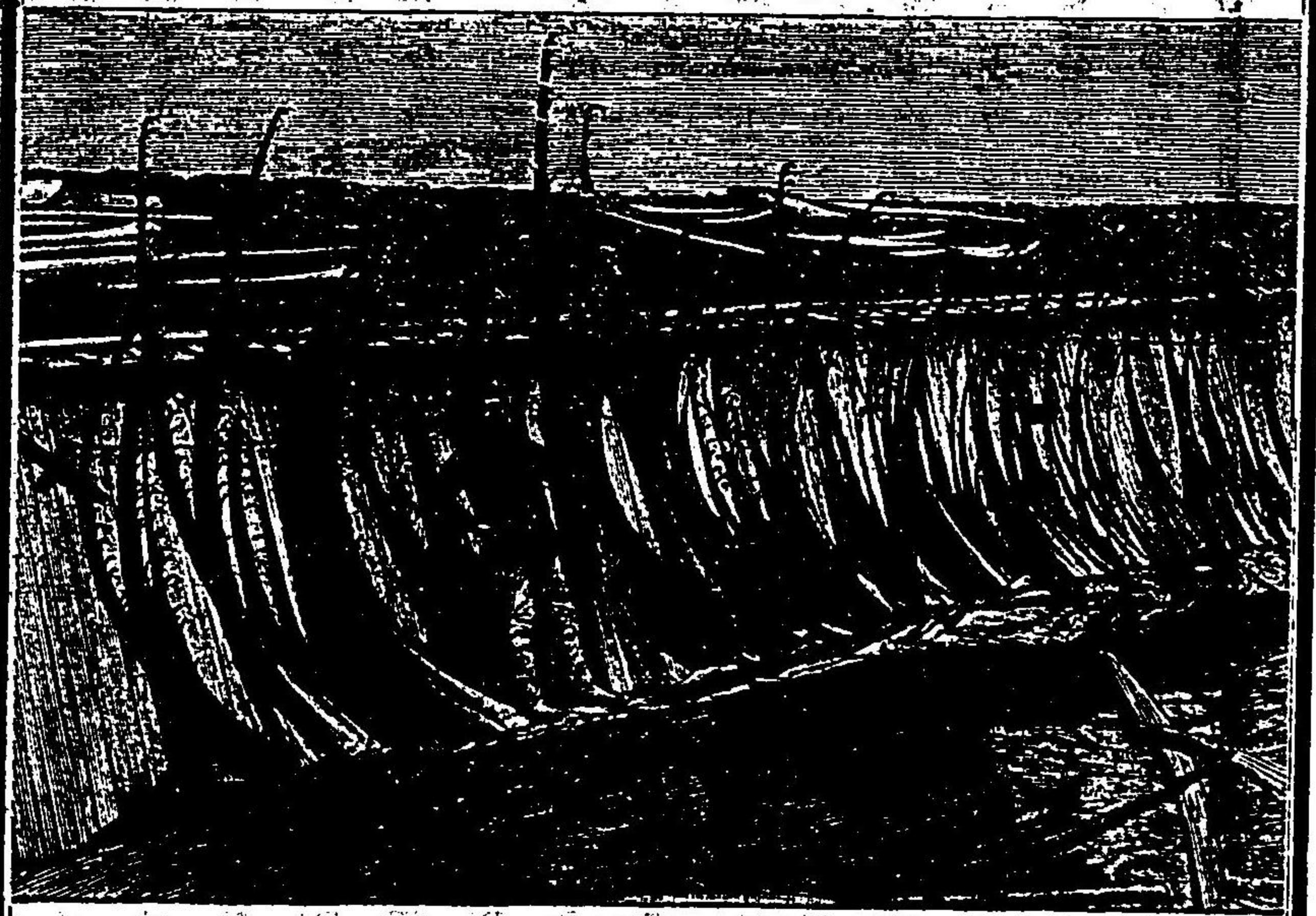
二萬弗ニ至ル此レ船舶ニ對スル海上保險料ヲモ合算スルモノナリ凡テ保險手
數料ノ船舶ニ對スル割合ハ船體ノ堅固不堅固積荷ノ種類其ノ航路ノ善惡ニ依テ
大ニ差アルハ誰人モ知ル所ナルガ此ノ氷海ニ冒險ノ業ヲ試ル鯨船ノ如キハ最多
ノ手數料ヲ要スルナリ例ヘバ溫帶地方流水ニ遭フノ憂ナキ日本海及南北兩緯五
十度以下ニ捕鯨スル船ニ對スル一期ノ手數料帆船六分汽船四分トセバ寒帶地方
常ニ流水ノ危險多キ北氷洋及グリーンランド邊ニ赴ク船舶ニ對スル手數料ハ前
者ノ二倍ヲ拂ハザル可ラズアラスカ近海北氷洋ニ漁獵スル鯨船ガ流水ニ船ヲ損
ジ或ハ端舟ヲ失ヒ極寒ニ手足ヲ落ス等ノ事ハ常ナリトス只船ノ一部ヲ損ジ手足
ヲ失フ位ハ左マデノ危險ニモアラザレモ一朝暴風ニ遭ヘバ船ヲ冰山ノ間ニ碎キ
乗組全員ヲ凍海ノ下ニ失フ事決シテ珍シカラズ千八百八十八年八月余ガ始メテ
ペーヤ艦ニ乘ジ北氷洋ニ赴キシ時ノ如キパーロー岬近岸ニ於テ暴風流水ノ爲ニ
五隻ノ鯨船破碎シ萬死ニ一生ヲ得タル乗込員百五十名ヲ救助シテ之ヲ桑港ニ送
致セシ事アリ其他千八百七十一年八月ノ大變ノ如キ流水ニ密閉セラレテ進退ヲ
遮ギラレ同時同所ニ三十五隻ヲ失ヒ千八百七十六年ノ夏ニ於テモ同様ノ原因ニ

由テ十二隻ヲ破壊セラレ剩ヘ其乗組員ノ十分ノ二ヲ失ヒ其他北極遠征ノ軍艦等ニシテ其行衛ヲ世ノ聞知外ニ歸セシモノ幾何ナルヲ知ラズ土地ノ險惡業ノ冒險斯ノ如クナルガ故ニ其收獲ノ巨額ナルモ敢テ驚クニ足ラザルナリ米國捕鯨者ガ近寒無人ノ境界ニ船ヲ破リ生命ヲ失スル事ノ頻多ナルヲ憂ヒ遂ニ千八百八十九年ニ於テ時ノ國會ハ捕鯨會社等ノ請願ヲ納レテ氷洋ニ於ケルアラスカ最北端ポイントバーローニ一大家屋ヲ建設シ難船者ノ避難所ニ充ツ是ヲ北氷洋ポイントバーロー合衆國避難所トス三ケ年間余ノ留マリシ所ハ是レナリ

北海捕鯨ニ二期アリ第一期ハ五六月ノ頃鯨ノ北上逼歷ノ時ニ之ヲ春期浮氷鯨獵ト云ヒ第二期ハ南下ノ時ニシテ之ヲ夏期獵ト云フ浮氷獵期ハ氷原ノ未ダ氷洋沿岸ヨリ去ラザル時ナレバ全ク氷洋沿岸土人ニ依テ行ハルマタ沿岸二三ケ所ニ冬間滞留スル僅少ノ白人モ此期ニ於テ出漁ス而シテ此獵ノ方法ハ夏期獵ノ如ク大船ヲ以テ大海流水ノ間ヲ巡航シ所在不定ノ得物ヲ探索スルノ煩ナク隨ツテ莫大ノ費用ヲ要セズ僅少ノ器具ト人員ヲ以テ容易ニ舉行セラルベクマタ不測ノ危險ヲ蒙ルコ希ナリ毎年四月ノ下旬ヨリ岸ヲ去ル數里外ニ時トシテハ十四五海里

以外氷原中大河ノ如キ水路開ケ鯨ハ南方ヨリ其間ヲ通ジテ北方へ逼歷ス獵者ハ此期ニ少シク先立チ皮舟ヲ引キテ氷原ヲ涉リ水路ノ兩側ナル氷上ニ野宿シ鯨ノ通過ヲ注意シ之ヲ見留メナバ漁夫モリヲ裝置シタル捕鯨銃ヲ以テ爆彈ヲ發射シ之ヲ殺ス彈丸ハ深ク体中ニ入りテ破裂シ一發能ク大鯨ヲ倒ス事アレトモ多クハ二三ノモリト二三ノ爆彈ヲ要ス尤モ熟練ナル砲手ハ成丈舟ヲ鯨ノ背上頸部ニ接近セシメ甚シキハ全ク其背上ニ乘リ揚ゲ頸部ノ側面ヲ射撃ス斯クセバ十中ノ九一丸能ク大鯨ヲ殺スコトヲ得マタモリハ其末端ニ太ク且ツ長キ繩ヲ結ビ附ケ加フルニ二三箇ノ浮標器ヲ附着シアルガ故ニ死体ノ流失沈沒等ヲ防グ概スルニ氷洋鯨ハ其性質極メテ温和ニシテ體ノ運動モ甚ダ敏速ナラサルカ故ニ他ノ鯨族ニ比シテ之ヲ捕殺スルニ甚ダ容易ナリトス現今米人ノ重ニ使用スル捕鯨器械ハ此モリト爆裂彈トヲ裝置セル銃器ダーテング銃ノ外單ニ爆裂彈ノミヲ發射スル銃アリ之ヲシヨルダ銃ト云フ甲ハモリノ鯨体ニ打込ミタル作用ニ依テ始メテ爆彈ノ發射ヲ起スモノナレバ銃器ヲ強ク鯨体ニ突キ込ミ或ハ投ケ着ク故ニ之ヲダーテング銃ト云ヒ乙ハ爆彈ヲ發射セシムルノ時堅ク銃台ヲ肩ニ引キ着ケ用ユルカ

第三十六圖



鯨骨乾カセカ

故シヨルダ銃ノ稱ヲ受ク右ノ外ニ浮器ヲ附シタルモリヲ用キ斯クシテ鯨ヲ銃殺セル後之ニ大繩ヲ附シ大氷塊ノ傍ニ繋ギテ頭部ヲ切開シ黒色扁長ノ板骨ヲ採取ス此骨ヲ名ケテ Whalebone ト云ヒ其末端ハ強ク且ツ長キ毛ヲ生ジ密ニ口中ニ垂ル土人ハ食用マタ燈火用ニ供スル爲ニ外部ノ黒肉脂肪等ヲモ採取ス鯨骨其他ノ運搬ニハ總テ楳ト犬ヲ用キ昨春余ガ番所近隣ノ米人ハ土人百餘人ヲ使用シテ鯨骨二萬ポンドヲ收獲セリ

マタ夏期ノ獵ハ世ノ既ニ知ル如ク桑港等ヨリ來ル鯨船ガ夏間流水又ハ氷原ノ最寄ヲ不絶廻航シ其間ニ出沒スル鯨ヲ捕獲スルモノナリ其使用スル器具ハ春期氷上ニ於テ用フル物ト同シ凡テ此寒帯産鯨族ノ好癖トシテタトヘ他ニ無氷ノ大海アルモ却テ氷塊ノ間ニ身ヲ容ル、ヲ以テ安全ナリト思考スルガ如ク重ニ流水多キ間ニ出沒スルガ故ニ之ヲ追撃スル捕鯨者ニ向テ大ニ困難ト危險ヲ與フル所以ナリ

鯨

タラハ水ノ淺深、海洋、港灣ヲ問ハズ海中至ル所ニ釣ヲ垂レテ容易ニ之ヲ釣り得ベシト雖モ其重ニ生殖群集スル所ハ海水ノ深サ二十尋ヨリ五十尋位ノ處ニシテ本暖潮中ニ横ハル海中ノ瀬ナリ米人ハ之ヲ呼テカッドバングト云ヒアルーチャン群島近海ニハ既ニ發見セル瀬五六ヶ所アリテ米人ノ鯨漁多クハ此地ニ行ハル季節ハ四月ヨリ九月ノ間ヲ以テ好期トナシ之ヲ漁スルノ法甚ダ容易ナリ

釣ハ其大サ吾鯨釣ノ如ク之ニ七八寸ノ絲ヲ附シ尺餘ヲ隔テ、之ヲ大綱ニ結び着ク大綱ノ長サハ百尋位ニシテ兩端ニハ錨ヲ附シテ其流動ヲ防ギ浮標ヲ附シテ其

兩端ノ所在ヲ分明ニス餌ハ魚ノ小片ヲ用ウスノ如キ網ヲ取扱フニハ只二人乗ノ小舟二隻ヲ用キテ網ヲ下ダセシ後一隻ハ甲端ヨリ網ヲ手繰リ揚ゲ釣ニ魚ノ有無ヲ檢シ魚アレバ之ヲ舟中ニ收メ空釣ニハ同時ニ新餌ヲ附シツ、再ビ海中ニ投ジ去ル而シテ同時ニ乙端ヨリ同様検査シ來ル處ノ他舟ト網ノ中央ニ於テ相會ス尤モ鱈魚ノ群集夥シクシテ喰附ノ頻繁ナル時ハ不絶釣ヲ引キ揚グル由斯クシテ漁夫四名一日ノ捕獲平均二千五六百尾漁場ノ陸近キ處ナレバ魚ヲ陸ニ送リマタ本船附屬ノモノハ之ヲ船ニ送リ脊ヲ開キ骨ヲ抜キ頭ヲ去リテ鹽漬トナセル儘桑港ニ廻送ス桑港ニ於テハ初度ノ鹽ヲ洗ヒ更ニ之ヲ新鹽ニ漬ケ後チ乾シテ市場ニ出ダス市價一ポンド金六七錢位ナリ

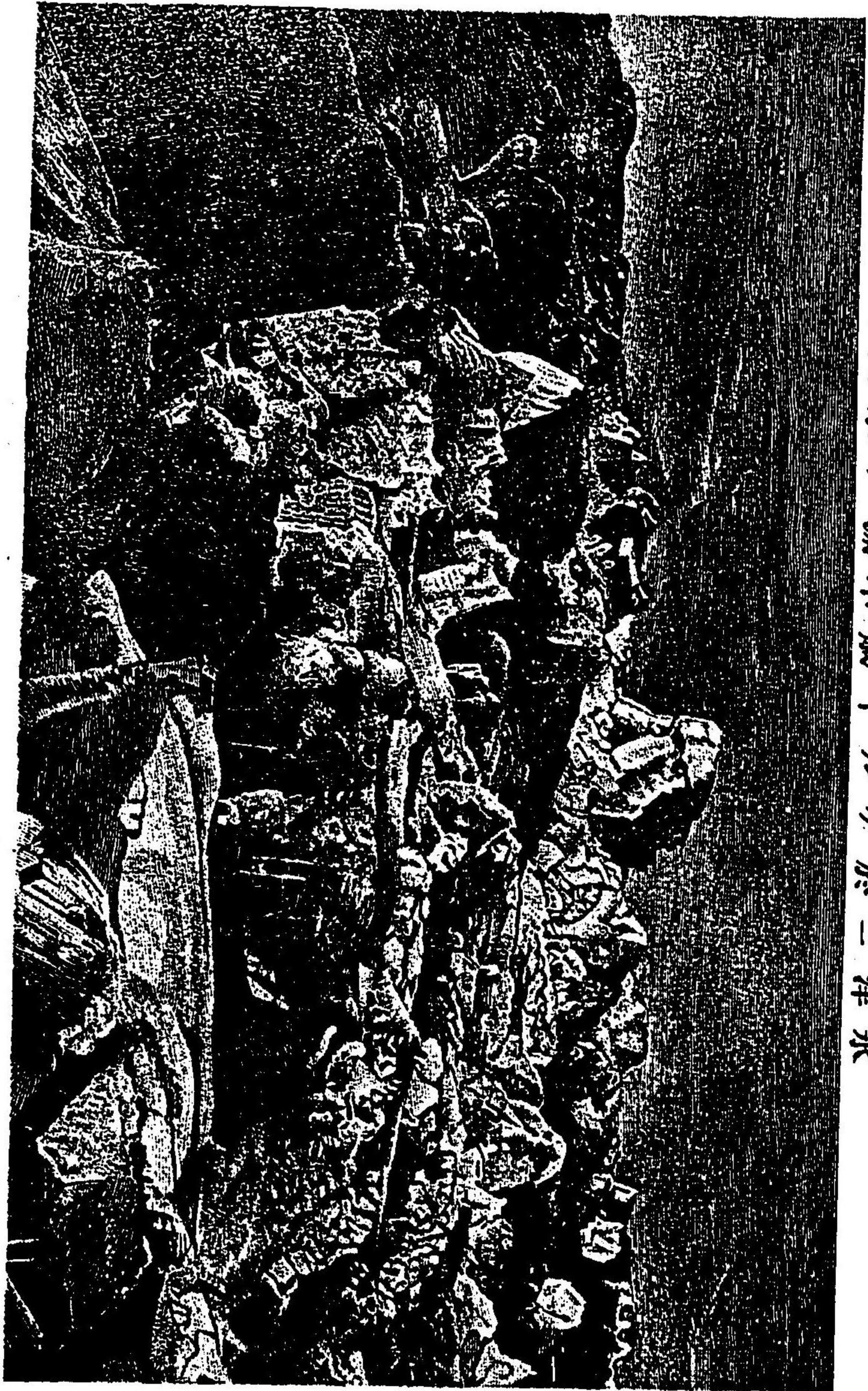
明治廿七年北氷洋ポイントバーロー附近海水ノ運動

二十六年ハ例年ト異ナリ冬ノ來ルニ週間モ早クシテ九月下旬ニハ海水サヘ結ビ初メタリ而シテ最初ヨリ風浪ノ爲ニ破ラレザル處ハ此年四月ノ上旬ニ於テ其厚サ六尺ニ近カリキマタ冬間時々大風ノ沖ヨリ吹キ起リテ限リモナキ北極氷原ヲ陸地ノ方ヘト押シ來リ新舊兩氷原ノ衝突積重セシ處ハ格別ニテ其厚サハ是ヲ測

ルニ一定ナラズ凡テポイントバーロー近邊ハ岸ヲ隔ツル半里計ノ處ニ淺瀬アリテ水丈僅ニ貳尋此瀬ハ獨リ番所近邊ニ止マラズ遠ク南北ニ連リ其北ニ進ムニ從ヒ沿岸水愈淺ク其瀬ノ岸ヲ去ルノ距離モ一里以上貳里ニ及ブ海底ハ彼ノ恐ルベキ岩礁トテハアラザレ共黒砂或ハ泥土ノ至テ脆キ暗堤多ク一度過テ船ヲ此砂堤ヘ乗揚グレバ波動ノ爲ニ船底ハ直チニ砂泥中ヘ深ク搖リ込メラレ其進退ノ力ヲ失ヒ風潮ノ儘ニ流動スル氷原ノ爲ニ打チ碎カレテ恐ルベキ難破ヲ來タス一屢々ナリスノ如キ暗堤ハアラスカ半島以北ニ於ケルアラスカ大陸沿岸ヲ廻リ特ニベールリング海峡以北ヲ以テ甚シトス是ヲ以テ不案内ノ航海者ニハ深ク注意スベキ處ナリ而シテ此暗堤ハマタ流水運動多少ニ依テ年々其淺深ヲ異ニスルヲ以テ獨リ既製ノ海圖ニノミ依頼シテ船ヲ進退セシムルノ不安ナリ余ガ乘込ノベイヤ艦々長ハ此地ニ航スルノ十有餘年ノ久シキニ及ベ共船ノ一度岸ニ近ク時ハ必ズ垂鉛ヲ以テ其淺深ヲ測リ決シテ過去ノ測定ニ依ラザルガ如シ流水ノ爲メ生ズル害モマタ甚シト云フベシ

扱テモ新氷ハ此淺瀬以內ニ限リ早ク結ビ初メ夫ヨリ外方ヘ及ボスナリスク云ヘ

水ノ温度ハ沖モ岸邊モ同一ナルベキニ如何ナレバ氷ヲ結ブノ時ニ異同アリヤ
 ト怪ム人モアルベキガ夫ハ左ノ如キ見易キ原因ノアレバナリ未ダ新氷ノ厚ク海
 面ヲ張り詰メザル頃暴風ノ吹キ續キ沖ナル大氷塊ノ陸地ヘ向テ押し寄せ來ル途
 上早クモ氷足ハ此淺瀬ノ砂堤ニ抑留セラレ其儘暗堤上一面ニ山ナス氷堤ヲ築キ
 來リテ尙モ押し來ル氷原ヲ此處ニ喰ヒ留ルガ故ニ淺瀬以内ハ流水稀ニ怒濤起ラ
 ズ結ビ始メシ新氷ハ益其厚サヲ増シ氷堤外ノ未ダ密閉セザルニ早クモ其厚サ二
 尺餘ニ及ブコアリ冬間暴風等ノ爲ニ一段陸地ノ方ヘト運動ヲ初メシ大氷原ハタ
 トヘ風ノ漸次ニシテ止ムモ其一度起リシ動力ハ容易ク止ムベクモアラズ強キ逆
 風或ハ氷堤暗堤陸地等ニ障ヘラル、マデハ其行先ニ横ハルアラユルモノヲ押し
 倒シ打碎キテ進行ス其一端ノ番所前ノ氷堤ニ抑留セララル、ヤ尙モ後軍ノ動力ニ
 押しサレテ先陣ガ既ニ氷堤ト衝突シテ爲ニ抑碎疊積セル上ニ打ち重リ斯ノ如クシ
 テ成立タル氷堤ノ五六丈モ高ク氷野中ニ聳立スルヲ見ルベシ
 此氷堤ノ高サハ平坦ナル新氷ノ表面ヨリ測リシモノニシテ水面上ニ露出スル高
 サノミナリ水中ニ沈メル部分ノ厚サニ至リテハ容易ク之ヲ測ルノ方ナキカ故ニ



山氷ノ減不減ナルケ於ニ洋氷

第卅四圖

余ハ茲ニ記載セザレドモ番所先ノ瀬ト唱フル處ハ先ニモ記載スルガ如ク水深二三尋モアレバ此海水盡ク氷リツメ猶ホ砂質ノ海底中ニモ埋没セル氷層五六尺アルベケンバ彼此合セテ全體ノ氷ノ厚サ三四尋モアルナラン
氷原中其他ノ部分モ亦タ碎氷堆積シテ成リ外面凹凸極リナク之ヲ高處ヨリ望ムバ恰モ斷岸絕壁ノ狀ヲナス氷原ノ冬期ニ於テ斯ノ如ク幾度モ打チ重リタルモノハ嚴寒ニ遭テ堅ク密着シ恰モ一團體ノ氷塊ノ如ク盛夏不没ノ日光ニ遭フマデハ更ニ分離スルコトナシ彼ノ夏季氷洋ヲ漂流シテ時ニ船舶ヲ碎キ河口ヲ塞キ沿岸ヲ圍ム處ノ氷原ハ即チ是等ノ大團結ガ北國産ノ大氷原ト相合シタル強大ノ連合體ナリ此氷原ノ運動ハ其速力甚ダ遲緩ナリト雖モ其一度起セル動力ハ容易ニ停止スベカラズ而シテ其運動ノ方向モ時ニ或ハ風潮ニ反對ノ針路ヲ取ルガ故ニ氷洋航海ニ數十年ノ實驗ヲ積メル舟人ト雖モ未ダ確實ナル意見ヲ與フルモノナキカ如シ氷洋ニ於ケル航海ハ實ニ危險ノ極ナリト云フベシ
世ニハ前陳ノ氷原氷塊等ヲ以テ冰山 (Ice-berg) ト同一視スル人モアランガ以上ハ全ク氷山下其性質形狀ヲ異ニシ冰山ハ極寒地方陸地ノ山岳深溪多キ處ニ成リ氷

原氷塊ハ氷洋中ニ成ルアラスカ東南岸ニシテ太平洋ニ面スル部分ハ特ニ山岳深
 溪ニ富ムヲ以テ其港灣最寄ニ數ヶ所氷河ノ成立スルモノアリテ夏季積雪ノ融解
 シテ山岳ヲ下ルト共ニ氷河モ幾何カ降下シ其下端ハ海水中ニ突出シ暖潮ト自己
 ノ重量ノ爲ニ其末端ハ不絶分裂シテ港灣中ニ墜落ス此一片ハ即チ世ノ呼テ氷山
 ト云フ者ナリ然レトモ其形ハ甚ダ小ニシテ彼グリーンランド、アイスランド、スピ
 ツベルゲン諸島ノ氷河ヨリ分離シテ太平洋北部ヲ漂流シ大西洋横航汽船ノ乘
 客幾千人ノ心膽ヲ寒カラシムル處ノ氷山々如ク其周圍數十里ニ超ユルモノナシ
 獨リ其體ノ小ナルノミナラズ其生育スル場處多クハ遠ク内海港灣及ビ群島ノ間
 ニアルヲ以テ漂流シテ未ダ外洋ニ出デザル前ニ彼暖潮ノ爲メニ溶解消失シ去ル
 ヲ以テアラスカ南岸ハ氷河ニ富メルニ拘ハラズ北太平洋中氷山ノ漂流ヲ見ザル
 所以ナリ而シテ又氷河ハ地勢ノ平坦ナル土地ニハ其生育スベキ床ナキガ故アラ
 スカ洲中ペーリソング海以北ノ氷洋沿岸ハ絶テ氷山ノ漂流ヲ見ズ

北氷洋中四季ノ概況

余ハペーヤ號ニテ北氷洋地方ニ憂キ日ヲ送リシト既ニ四度ニ及ベリ然レドモ彼

ノ名高キ嚴冬ノ長夜ヲ實見セシハ實ニ明治二十六年ノ冬ヲ以テ初メトス其冬間
 ノ氣象ハ暖國地方ノ人ニ耳新ラシキヲ以テ今左ニ之ヲ略記セン

此年ハ近年ニ稀ナル上天氣勝ノ年ナリシモ八月十八日ヨリ雪ハ降り初メ風アル
 毎ニ毎夜薄雪ヲ見ル寒暖計ハ平均華氏四十度ヲ示シ池塘時トシテ薄氷ヲ結ベリ
 山ナス流水ハ風ト潮流トニ伴レテ不絶東西南北ニ運動シ風ノ沖ヨリ吹シ時ハ氷
 原海岸ニマデ寄セ來リテ大洋又一尺ノ水色ヲ剩サズ特ニ昨夏ハ此沖風ノ打續キ
 シ爲メ數丈ノ氷山ハ高ク岸ニ積重リポイントベルチャ以北ハ全ク船舶ノ北上ヲ
 遮斷セリ是ヲ以テペーヤ號初メ鯨船ハ此所ヨリ船ヲカヘシ余ハ氷原ヲ打テ涉リ
 テ辛クモポイントバーロー番所へ着セリ

九月ノ中旬ヨリハ東北ノ寒風勝チニテ池塘河江ノ氷寸餘ニ及ブ是ヨリ日脚モ日
 一日ニ短縮シ鴨鴈皆南へ去ル

十月ノ上旬ヨリ海水夜毎ニ薄氷ヲ結ビ寒暖計ハ正午華氏十五六度平均ニシテ十
 一月ノ初メニハ全ク零下ニ降り翌年四月ノ初メマデ零點以上ニ昇ルヲ稀ナリ其
 寒氣ノ最モ強キハ通例三月ニシテ零下四十六度ヨリ五十三度ニ降りシ事數々ナ

リシ太陽ハ十一月廿一日正午ヲ以テ全ク地平線下ニ没シ夫ヨリ翌年一月廿四日正午ニ至ルマデ再ビ出デズ太陽入没後ヨリ十二月ノ中頃マデ日々正午ニ南天ノ深紅色ヲ呈スルノミ其模様恰モ夏日ノ曉色ニ彷彿タリ十二月中旬後ハ此地方ノ太陽ト最モ遠隔ノ時ナルヲ以テ此ノ曉紅スラ甚ダ微弱ナリ一月ノ始メヨリハ此曉色除々再ビ美麗ノ深紅ニ復シタリ一月廿四日午前十一時四十五分ニ於テ南天地平線上僅ニ久暮ノ太陽ヲ見タリ然レ共其現ハレシ部分ハ只其全徑ノ四分ノ一ニシテ時間僅ニ十五分ノミ翌日ハ太陽ノ全體ヲ見夫ヨリ後ハ毎日十五分位ツ、延ビ行キ三月廿日ニ至テ晝夜平均セリ三月中ハ日光ノ暖氣肌ニ感ズル程ナレトモ氷雪ヲ解スルニ至ラズ此地ノ實況ニ不案内ノ人ハ一概ニ云ハン寒氣ノ最モ強キハ太陽ノ再來後ニアラズシテ入没後ノ長夜ノ間ニ在ルナラント然リ十二、一、二月ノ間トテモ元ヨリ寒氣嚴シク常ニ零下三十五六度ノ間ニアリト雖モ三月ニ至レバ日ノ高キニモ拘ラス寒暖計ハ却テ零下四十度ヨリ五十三度マデ降レリ此地ノ實況ニ不案内ノ人ハ復タ云ハン彼ノ十二月一月ナル無日ノ冬夜ハ終始暗黒ニシテ咫尺ヲ辨セザルベシト是トテモ實際ハ思ノ半ニ出デ彼ノ正午曉色ガ地

上ノ氷雪下相映シ毎日午前十時ヨリ午後二時頃マデハ戶外至テ鮮明ニシテ眼力數里外ニ達ス

十一月ノ末ヨリ四月ノ始メニ至ルマデハ降雪甚ダ稀ニシテ時々海上氷原ニ水路開ケ是ヨリ發上スル水蒸氣ノ大氣中ニ混シ嚴寒ニ遇テ細微ノ凍霧ト化シ地上ニ降り積ル冬中ハ總テ大氣甚ダ乾燥ナルカ故ニ戶外少距離ノ散步ニモ大ニ渴ヲ覺ヘ又時トシテハ鼻血ヲ出スヲ屢ナリ嚴冬戶外ニ出ヅル時ハ鹿皮ノ服ヲ以テ能ク全體ヲ保護シ僅カニ顔面ヲ現ハスノミ其微風ニ面スルノミニテモ時ニ鼻尖頰面ヲ凍氷セシムルコト容易ナリ土火ハ能ク嚴寒ニ堪ユト雖トモ是トテ矢張二三ノ頃山嶽中凍瘡ニ苦シムモノ多シ余ハ無風ノ日ヲ選ビ必ズ、戶外ノ運動ヲ行ヒシガ十分間ヲ經ザルニ眉毛睫毛ハ勿論鬚髯ニ至ルマデ氣息ト相觸レ悉ク結氷シテ殆ト眼光ヲ封鎖セラル、ノ感アリシ故ニ土人ハ熊ノ皮或ハ狼ノ皮ノ如キ長毛ノ皮類ヲ以テ手袋ヲ作り之ヲ用キテ不絶面部ノ霜氷ヲ拂フ積雪ハ低緯度ノ國ニ比シテハ甚ダ少ク此年ハ平均僅ニ四尺ノミ

嚴冬無日ノ間月ハ午後二時頃ヨリ甚ダ鮮明ニシテ翌午前十時ニ至ルモ其光色ヲ

失ハズ

北極光

十月中旬夜間ノ稍伸ブル頃ニ至リ氷洋地方ノ住民ハ每夜大空ニ天造無盡ノ美麗ナル現象ヲ見ル此空中現象ハ獨リ此最高緯度ノ地方ニノミ起リ之ヲ名テ北極光ト云フ

北極光ハ每夜午後八時頃ヨリ現出シ初メハ北東北西ノ兩地平線下ヨリ起リ兩端遠ニ天頂ニ至リテ相合シ殆ンド極美ナル鮮虹ノ様ヲ呈ス或ハ瞬時ニシテ淡紅ノ長旗トナリ又須臾ニシテ深紅ノ波動ト變ズ其他青白ノ河流黄金ノ帷帳トナリテ其光彩ノ變化着色出沒ノ様ハ瞬時モ一定ナラズ實ニ世ノ一大奇觀トシテ到底筆紙ニ寫シ得ヘキニアラズ彼歐洲人ノ冬期大金ヲ擲テ瑞典地方ニ出遊シ之ヲ見物スルヲ競フモ亦宜ナリ學者ハ此現象ヲ論ジテ稀薄ナル空氣中ニ起ル電氣ノ作用ナリト云ヘリ其他大熊小熊ノ兩星ハ常ニ吾人ノ頭上ニ現ハレ邊遇寂寥ノ夜色ヲ添フ

飢熊ハ夜間餌ヲ求メテ部落ニ逼リ時ニ眠犬ヲ驚カシテ獵者ノ砲丸ニ斃レ白狐ハ

平野ニ奔走シテ土人ノ係蹄ニ陥ルモ此時ナリ其他土人ハ晝夜水上ニ出デ水路或ハ氷原ノ氷裂隙ニ海豹ヲ獵シ又時トシテハ白熊ト相戰フ

土人ニシテ火器彈藥ニ富ムモノハ降雪ノ地ヲ覆フヲ待テ遠ク内地ニ入り鹿ヲ狩リ十一月中旬大陽入沒ニ近ヅキ部落ニ歸ル年老ナル土人ノ言ニ依レバ今ヨリ十八九年前マデハ此國ハ麋鹿至ル所ニ多ク海岸ヲ去ル數里内ニ於テ弓矢投鎗容易ク之ヲ捕獲シ得タリシモ彼ノ輕便ナル火器ノ輸入以來年々屠殺ノ高夥シク且ツ砲聲ノ動物ヲ恐怖セシムル等ヨリ今ハ近隣大ニ動物ノ數ヲ減ジ内地五六十里外ニ至ラザレバ狩獵シ難シト吾番所ニ於テハ麥粉火藥石油其他ノ雜貨ト交換シテ冬夏二季内ニ馴鹿二十二頭ヲ求メ之ヲ氷室ニ貯ヘ糧食ニ供シタリ其價ハ一斤ニ付金貳錢五厘ニ相當セリ

土人ハ又内地ノ河流ニ赴キ氷ヲ割リテ網ヲ流シ白魚ヲ捕フ白魚ハ其體七八寸ヨリ一尺五六寸ニ至リ頭小ク體長ク骨稀ニ肉白クシテ味美ナリ價殆ンド鹿肉ト等シク吾番所ニ於テハ氷室内殆ンド千五六百磅ヲ貯ヘタリ
番所ニ於テハ夏間ハ勿論特ニ冬期ハ晝夜室内ノ大煖爐ニ盛火ヲ貯ヘ置クカ故ニ

室内ノ温度ハ華氏五十度ニ降ラズ家ノ四方ハ壁ニ沿ヒ高ク雪壁ヲ築キテ寒風ノ壁ヲ吹クヲ防キ其他窓戸ノ如キモ鹿皮或ハ厚布ヲ以テ目張ヲナシ寒氣ノ空隙ヲ貫クヲ防ク九月下旬後ハ結氷ノ爲メ池塘閉鎖シ一滴ノ用水ヲ得ルニ由ナシ故ニ十月始メニ於テ池氷ヲ手頃ニ切り之ヲ簷下ニ運ビ置キテ毎日爐側ノ大桶ニ溶解シ飲用其他百般ノ用ニ供ス我四名ノ所員ハ此長夜ニアリテハ常ニ火側ニ集リ讀書骨牌遊ビ等ニ時ヲ送ルノミ他界ト至ク交通遮斷ノ冬籠リハ實ニ退屈ノ極度ナリ土人等ハ交易又タハ食物請求ノ爲メ斷ヘズ我番所ヲ訪ヒ室内常ニ充滿セリ四月ノ中頃ヨリ雪ハ解ケ始メ岸ヲ隔ツルコト五六里ナル海上ノ氷原ニモ亦タ處々水路開ケ此レト全時ニ南方ヨリ北上遍歴シ來ル鯨ハ此水路ヲ通過スル際土人ノ爲ニ捕獲セラル之ヲ浮氷捕鯨獵ト云フ鴨鴈ハ五月中頃南方ヨリ遍歴ヲ始メ氷上或ハ水路ヲ通過スルモノ日々數百萬ニ及フ此等ハ皆北方ノ島地ニ赴キ孵化スルモノナリト然レドモ其島地ノ何ノ邊ナルヤ何人モ未ダ探索ヲ遂ケザルモノ、如シ眞鳧及ビグレユー鴈ハ我番所ヲ去ル二三里ノ沼地ニ多ク夏日ヲ送ル其卵モ亦此近地ニ於テ求メ得ベシ故ニ我所員ハ五月中頃ヨリ氷上々陸地ニ日夜遊獵シ廻

ハリ至テ活潑ニ長日ヲ消費ス寒暖計ハ復タ氷點以下ニ降ラス日光ハ晝夜二十四時間輝キ渡リテ夜色ヲ知ラズ是ヲ氷洋夜半ノ太陽ト云フ七月ノ中頃ニハ深谷河畔ヲ除クノ外地上ノ氷雪全ク融解シ去リテ河川沼澤水量大ニ増加シ内地ノ旅行頗ル困難ナリ舊冬ヨリ海岸一面ヲ閉鎖セル氷塊モヤ、困ヲ解キ岸ヲ去リ久シ振リニテ綠波ノ岸ヲ洗フヲ見ルモ亦タ愉快ナリ然レ共際限ナキ氷野ハ風潮ニ伴ヒ陸地近ク運動シ船舶ノ北上ヲ妨クルノ恐アリテ余等ノ憂慮一方ナラズ八月ノ始メニハ一ヶ年前此地ヲ去リシ船舶南方ヨリ到着シ氷洋ニ捕獲ヲ試ム茲ニ始メテ我々ハ新調ノ衣食及郵便新聞紙等ヲ受取り郷里文明ノ珍聞奇談ヲ耳ニスルヲ得七月ヨリ土人ハ鯨骨皮類ヲ奇麗ニ手當ナシツ、商法ノ用意ニ他念ナカリシガ今ハ船舶ノ來着ニ遭ヒ其交易ニ多忙ナリ我所員ハ別ニ是等ノ煩勞ナキカ故ニ只管順風ノ氷ヲ吹キ去リテ船舶ノ來着一日モ早カラシコトヲ望ミ來着後ハ其一日モ碇船ノ長カラシヲ希ヒ實ニ他人ノ想像シ能ハザル事ニ心ヲ勞スルナリ九月ノ下

旬ニ至レバ來訪ノ船舶モ朋友知人モ再ビ南方へ消へ失セテ滿岸舊トノ寂寥ニ飯
ス斯ノ如キハ余ノ久シク滞在セシエスキモ一國ポイントバーローノ實況一斑ナ
リトス

左ニ揚グル觀測天候表ハ余ガ三年間北氷洋ポイントバーロー避難所在勤中日々
觀測登記セシモノニシテ茲ニハ冬期間ノミヲ記シテ他ハ略ス

明治廿六年十月觀測天候

晴雨計ハ英法(インチ)
溫度ハ華氏寒暖計

日	時	晴	雨	計	溫	度	風	位	記	事
一	日	午前十時		二九八〇		二五	西		曇	天
二	日	全	上	二九八〇		一一	南		晴	天
三	日	全	上	二九八五		一八	南		晴	天
四	日	全	上	二九九五		二六	北	西	曇	天

五	日	全	上	二九八〇		二四	南		東	曇	天
六	日	全	上	二九六九		二一	南		半	晴	
七	日	全	上	二九五九		一八	南		東	半	晴
八	日	全	上	二九六七		二三	南		東	半	晴
九	日	全	上	二九六六		二二	北		東	半	晴
十	日	全	上	二九七〇		六	南		東	快	晴
十一	日	全	上	二九七六		一八	無		風	快	晴
十二	日	全	上	二九七〇		一九	南		東	曇	天
十三	日	全	上	二九七六		二四	東		曇	天	
十四	日	全	上	二九七〇		一〇	南		東	半	晴
十五	日	全	上	二九三〇		二〇	北		東	降	雪
十六	日	全	上	二九一〇		一〇	南		東	雪	荒
十七	日	全	上	二九一三		一四	西		全	上	
十八	日	全	上	二九七〇		一〇	西		全	上	

明治廿六年十一月觀測天候

日	時		晴	雨	計	溫	度	風	位	記	事
	午前八時	午後八時									
一	午前八時	午後八時			二九、九〇	一〇、四	東	東	曇	天	
二	午前八時	午後八時			二九、八〇	〇	東	東	半	晴	
三	午前八時	午後八時			二九、七〇	四	東	東	曇	天	
四	午前八時	午後八時			二九、七〇	一	南	東	曇	天	
五	午前八時	午後八時			二九、七二	〇	南	東	半	晴	
六	午前八時	午後八時			二九、七〇	〇	西	西	曇	天	
七	午前八時	午後八時			二九、六四	四	西	西	曇	天	
八	午前八時	午後八時			二九、六二	〇	西	西	吹	雪	
九	午前八時	午後八時			二九、〇四	一	南	西	波	霧	
十	午前八時	午後八時			二八、九八	〇	南	西	降	雪	

一四九

十九日	全上		二九、八〇	一四	西	西	全	上
二十日	全上		二九、八九	一四	西	全	上	
廿一日	全上		二九、一〇	一六	東	全	上	
廿二日	全上		二九、一〇	一八	南	半	晴	
廿三日	全上		二九、七〇	一四	北	晴	天	
廿四日	全上		二九、八八	一〇	東	快	晴	
廿五日	全上		二九、八四	一〇	南	曇	天	
廿六日	全上		二九、七二	六	北	曇	天	
廿七日	全上		二九、五二	九	東	晴	天	
廿八日	全上		二九、五五	一八	西	晴	天	
廿九日	全上		二九、六二	一三	西	曇	天	
三十日	全上		二九、七六	四	東	晴	天	
三十一日	全上		二九、四八	一四	北	曇	天	

一四八

廿五日		廿四日		廿三日		廿二日		廿一日		二十日		十九日		十八日		十七日	
午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時
二九.八八	三〇.一〇	三〇.〇〇	三〇.〇〇	三〇.二五	三〇.三〇	三〇.五三	三〇.五〇	三〇.七二	三〇.七〇	三〇.四九	三〇.三三	二九.九八	二九.八二	二九.八一	二九.八六	二九.九五	二九.九六
二	三	二	八	九	四	九	二	四	二	二	〇	二	三	〇	三	九	〇
西	西	東	東	東	東	北	北	東	北	西	西	東	北	北	北	北	北
						東	東	西				東	東	東	東	東	東
全	全	全	全	全	快	全	大	全	全	晴	曇	全	半	全	全	雪	吹
上	上	上	上	上	晴	上	雪	上	上	天	天	上	晴	上	上	雪	雪

十六日		十五日		十四日		十三日		十二日		十一日		十日		九日		八日	
午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時
三〇.〇〇	三〇.〇〇	三〇.〇〇	三〇.〇〇	二九.九〇	二九.九〇	二九.八八	三〇.〇五	三〇.二四	三〇.一八	二九.五二	二九.三四	二九.三〇	二九.三九	二九.四二	二九.三四	二九.二六	二九.一一
一〇	二	二	〇	〇	〇	四	二	一〇	四	一	一	三	〇	〇	三	一	九
北	北	東	東	無	東	東	南	南	東	北	東	南	南	北	北	南	南
東	東			風					東				東	東			
雪	暴	全	快	全	晴	吹	霧	曇	濃	大	全	全	降	無	無	降	半
上	風	上	晴	上	天	雪	天	霧	雪	上	上	雪	風	風	雪	晴	晴

十一日		十日		九日		八日		七日		六日		五日		四日		三日	
午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時
三〇、八五	三〇、八〇	三〇、七五	三〇、七〇	三〇、五五	三〇、五〇	三〇、四二	三〇、三〇	三〇、二九	三〇、三一	三〇、三〇	三〇、三六	三〇、三五	三〇、三五	三〇、三〇	三〇、二〇	三〇、一八	三〇、一八
三、四	三、八	三、三	三、〇	三、九	三、六	三、八	三、三	三、〇	三、〇	二、八	三、三	三、三	三、五	三、六	三、四	三、三	二、八
北	西	西	西	北	北	北	全	無	北	北	北	北	北	北	北	北	無
東				東	東	東	上	風	東	東	東	東	東	東	東	西	風
全	晴	全	曇	全	全	晴	全	全	全	曇	全	全	全	晴	晴	全	曇
上	天	上	天	上	上	天	上	上	上	天	上	上	上	天	天	上	天

一五三

二日		一日		三十日		廿九日		廿八日		廿七日		廿六日	
午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時
三〇、一〇	三〇、二九	三〇、二九	三〇、二九	三〇、三〇	三〇、三〇	三〇、三三	三〇、三三	三〇、三三	三〇、三三	三〇、二〇	三〇、二二	二九、八〇	二九、八九
三、〇	三、〇	三、七	三、〇	三、五	三、四	三、四	三、三	三、三	〇	〇	二、	三、	〇
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	西	西	西
東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	西			
全	晴	全	晴	晴	晴	晴	晴	晴	全	曇	全	全	快
上	天	上	天	天	天	天	天	天	上	天	上	上	晴

明治廿六年十二月觀測天候

一五二

廿九日		廿八日		廿七日		廿六日		廿五日		廿四日		廿三日		廿二日		廿一日	
午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時
二九,九八	二九,九八	二九,九五	二九,九五	二九,八三	二九,八五	二九,八〇	三〇,一〇	三〇,一九	三〇,一八	三〇,一六	三〇,一三	三〇,一三	三〇,一三	三〇,一五	三〇,一五	三〇,一〇	三〇,一〇
二,八	三,〇	三,三	三,三	三,五	三,七	三,九	三,三	三,六	三,八	三,三	三,三	三,二	三,一	三,七	三,五	三,三	三,三
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	無	無	無	無	北	北	北	北
東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	風	風	風	風	東	東	東	東
全	全	全	全	全	曇	全	暴	全	全	全	全	全	全	全	全	全	晴
上	上	上	上	上	天	上	風	上	上	上	上	上	上	上	上	上	天

二十日		十九日		十八日		十七日		十六日		十五日		十四日		十三日		十二日	
午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時	午後八時	午前八時
二九,九九	二九,九六	二九,九五	三〇,〇〇	三〇,〇〇	三〇,二〇	三〇,一〇	二九,九〇	二九,九〇	二九,九〇	二九,五六	二九,五六	二九,九五	三〇,〇〇	二九,九五	三〇,〇〇	三〇,五〇	三〇,五三
三,四	三,四	三,三	三,〇	三,五	三,九	三,三	三,〇	三,八	三,〇	三,〇	三,四	三,〇	三,三	〇	〇	三,三	三,五
北	北	北	北	北	北	東	東	北	北	西	西	北	北	西	西	北	北
東	東	東	東	東	東			東	東		西	西	西			東	東
全	全	全	全	暴	全	全	晴	全	全	全	曇	吹	曇	降	曇	全	全
上	上	上	上	風	上	上	天	上	上	上	天	雲	天	雪	天	上	上

明治廿六年一月觀測天候

日	時	晴雨計	温	度	風	位	記	事
三十日	午前八時	三〇〇二		二〇	北	東	曇	天
三十日	午後八時	三〇〇二		九	北	東	全	上
三十一日	午前八時	二九八五		七	南	西	全	上
三十一日	午後八時	二九八五		六	南	西	全	上
一日	正午十二時	二九六六		二〇	北	東	曇	天
二日	全上	二九三八		二二	北	西	曇	天
三日	全上	三〇二六		二八	東	晴	晴	天
四日	全上	二九八〇		二八	北	東	晴	天
五日	全上	三〇一四		二八	西	晴	晴	天
六日	全上	三〇二〇		二〇	南	西	晴	天

七日	全上	三〇二二		四五	北	東	晴	天
八日	全上	二九八四		三三	北	東	雪	荒
九日	全上	三〇二二		三六	無	風	晴	天
十日	全上	三〇三三		四八	無	風	晴	天
十一日	全上	三〇二〇		三四	無	風	晴	天
十二日	全上	三〇〇二		三五	無	風	晴	天
十三日	全上	三〇二〇		三六	無	風	晴	天
十四日	全上	三〇二二		四六	無	風	晴	天
十五日	全上	三〇三四		三五	無	風	晴	天
十六日	全上	三〇五八		三〇	北	西	晴	天
十七日	全上	三〇四二		四五	西	曇	曇	天
十八日	全上	三〇九八		四八	西	曇	曇	天
十九日	全上	三〇九六		五〇	西	曇	曇	天
二十日	全上	三〇九〇		四八	西	曇	曇	天

明治廿七年二月觀測天候

卅一日	三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
二九八〇	二九七〇	二九八八	二九八八	二九八〇	二九七〇	二九七四	二九七六	三〇〇二	三〇三〇	三〇三四
二	三	一八	一九	二〇	二	二	八	二四	二	四二
北	無	西	西	西	西	西	北	北	北	北
東	風						東	東	東	東
雪	晴	全	全	全	全	全	全	全	曇	半
荒										
レ	天	上	上	上	上	上	上	上	天	晴

十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二日	一日
全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	午前十時
三〇八九	三〇七六	三〇六〇	三〇五七	三〇五七	三〇四五	三〇四〇	二九九九	二九九〇	二九八六	二九八四	二九八〇	二九七一
四五	三四	三三	三〇	二六	三三	五四	五一	四五	四九	四三	三八	二八
北	北	南	無	南	全	全	南	全	全	無	北	西
東	東	西	風	東	上	上	西	上	上	風	東	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	晴	細
												雨
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	天	雨